

教育・研究年報

2023年



徳島文理大学短期大学部

令和6年5月1日

短期大学部年報の刊行にあたって

短期大学部長 岡部 千鶴

本年報では短期大学部教員の令和5年度の活動を研究、教育、学外及び学内活動の3つの項目別にまとめている。

開学以来、短期大学部（以下、「本学」）では、「自立協同」の建学精神に基づき、一人ひとりの学生を大切にすきめ細かい指導を行っている。この建学精神のもと、「高度の知識技術を研究教授し、人格の陶冶を図り、文化の創造と発展に貢献する人材の育成」を教育理念に掲げ、それを具現化するため、以下の二つの観点から教育課程を編成している。

その一つは、社会的常識や幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力の豊かな人材を育てること（教養教育の充実）である。もう一つは、専門的職業能力を養い、実社会に必要な資格取得やスキルを修得すること（キャリア教育の実践）である。

修業年限が2年間という限られた期間に学生への教育効果を高め学習成果の獲得を達成するため、本学では様々な取り組みを実践している。

まず入学前教育としてガイダンスを行うとともにe-ラーニングを利用した課題を示し、入学後の学習に対する素地の形成と導入を行っている。入学後の「新入生アンケート」では学生の目的意識等を質問し、「ニーズ」把握を行っている。在学時には「授業調査」「学習状況調査」「個別面談」を実施している。本学は社会での即戦力として活躍できる人材の育成を目指しており、各種調査結果を速やかに教育内容に反映させ改善するべく、教員は日々研鑽を積んでいる。

卒業時は「卒業生に対する満足度調査」を実施し、教育内容の見直しに活用している。さらに就職先企業を対象にした調査を行い、本学の教育内容に関する外部評価を真摯に受け止め、改善につなげている。

本年報は「自己点検・自己評価」として、教育の内部質保証に関わるPDCAサイクル実践に相当する。教育内容がさらに充実し、教員の資質向上に資するものとなることを期待している。

目 次

§ 短期大学部年報の刊行にあたって

	頁
* 生活科学科	
岡 部 千 鶴	1
藤 本 和 賀 代子	3
松 下 純 子	15
坂 井 真 奈 美	23
新 居 佳 孝 子	31
佐 賀 啓 子	40
儀 宝 修	45
近 藤 幸	47
* 保 育 科	
児 嶋 輝 美 子	52
石 井 信 子	60
釘 宮 貴 子 朗 子	63
島 田 俊 朗 子 明 子	76
疋 田 弘 子 明 子	78
山 越 孝 子 吾 子	82
船 本 内 孝 子 吾 子	85
下 森 万 里 子	89
	91
* 言語コミュニケーション学科	
堀 口 誠 信	95
早 雲 洋 一	101
後 藤 立 夫	103
西 田 誠 明	105
井 内 孝 明 紀	107
金 澤 朋 紀	109
リチャード ジャスティン デッカー	112
* 音 楽 科	
熊 谷 公 博	114
原 井 俊 典	117
石 井 井 村 恭 二 子	120
井 村 幸 子	122
* 商 科	
則 包 光 德	124
森 本 卓 治	126
田 尾 公 生 子	129
生 尾 駒 恵 子 里	132
川 道 映 里	134
* 一般総合科目	
山 村 晃	138
青 山 佳 晃 裕	140
永 本 智 富	142
金 本 智 徑 希	144
○ 全学授業アンケート	148
○ 在学生対象・学修状況アンケート	152
○ 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	158

氏名	岡部 千鶴 (おかべ ちづる)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教授 (学部長・生活科学科長)			
最終学歴	お茶の水女子大学大学院家政学研究科家庭経営学専攻 (家政学修士)			
着任の年月	令和3年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学人間生活学部人間生活学科			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] 1. 『持続可能な社会をつくる生活経営学』	共	令和2年 (2020年) 9月	朝倉書店	生活経営学では、生活上の諸問題に対し、個人や家庭、社会や環境、そしてそれらの相互的関りについてアプローチしている。本書では、生活設計、家計、生活時間、家事労働、消費者問題、家族法、ジェンダー問題等について、持続可能な社会の実現という視点から論じたものである。岡部は「第2部 生活の組織と地域 第4章 家族に関わる法律 4.1 民法における家族に関わる規程」を担当した。
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>[大学院関係]</p> <p>①前期担当授業科目名等 「家族関係学特論Ⅰ」(M1：2名。木曜日3講時)</p> <p>②後期担当授業科目名等 「家族関係学特論Ⅱ」(M1：2名。金曜日3講時)</p> <p>[学部関係]</p> <p>①前期担当授業科目名等 「家庭経営学」(人間生活1年、食物栄養1年、建築デザイン1～4年。40名。月曜日1講時)</p> <p>②後期担当授業科目名等 「消費生活論」(人間生活2年、食物栄養1年、建築2～4年、心理2～4年、計53名。水曜2講時)</p>			

氏名	藤本 和賀代 (ふじもと わかよ)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教授			
最終学歴	奈良女子大学大学院 博士 (生活工学)			
着任の年月	平成26年 4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	奈良県立高等技術専門学校 教員			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 ① 査読論文 1 「日常的に健康を見守るセンシングウェア及び支援技術の研究」 学長賞受賞	単	令和2年3月	お茶の水女子大学・奈良女子大学生生活工学共同専攻博士後期課程学位論文	日常的に誰もが自分で健康管理をできることが求められているが、今の生体計測技術は、時間や場所に大きく拘束されるうえ、窮屈や違和感といったストレスも伴う。そこで本研究では、健康見守り支援技術の開発に取り組んだ。これは、各種のウェアラブル/ユビキタスなセンサを用いて、日常生活の中で簡易に生体/環境情報をモニタリングすることを可能にし、ユーザの健康状況を主治医や家族、その他関係者と共有すると共に、本人にも分かりやすくフィードバックすることができる。本論文では、衣服とセンサを一体化した常時呼吸計測可能なセンシングウェアと、そこから取得した健康管理に必要な情報やアドバイスを言葉で伝える対話型ロボット (IoTロボットナース) の開発に取り組んだ結果について報告する。
2 「プリントドエレクトロニクスを用いた呼吸周期を計測可能なセンシングウェアの開発」 原著論文 第21回ヒューマンインタフェース学会論文賞受賞	共	令和2年5月	ヒューマンインタフェース学会論文誌 第22巻第2号	プリントドエレクトロニクスの技術を用いて呼吸器計測可能なセンシングウェアの開発に取り組んだ。ウェアに印刷した導電性ゴムが呼吸動作により伸長しそれを電圧変化として捉え呼吸周期を計測する。常時計測を可能にするためウェアは着用者のストレスにならないよう肌触りや柔軟性に拘った。そして、より正確に呼吸情報を捉えるためのセンサ印刷位置の検討も行った。評価実験では呼吸器専門医の指導の下、医療用に用いられる携帯型呼吸計測機

<p>3 「プリントエレクトロニクスを用いた身体運動中の関節角度計測のためのセンシングサポーターの開発」 原著論文</p>	<p>共</p>	<p>令和3年1月</p>	<p>ヒューマンインタフェース学会論文誌 第22巻第2号</p>	<p>(鼻フローカニューラ) とセンシングウェアを装着して同時計測し、医療機器と比較しても遜色なく呼吸周期計測が可能であり、さらに鼻フローカニューラでも見分けがつかなかった奇異性呼吸など睡眠時無呼吸症候群の判定に必要なデータが取得可能な事を示した。 藤本和賀代、川治和奏、本田麻由美、安在絵美、山内基雄、才脇直樹</p> <p>本研究において、自然でより快適な状況で体の動きを監視するために、伸縮性があり布に印刷可能なセンサーにより構成されたセンシングサポーターの開発を行った。このセンサーは、最大100%まで伸ばしても安定して電気抵抗がゆるやかに変化し、従来の印刷可能なセンサーよりも高い伸縮性を示した。新しいデバイスの安定動作を確認するために、肘の伸展および屈曲中の関節角度をカメラベースの測定システムと比較した結果、両デバイスの波形間の相関係数は$r=0.88 \pm 0.04$でした。さらに、伸展および屈曲サイクルは、$80.6 \pm 34.0\%$の確率でピークカウントアルゴリズムによってカウントすることができた。一方、二乗平均平方根誤差 (RMSE) は、低速運動と高速運動でそれぞれ21.2 ± 5.7度と45.4 ± 17.4度で示した。特に、RMSEは最大屈曲付近で増加したが、日常の身体活動の目標範囲で良好に機能した。 安在絵美、川治和奏、藤本和賀代、本田麻由美、才脇直樹</p>
<p>② 研究紀要 1 「レース素材の透け感を活かしたドレス制作」</p>	<p>単</p>	<p>令和元年9月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第98号</p>	<p>クラシカルで不変なイメージがあるウエディングドレスだが実は年々トレンドが変化する。今は繊細なレース素材を使用した透け感のあるウエディングドレスが好まれている。そこで今回、ビーズやスパンコールが散りばめられた高級なチュールレースを使用しドレス制作に取り組んだ。仕上がったウエディングドレスはNDK創立60周年記念ファッションショーにおいて発表した。</p>
<p>2 「プリント柄を活かしたカラー</p>	<p>単</p>	<p>令和3年3月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第101号</p>	<p>プリント柄を最大限に活かしたドレス制作に取り組んだ。一般的にプリ</p>

<p>ドレスのデザイン」</p>				<p>ント柄は刺繍や模様織りに比べ安価なイメージが強いが、それを一新するような、上品で、豪華な印象まで感じられるカラードレスに仕上げることを目的とした。そのため、プリント柄をアピールできるようドレスの中で占める面積の大きいスカート部分に使用した。また、スカートの派手さに負けないよう、黒地のビスチェはケミカルレースやラインストーンで飾った。</p>
<p>3 「徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて」</p>	<p>共</p>	<p>令和5年3月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第105号</p>	<p>本学では2016年から、徳島県及び徳島大学と連携してボランティアパスポート制度を導入し、一定の講義と活動時間の条件を満たすことによって「総合科目A（ボランティア）」として単位を認定している。しかし、2020年はコロナ禍によって授業を開講することができず、学生の活動も停滞した。そこで2021年度は感染予防対策と学生の受講の利便性を考慮して、ゲーグル・クラスルームとZoomを用いて遠隔授業を行った。本研究は受講者に対するアンケート調査によってその成果を検証するとともに、ボランティアパスポートの意義や今後の課題について考察するものである。 児嶋輝美・島田俊朗・藤本和賀代・松下純子・則包光徳・堀口誠信</p>
<p>4 「ファッション分野における地域貢献の取り組み—サステナブルファッションショー参加より—」</p>	<p>単</p>	<p>令和5年9月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第106号</p>	<p>この度、当専攻の総合実習授業においても地域貢献活動に取り組んだ。活動内容としては徳島県が主催する「とくしまSDGsシンポジウム2022」において県内の企業や他学校と連携しサステナブルファッションショーを行うことである。学生は古着のリメイクを自分達で行いそれらを着用しサステナブルファッションショーに出演した。そして多くのことを感じたようである。まず、興味の無かったサステナブルファッションに興味を持った。リメイクは簡単では無かったが面白さを学んだ。発想力・技術力の向上に繋がった。服を大切に思うようになったなど、アンケート調査より確認できた。そして、地域貢献活動は、学生を学外へ連れだす絶好の機会となった。また多くの制約の中、いままでの被服製作とは異なった視点からファッションについて考えるようになった。</p>

<p>5 後期高齢女性の熱中症対策に有効なブラウスデザインの検討</p>	<p>単</p>	<p>令和6年3月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第107号</p>	<p>熱中症による死亡率は80代女性が最も多く、また熱中症の発生場所は圧倒的に住居内が多い。そこで、高齢女性が日常的に着用する衣服で多少なりとも改善できないか検討を行った。 夏用衣服の選び方としては通気性などの機能面が最重要であるが、女性にとってデザインなど好みも大切な要素である。そこで機能と嗜好の両面から検討を行った。 結果、機能面では衣服内の湿度が快適性に大きく影響しており、日本など高温多湿の中では袖はより短い方が適している事が分かった。しかし、高齢者がこだわるデザインは、①袖無しを避ける、②襟元は開き過ぎない、③着丈はヒップラインが隠れるなど機能面と嗜好面では相反する結果となった。</p>
<p>[作品発表] 1 「Reiwa-ときめきの時間」 カクテルドレス</p>	<p>単</p>	<p>令和元年9月</p>	<p>日本デザイン協会 第86回NDKファッションデザインコンテスト(ホテル阪急インターナショナル)</p>	<p>「デザイン賞」 カクテルドレス、プリント花柄、Vネック、ビジュール・スパンコール</p>
<p>2 「復活の光」 カクテルドレス</p>	<p>単</p>	<p>令和4年3月</p>	<p>日本デザイン協会 第87回NDKファッションデザインコンテスト(ホテル阪急インターナショナル)</p>	<p>カクテルドレス、フェージュケット、プリント花柄、シースライン</p>
<p>2 「輝く未来」 サステナブルファッション リメイクドレス</p>	<p>単</p>	<p>令和5年9月</p>	<p>日本デザイン協会 第88回NDKファッションショー</p>	<p>サステナブルファッション リメイクドレス</p>
<p>[発表] ① 国際会議 1 “Development of Sensing Ware Using Printed Electronics for Respiratory Measurement” -査読付き-</p>	<p>共</p>	<p>令和元年9月</p>	<p>Comfort and Smart Textile International Symposium 2019 (於：奈良春日野国際フォーラム) ポスターセッション</p>	<p>We have tried to develop the sensing wear which can measure respiration all the time more easily and comfortably using printed electronics. The sensing ware can be accurately captured the data by printing the sensors at the positions where breathing motion. ○W. Fujimoto, W. Kawaji, M. Honda, E. Anzai, M. Yamauchi and N. Saiwaki</p>

<p>2 “Study of Effective Costume and Interaction for IoT Nurse Robot” -査読付き-</p>	共	令和元年 9月	Comfort and Smart Textile International Symposium 2019 (於：奈良春日野国際フォーラム) ポスターセッション	<p>Now, many people do their own health management themselves in daily life. And many items for daily healthcare like smart watches and tablet devices are on the market. However, there are many people who are not good at IT equipment including the elderly. Therefore, we worked on the development of the IoT Nurse robot that can easily convey health management information such as air temperature and humidity, blood pressure, heart rate, SpO₂ and body temperature in a conversation. ○W. Fujimoto, M. Honda, E. Anzai and N. Saiwaki</p>
<p>② 国内学会 1 「着用者に無理なくフィットする呼吸器計測可能なスマートウェア」</p>	単	令和元年 5月	服飾文化学会第20回大会 (於：日本女子大学)	<p>本研究では呼吸計測に焦点を当て、プリントド・エレクトロニクス技術を用いてより簡易で快適に、そして精度高く呼吸計測が可能なスマートウェアの製作に取り組んだ。スマートウェアに求められる服の条件としては、窮屈にならず体に心地よくフィットすること、呼吸に伴う体の動きに合わせて柔軟に伸縮することである。これらを満たし、呼吸動作を的確に捉えられる位置にセンサを印刷しスマートウェアを実現する。 藤本和賀代</p>
<p>2 「IoTロボットナースの衣服とインタラクションにおける印象評価」</p>	単	令和元年 5月	服飾文化学会第20回大会 (於：日本女子大学)	<p>最近、タブレット端末やスマートウォッチ等によって見守りや健康管理をする商品も多く出回り始めたが、高齢者をはじめとしてIT機器に苦手意識を持つユーザなど、操作に苦手意識を持つ者も少なくない。そこで我々は、部屋の気温や湿度、血圧、心拍数、体温といった健康管理に役立つ情報を会話の中で伝えてくれるロボットの開発に取り組んでおり、IoTロボットナースと名付けている。本研究では、このロボットに着用させる衣服とインタラクション内容によって、よりナースらしく親しめるような印象作りに関する研究を行った。 藤本和賀代</p>
<p>3 「プリントドエレクトロニク</p>	共	令和元年 5月	第63回システム制御情報学会研究発表講	<p>最近、心拍や脈拍、脳波、血圧などの生体情報を、病院へ行かずともよ</p>

<p>スを用いたセンサウェアの研究」</p>			<p>演会（於：中央電気倶楽部）</p>	<p>り手軽に、日常的に取得及び管理できるシステムが注目され、様々な研究が行われている。しかし、その多くは計測に手間がかかる。本研究ではプリントド・エレクトロニクスを用いて、より簡易で快適に、常時呼吸計測可能なスマートウェアの製作に取り組んだ。呼吸器計測実験の結果、従来型の医療機器と比較しても遜色のない呼吸データが取得できることを確認した。また、睡眠時無呼吸症候群の判断に有用な奇異性呼吸の捕捉も可能であることが分かった。</p> <p>○藤本 和賀代、安在 絵美、 太田 裕治、山内 基雄、才脇 直樹</p>
<p>4 「IoTロボットナースの開発」</p>	<p>共</p>	<p>令和元年 5 月</p>	<p>第63回システム制御情報学会研究発表講演会（於：中央電気倶楽部）</p>	<p>近年、高齢化、核家族化が進み、一人暮らしの高齢者が増加している。このような中で高齢者の見守りのみならず、誰もが自分の健康管理を自ら行うことが求められている。スマートウォッチやタブレット端末等による見守りや健康管理ができる商品も出回り始めているが、高齢者をはじめとしてIT機器に苦手意識を持つユーザも少なくない。そこで我々は、部屋の気温や湿度、血圧、心拍数、体温といった健康管理に役立つ情報を会話の中で分かりやすく伝えてくれるロボット（IoTロボットナース）の開発に取り組んだ。また、このロボットに着用させるコスチュームとインタラクティブ内容によって、より親しめるよう、印象作りに関する研究を行った。</p> <p>○藤本 和賀代、本田麻由美 安在 絵美、才脇 直樹</p>
<p>5 「着心地の良さを重視した呼吸器計測可能なセンシングウェアの製作」</p>	<p>共</p>	<p>令和元年 5 月</p>	<p>日本家政学会大会（於：四国大学）</p>	<p>日常生活の中で、心拍や脈拍、血圧などの生体情報を簡単に取得、管理できる様々なシステムの研究が進められているがその多くは計測に手間がかかるうえ、被計測者は大きなストレスを感じるなど問題がある。そこで、ウェアラブルな生体情報のセンシングに焦点を当て、着用者にとってより簡易で快適に、常時呼吸計測可能なセンシングウェアの開発に取り組んだ。その結果、着用者に無理なくフィットするセンシングウェアに仕上がった。更に呼吸器の実証実験では、医療機器である鼻フローカニューラと比較しても遜色の</p>

<p>6 「健康情報を提供するIoTロボットの効果的なコスチュームとインタラクションに関する研究」</p>	<p>共</p>	<p>令和元年10月</p>	<p>日本家政学会66回中国 四国支部大会 (於：広島修道大学)</p>	<p>ないデータが取得できることを確認した。鼻フローカニューラでも判断が難しい睡眠時無呼吸症候群の特徴である奇異性呼吸の捕捉も可能であることが分かった。 ○藤本 和賀代、安在 絵美 太田 裕治、山内 基雄、才脇 直樹</p> <p>一人暮らしの高齢者が増加していることが問題視されている現在、その生活の癒しや更に健康管理にも活躍してくれるロボットについて検討を行った。会話によるコミュニケーションがとることことができ、日常生活の中で気温や湿度、対象者の血圧、心拍数、体温といった健康管理に役立つ情報を伝えてくれるIoTロボットはナースと名付け高齢者と生活を共にする前提である。既に、データ取得するセンサは既に研究を進めているセンシングウェアでありIoTデバイスを用いたクラウド型の健康管理支援システムを構築しつつある。IoTロボットナースははユーザに従来型のタブレットやスマホの代替として使われることを想定している。今回、このロボットに着用させる衣服とインタラクションによる印象についても検討を行った。 ○藤本和賀代、本田麻由美 安在絵美、才脇直樹</p>
<p>7 「センシングウェアを用いた健康見守りシステムにおけるIoTロボットナースのHIデザイン」</p>	<p>共</p>	<p>令和元年11月</p>	<p>第62回自動制御連合講演会 (於：札幌コンベンションセンター)</p>	<p>時間や場所に大きく拘束されることなく日常的に健康見守りできる技術の開発に取り組んでいる。これは、各種のウェアラブル/ユビキタスなセンサを用いて、簡易に生体/環境情報をモニタリングすることを可能にし、ユーザの健康状況を主治医や家族、その他関係者と共有すると共に、本人にも分かりやすくフィードバックすることができるものである。本研究では、衣服とセンサを一体化した常時呼吸計測可能なセンシングウェアと、そこから取得した健康管理に必要な情報やアドバイスを言葉で伝える対話型ロボット (IoTロボットナース) の開発に取り組んだ結果について報告する。 ○藤本和賀代、本田麻由美 安在絵美、才脇直樹</p>
<p>8 「センシング</p>	<p>共</p>	<p>令和2年6月</p>	<p>日本繊維製品消費科</p>	<p>最近、スマートテキスタイルの応用</p>

<p>ウェアによる睡眠時無呼吸症候群検出可能性の検討」</p>			<p>学学会2020年年大会 (於：武庫川女子大学) リモート発表</p>	<p>例として、心拍や運動量などの生体情報を日常的に計測し、健康管理に役立てることができる簡易型のシステムが注目されている。本研究では就寝中、もしくは安静時の呼吸に注目し、プリントドエレクトロニクスの技術を用いてセンサを衣服の適切な個所に印刷形成することで、簡易に呼吸周期を計測できるセンシングウェアの開発に取り組んだ。そして、臨床検査用の呼吸計測装置の一つとして睡眠時無呼吸症候群(SAS)検出に使われる鼻フローカニューラと比較し、同程度の呼吸周期計測精度を有することを示した。 ○藤本和賀代、安在絵美、才脇直樹</p>
<p>9 「熱中症対策に有効な高齢者向け衣服デザインの検討」</p>	<p>単</p>	<p>令和2年11月</p>	<p>ファッションビジネス学会・2020年全国大会 (於：香蘭女子短期大学) リモート発表</p>	<p>高齢者女性の熱中症対策に有効な衣服デザインの検討をおこなった。まず、高齢者向け夏服のシルエットを選別し、それらの衣服内気候を超小型IoTデバイスを用い計測を行った。結果、日本の高温多湿の気候では袖無しが最も適していることが明らかとなったが高齢者にとって暑い日であっても腕を大きく出すデザインには大きな抵抗がある。(アンケート結果より) その為、機能面と嗜好面より再度検討を行った。結果、袖寸10cm程度を身頃より持ち出しフレッチスリーブとすることで受け入れられることが分かった。風の通りの良い煙突効果を得るため、張りのある薄手綿100%素材に身頃はゆとりをとり、裾口、袖口、襟ぐりを大きくする。これらにより、機能面と嗜好面が両面満たさせる結果となった。 藤本和賀代</p>
<p>10 「高齢者向け夏物トップスデザインの検討—衣服内気候の計測結果より—」</p>	<p>単</p>	<p>令和3年3月</p>	<p>ファッションビジネス学会・2020年関西支部大会 (於：大阪文化服飾専門学校) リモート発表</p>	<p>高齢者にとっても涼しい衣服選びは重要である。今回高齢者トップス衣料に焦点を当てデザインの違いによる快適な衣服を評価した。夏物衣服の快適さには衣服内の温度のみならず湿度が大きく関わる。トップスでは袖の寸法も衣服内気候に大きな影響を及ぼす。袖なし、半袖、七部袖、長袖と衣服内の温度は長くなるにつれ高くなるが湿度は異なった。湿度80%までは長袖の方が低く快適である。それを超えると急に上がり不快となることが分かった。 藤本和賀代</p>

<p>11 「後期高齢者における夏用ブラウスのデザイン検討」</p>	<p>単</p>	<p>令和3年5月</p>	<p>服飾文化学会第22回大会 (於：杉野服飾大学) オンライン</p>	<p>後期高齢者における夏服の快適性には衣服内の湿度が大きく影響する。衣服内湿度が高くなってくると服地の吸湿・放湿作用の限界値（衣服内湿度80%前後）を超え、袖の長い方が急に湿度が上がる。高温・多湿の日本の夏季では袖はより短い方が適していると言える。しかし、日常生活の実証試験では、盛夏の中でも暑い屋外から涼しい屋内への移動場面が多く、袖丈が短いと環境変動の影響をダイレクトに受けることになり夏バテを起こしやすくなる。 藤本和賀代</p>
<p>12 「熱中症対策に有効な後期高齢者向け衣服デザインの検討」</p>	<p>単</p>	<p>令和3年5月</p>	<p>日本家政学会全国大会第73回 (於：神戸女子大学) オンライン</p>	<p>モニター（78歳女性）の日常生活における衣服内温度・湿度を計測し夏服の快適性について調査を行った。高温低湿度では長袖、高温高湿であれば袖はより短い方が適していた。日本では袖はより短い方が適しているが盛夏の日常生活では暑い屋外から涼しい屋内など温度差の大きい場所への移動場面が多く、袖丈が短いと温度差の影響をもろに受け衣服内気候が急激に変動することによる夏バテを起こしやすいつことが分かった。 藤本和賀代</p>
<p>13 「寒さ対策に効果的な冬物衣料の着用法について—衣服内気候の計測結果より—」</p>	<p>単</p>	<p>令和3年10月</p>	<p>日本家政学会第67回中国四国支部大会 (於：徳島文理大学) オンライン</p>	<p>重ね着する場合の効果的着用部位の検討を行った。被験者には2歳、30歳代、50歳代、80歳代の世代別で4名である。世代を問わず上半身対下半身では下半身を温める方が体の平均温度が上昇した。続いて肩胸、お腹、腿、膝下の4部位の比較を行った。その結果、肩胸を温めるのが一番効果的であった。また、冷え性の人にはどの部位を温めようと膝下の温度が一番低く、平均温度の上昇も鈍いことが分かった。幼児においては常時胸につけた計測機の温度が飛びぬけて高かった。 藤本和賀代</p>
<p>14 「ファッションビジネス授業に必要なECショップ運営の知識」</p>	<p>単</p>	<p>令和4年10月</p>	<p>日本家政学会中国四国支部大会（於：山口教育大学）</p>	<p>今回ファッションビジネス授業に「ECショップによるネット販売」の導入を目指して、学生へのアンケート調査と試験的にECショップの運営を試みた。アンケート結果では、ネット購入は日常化している。また、販売にも興味を持ち、学べる機会を期待している学生が半数以上で</p>

<p>15 「リメイク授業における地域貢献の取組み ―サステナブルファッションショー―」</p>	<p>単</p>	<p>令和5年5月</p>	<p>服飾文化学会第24回大会（於：相模女子大学・女子美術大学）</p>	<p>あることが分かった。 試験的に行ったECショップで分かったことはオープンが簡単だが運営においてはかなりの手間が掛かる。（こまめなSNSによる販売促進、商品の写真撮影、商品説明 他）ネット販売の重要点や指導すべきポイントの検討ができた。 藤本和賀代</p> <p>この度、当専攻で地域貢献活動に取り組んだ。具体的には「とくしまSDGsシンポジウム2022」において県内の企業や他学校と連携しサステナブルファッションショーを実施することである。学生達は古着を自らリメイクしモデルとしてショーに出場した。サステナブルファッションショーは好評のうちに終えることができた。地域貢献活動は、学生を学外へ連れ出す絶好の機会でありコロナ禍で閉鎖的になりがちな学校生活の中で視野を広げる機会となった。</p>
<p>16 「とくしまSDGsシンポジウム2022サステナブルファッションショーに参加して」</p>	<p>単</p>	<p>令和5年10月</p>	<p>日本家政学会中国四国支部大会（於：岡山県立大学）</p>	<p>ファッションを学ぶ学生達がとくしまSDGsシンポジウム2022サステナブルファッションショーに参加した。古着をリメイクしモデルも務めた。イベント終了後、参加した学生にアンケートを行ったので結果(1)リメイクに興味を持つようになった。(2)リメイクの面白さを知った。(3)発想力・技術力の向上に繋がった。(4)何より服を大切に思うようになった。他、学生の感想について報告する。</p>
<p>科研費採択状況 （過去2年間）</p>	<p>該当なし</p>			
<p>研究助成金の交付等 （過去2年間）</p>	<p>該当なし</p>			
<p>特許申請状況 （過去2年間）</p>	<p>該当なし</p>			
<p>その他の研究活動</p>	<p>該当なし</p>			
<p>教 育</p>				
<p>授 業</p>	<p>〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「被服構成学実習」（建築デザイン学科2年2名、4年3名、</p>			

<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①短大教務委員 ②短大ホームページ委員 ③短大就職委員 ④短期大学部総合型選抜入試運営委員 ⑤短大オープンキャンパス運営委員 ⑥学科ブログ・Instagram配信担当 ⑦短大認証評価ワーキンググループ ⑧R5実施新入生セミナー運営委員会 ⑨学校案内2024年版学科別担当 ⑩オープンキャンパス学科説明担当、模擬授業担当 「UVレジンでストラップを作ろう」 「アロマワックスバーを作ろう」 ⑪高校生のための公開セミナー「パーソナルカラーを学んでみよう」 令和5年8月2日 ⑫短大フェスタ「可愛い巾着ポーチを作ろう」 令和5年10月21日 ⑬短期大学部入学前ガイダンス 令和5年2月10日 ⑭短期大学部生活科学科・生活科学専攻卒業制作展 徳島文理大学2号館コミュニティスタジオにて開催。準備・搬入・搬出作業 展示期間：令和6年2月6日より2月14日
-------------	---

氏名	松下純子 (まつした じゅんこ)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科食物専攻 教授			
最終学歴	徳島文理大学家政学部家政学科管理栄養士専攻 (学士)			
着任の年月	昭和54年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	なし			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] 1 伝え継ぐ 日本 の家庭料理 第 2期 米のおやつともち	共	令和2年11月	農山漁村文化協会 p110	日本調理科学会 徳島県「かしわもち」について執筆 坂井真奈美、松下純子
2 伝え継ぐ 日本 の家庭料理 第 2期 そば・うどん・粉 もの	共	令和2年11月	農山漁村文化協会 p24、111	日本調理科学会 徳島県「そば切り」「お好み焼き」 について執筆 松下純子、坂井真奈美
3 伝え継ぐ 日本 の家庭料理 第 3期 どんぶり・雑炊・ おこわ	共	令和3年12月	農山漁村文化協会 p95	日本調理科学会 徳島県「赤飯」について執筆 松下純子、坂井真奈美
4 伝え継ぐ 日本 の家庭料理 第 3期 年取りと正月の料 理	共	令和3年12月	農山漁村文化協会 p36、37	日本調理科学会 徳島県「雑煮」について執筆 坂井真奈美、松下純子
5 伝え継ぐ 日本 の家庭料理 第 3期 野菜のおかず 春 から夏	共	令和3年12月	農山漁村文化協会 p112、113	日本調理科学会 徳島県「ずきがし」「はすと太刀魚 の酢の物」について執筆 松下純子、坂井真奈美
[論文] 1 徳島県中学生 の栄養素摂取状況 および野菜の摂取 量	共	令和元年9月	徳島文理大学研究紀 要第98号 p9-19	徳島県における将来の糖尿病発症予 防に繋げることを目的とし、中学生 を対象に調査した。男女ともエネル ギー摂取量は少なく、カリウム、カ ルシウム、鉄、ビタミンB1、食物 繊維摂取量が不足する者と、食塩摂

<p>2 高校生対象エシカル消費活動および活動実施が短期大学生に及ぼす教育的効果</p>	<p>共</p>	<p>令和元年 9月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第98号 p 63-70</p>	<p>取量が過剰な者があった。食物摂取状況は、男女とも目標量の約8割程度であった。 西永綾乃、犬伏智子、松下純子、小川直子、橋田誠一</p> <p>実態調査では、「エシカル消費」の認知度は4割程度と低かったが、「エコ」「地産地消」の認知は高かった。これを捉え、エシカル消費活動を高校生とともに短大生が取り組んだ結果、理解度が深まった。高校生と接することにより、短大生の社会人基礎力、発信力、主体性が向上した。 坂井真奈美、松下純子、長尾久美子、田尾公生</p>
<p>3 徳島県小学生の栄養素摂取状況と野菜の摂取量</p>	<p>共</p>	<p>令和2年 3月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第99号、p 35-42</p>	<p>徳島県における将来の糖尿病発症予防に繋げることを目的とし、小学生を対象に調査した。郡部男子児童は果実、穀物、市内女子は緑黄色野菜。嗜好飲料の摂取が多かった。女子の太め群で油脂類が有意に多く、肥満との関連が示唆された。野菜の摂取が多かったのは痩せ群男子、普通群女子であった。 植田莉奈、犬伏知子、松下純子、小川直子、橋田誠一</p>
<p>4 食生活の現状と100円朝食利用が食生活に及ぼす効果</p>	<p>共</p>	<p>令和3年 9月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第102号、p 43-51</p>	<p>食生活状況及び100円朝食についてのアンケートを実施した。一人暮らしの学生に加え実家から通っている学生でも、朝食を自分で用意・購入・100円朝食の利用頻度は週1回以上の学生が多く、朝食摂取を中心に生活習慣を確立する効果が期待できることが明らかとなった。 坂井真奈美、松下純子、長尾久美子、佐賀啓子、原理沙、田村友莉香</p>
<p>5 徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて 一遠隔授業によるボランティア活動推進の試み一</p>	<p>共</p>	<p>令和5年 3月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第105号、p 25-35</p>	<p>2016年から徳島県等と連携、ボランティアパスポート制度を導入して、「総合科目A（ボランティア）」単位を認定しているが、2020年はコロナ禍により授業開講できず、学生の活動も停滞した。2021年度は感染予防対策と受講の利便性を考慮し、ゲートル・クラスルームとZoomを用いて遠隔授業を行った。受講者に対するアンケート調査により成果を検証し、ボランティアパスポートの意義、今後の課題について考察した。 児嶋輝美、島田俊朗、藤本和賀代、松下純子、則包光徳、堀口誠信</p>

<p>〔発表〕 1 徳島県の家庭料理 副菜の特徴 食材と調理法から見える地域性</p>	共	令和元年 8 月	日本調理科学会2019 年度大会 (中村学園大学)	県西部、吉野川北岸部、県中央部、県南山間部、県南沿岸部の5地区において、煮物、和え物、酢の物、汁物、焼き物について具体的な名称を示した。地元で取れる季節の食材を基本とした料理が多く、地域の特性に合わせて伝統的に根付いてきた副菜料理を確認することができた。長尾久美子、坂井真奈美、松下純子、近藤美樹、後藤月江、三木章江、高橋啓子、川端紗也花、金丸芳
2 100円朝食の活用効果	共	令和元年 9 月	第66回日本栄養改善学会学術総会 (富山市)	20歳代の朝食欠食率が高いことより、朝食摂取の機会として、本学で提供している100円朝食利用の実態をとらえ、活用効果を検証した。利用するのは、一人暮らしであり、徒歩または自転車です15分未満の学生が多かった。週3～5回が多く、生活習慣面、学習面での効果が期待できる結果であった。坂井真奈美、松下純子、長尾久美子、佐賀啓子
3 徳島県の家庭料理 行事食の特徴—ひなまつりの楽しい思い出—遊山箱—	共	令和3年 9 月	日本調理科学会 2021年度大会 (実践女子大学)	行事食・儀礼食の認知度が高かったひな祭りについて、徳島で欠かせない遊山箱について報告した。子供の誕生に与えられる引き出し式3段重の遊山箱は、寿司や菓子、おかずなどを詰めてある。子供のころに使ったことがあるのは60歳以上で高い割合を示し、同世代における県民の共通の思い出として残っていることが分かった。高橋啓子、三木章江、宇野美和子、川端紗也花、後藤月江、長尾久美子、松下純子、近藤美樹、坂井真奈美、金丸芳
4 徳島県の家庭料理 地域の特徴—地域で親しまれてきた料理—	共	令和4年 9 月	日本調理科学会2022 年度大会 (アクリエひめじ)	かき混ぜ寿司には人参、大根、高野豆腐、椎茸、卵、春は筍や山菜、金時豆の甘煮、里芋は全域で使用されており、地域性も見られ、姿寿司はボウゼ、アジなど、寿司酢には全域で木酢(すだち、ゆず、ゆこう)が使用されていた。県南や県中央部では主菜、副菜、汁物に魚介類や海藻を使用した料理、山間部、吉野川北岸、県西部では主菜に川魚やジビエ肉、副菜には山菜を使用した料理が挙げられた。三木章江、高橋啓子、後藤月江、川端紗也花、長尾久美子、松下純子、坂井真奈美、近藤美樹、金丸芳

<p>5 中国・四国支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査 ― 全国調査：学生による家庭料理の喫食状況と調理法の現状について―</p> <p>〔雑誌〕 伝え継ぐ日本の家庭料理「米のおやつともち」</p> <p>伝え継ぐ日本の家庭料理「そば・うどん・粉もの」</p> <p>伝え継ぐ日本の家庭料理「どんぶり・雑炊・おこわ」</p> <p>伝え継ぐ日本の家庭料理「年取りと正月の料理」</p> <p>伝え継ぐ日本の家庭料理「野菜のおかず 春から夏」</p>	<p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p>	<p>令和5年9月</p> <p>令和元年6月</p> <p>令和2年3月</p> <p>令和2年8月</p> <p>令和2年12月</p> <p>令和3年3月</p>	<p>日本調理科学会2022年度大会（県立広島大学）</p> <p>農文協 p 110</p> <p>農文協 p 24、111</p> <p>農文協 p 95</p> <p>農文協 p 36、37</p> <p>農文協 p 112、113</p>	<p>中国・四国支部16の大学・短期大学の学生における家庭料理の調理法および調理器具等に関する調査を行った。自宅群では多くの料理で「家で作る」割合が有意に多く、調理法は、焼き魚に専用器具使用で有意差がみられ、めんつゆなど11種類の使用が有意に多かった。多くの家庭料理は、家庭内調理が残っていたが、手間のかかる料理は外部化しつつある傾向がみられ、調理法は従来からある専用器具の使用に変化がみられた。 次田一代、後藤月江、松下純子、合谷祥一、武田珠美、高橋啓子、岡本洋子、福留奈美</p> <p>徳島県「かしわもち」について、著作委員を担当した。 坂井真奈美、松下純子</p> <p>徳島県「そば切り」「お好み焼き」について執筆、著作委員を担当した。 松下純子、坂井真奈美</p> <p>徳島県「赤飯」について執筆、著作委員を担当した。 松下純子、坂井真奈美</p> <p>徳島県「雑煮」について著作委員を担当した。 坂井真奈美、松下純子</p> <p>徳島県「ずきがし」「はすと太刀魚の酢の物」について執筆、著作委員を担当した。 松下純子、坂井真奈美</p>
<p>科研費採択状況 (過去2年間)</p>	<p>該当なし</p>			
<p>研究助成金の交付等 (過去2年間)</p>	<p>令和3年度徳島文理大学「特色ある教育・研究」 「Web会議システムを活用したボランティア活動推進の試み」 共同研究者：児嶋輝美、島田俊朗、松下純子、藤本和賀代、則包光徳、堀口誠信</p>			
<p>特許申請状況 (過去2年間)</p>	<p>該当なし</p>			
<p>その他の研究活動</p>	<p>令和2年度 ○日本調理科学会における、伝え継ぐ日本の家庭料理について、出版に関わる掲載料理の執筆を担当する。</p>			

<p>その他の研究活動</p>	<p>○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○100円超食についての現状と活用状況について研究を進める</p> <p>令和3年度 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○日本調理科学会における、「多様な調理法と家庭料理の伝承」について研究を始める。 ○徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて—遠隔授業によるボランティア活動推進の試み—を分担する。</p> <p>令和4年度 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○日本調理科学会における、「多様な調理法と家庭料理の伝承」について研究を進める。 ○徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて—遠隔授業によるボランティア活動推進の試み—をまとめる。</p> <p>令和5年度 ○エシカルと食品ロスに繋がる研究を進める。 ○日本調理科学会における、「多様な調理法と家庭料理の伝承」について研究を進める。</p>
<p>教 育</p>	
<p>授 業</p>	<p>〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「フードコーディネート論」23名（人間生活3年、22名、木曜日2講時） （心理4年 1名 〃 ）</p> <p>②後期担当授業科目名等 「食品学総論」20名（心理3年、19名、月曜日2講時） （心理4年 1名 〃 ）</p> <p>〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「食品学各論」 （食物1年、8名、月曜日3講時・木曜日3講時） 「食品学概論Ⅰ」 （食物1年、8名、月曜日3講時・木曜日3講時） 「食品学実験」 （食物1年、8名 月曜日1・2講時） 「給食運営管理実習」 （食物2年、10名、火曜日1・2講時） 「調理学」 （食物1年、8名、金曜日2講時） 「フードコーディネート論」 （食物2年、6名、木曜日2講時） 「文理学」 （食物1年、7名、木曜日4講時・5講時）分担 「総合科目D（食と健康）」 （食物1年、8名、木曜日4講時・5講時）分担 「生活科学論」 （生活1年、15名、木曜日4講時・5講時）分担</p> <p>②後期担当授業科目名 「食品学概論Ⅱ」 （食物1年、6名、金曜日1講時） 「給食計画論」 （食物1年、8名、木曜日2講時） 「給食実務論」 （食物1年、8名、木曜日2講時） 「調理科学実験」 （食物2年、8名、木曜日3・4講時） 「総合科目D（食と健康）」 （食物1年、8名、木曜日4講時・5講時）分担</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (9.0) コマ} \\ \text{後期 (5.5) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (14.5) コマ</p>

<p>授 業</p>	<p>〔その他の指導状況〕</p> <p>○前期</p> <p>①食物専攻2年生給食運営管理実習 グループでの授業のため、内容を検討する際には、座席を移動し、随時対応した。</p> <p>②食物専攻1年生：「総合科目D（食と健康）通年」を今年度より開講した。初回説明および栄養士についての説明を担当した。</p> <p>③生活科学科1年生：生活科学論を分担した。食に関わる内容について3回担当した。</p> <p>○後期</p> <p>①食物専攻2年生対象研修 電化厨房セミナーを、調理科学実験授業の一環として実施した。調理に関わる機器を使用し、実演していただいた。</p> <p>②食物専攻2年生対象補習授業 栄養士実力認定試験受験およびフードスペシャリスト資格受験に対する補講授業を、後期5時間目を使用して実施（11コマ）、模擬試験を2回実施し、試験監督を行った。</p> <p>③食物専攻2年生栄養士実力認定試験 栄養士実力認定試験の実施にあたり、試験監督及び事務処理を担当した。</p> <p>○食物専攻1年生および2年生への対応 前期及び後期にわたり、質問がある場合は授業時間以外にかかわらず、随時対応した。食物1年講義および食物2年講義教科をはじめ心理学科人間生活学科の授業担当において、単元終了後に複数回確認テストを行い授業の振り返りを実施した。心理学科対象の授業における確認テストは、令和3年度から開始している。</p> <p>○食物1年生：総合科目D（食と健康）</p> <p><学内> 臨地校外実習、就職活動状況、教育実習報告会を2年生と1年生で実施し、1年生からの質問を受け付けた。 給食関連授業として、14号館給食経営管理実習室を見学した。</p> <p><学外での研修> 岡田製糖所見学を食物1年生7名を新居教授と引率した。 テーブルマナー研修を、渭水苑で実施した。2年生は授業の指定をせず、希望者のみであり、2年生9名1年生8名、教職員8名で参加した。</p>
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>
<p>学生指導</p>	<p>○担任関連 短期大学部食物専攻2年担任として、学生の動向に注意しながら担任2名で指導に当たった。担任およびチューターとして面接時間を設け、前期および後期に実施した。面接時には、学生の発言に耳を傾け、その学生に応じた授業科目の取り方、資格や進路、就職活動について質問に応じ、指導した。 個人相談のある学生については、個別に個人の希望を活かせるよう対応し、実施した。 ホームルームは、学期始めの時期及び学期終了時、長期休暇の前において時間を設定し、クラス全体に対し注意点や心がける点を話した。授業の取り方についても、随時説明した。 単位取得に関連しては、常に保護者との連絡を取り学生本人の状況を確認するとともに、指導を行った。</p> <p>○就職進路関連 就職活動に関しては、各クラス対象の就職説明会に同席し、学生と一緒に状況を確認した。個人面談を含めて、学生個人の希望や進路を話し、就職支援部と共同して指導に当たった。</p>

<p>学生指導</p>	<p>○勉学について 担任学生はもとより、授業を担当した学生については、個別の質問に随時対応し、わかりやすい説明を心がけた。授業においては、必要に応じて資料を作成し、指導内容を補完した。給食実習(短大食物2年生)にあたっては、提供実習に関わる計画立案から給食の実施、終了後のまとめに至るまで指導に携わった。</p> <p>○給食運営管理実習(臨地実習)、栄養教育実習 臨地校外実習では、美摩病院および博愛記念病院へ巡視に伺った。 次年度の予定を実習先に確認し、予定を作成した。 栄養教育実習の巡視は、担任教員が担当するため、教職希望者のうち、3名の実習先である津田小学校、昭和小学校、神山中学校へ巡視に伺った。</p>
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>[公的機関の活動]</p> <p>①小松島市立小学校給食調理業務民間委託先選定会議委員(会長) 小松島市立小学校給食調理業務民間委託先の選定について会議が開催され、全3回の会長として出席し、会議の進行に携わった。</p> <p>②とくしま災害栄養チーム構成員 徳島県内における大規模な地震、台風等の自然災害等発生時を想定し、災害時災害栄養・食生活支援に関して被災者の栄養状態の悪化を食い止め、健康状態を維持するために必要な栄養・食生活支援体制の充実強化を図る目的である。 2月16日(金)に令和5年度「とくしま災害栄養チーム」連携会議がアスティとくしまで開催され、出席した。</p> <p>③アグリビジネスアカデミー 6次産業化コース講師 徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校において、農業者又は農業の基礎的分野を習得している方で農業の6次産業化を目指す方を対象に、1年間で具体的なアグリビジネスプランが作成できる実務能力を養成できるプログラムである。7月3日(月)と10日(月)に「食の栄養と機能性」について講義した。</p> <p>[学会活動]</p> <p>①日本調理科学会2023年度大会実行委員会 日本調理科学会2023年度大会が、9月8日から10日にかけて広島県立大学で開催され、実行委員として事前に実行委員会に参加(Web)、学会当日は口頭発表B会場を2日間担当した。</p> <p>②日本調理科学会中国四国支部徳島県役員 日本調理科学会の徳島県役員として活動し、10月14日に岡山県立大学で開催された支部役員会および中国四国支部大会に出席した。</p> <p>③日本調理科学会特別研究 調査研究者として担当し、徳島県の代表としてミーティングに参加した。 全国版アンケート「家庭料理の調理法および調理器具等に関する調査」まとめの実施および発表、中国四国版アンケート「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」中国・四国9県の伝承に関する調査の実施を担当した。</p>
<p>学内活動</p>	<p>[学内における活動]</p> <p>○臨地校外実習担当 令和5年度臨地校外実習について、臨地校外実習先との連絡および交渉に携り、実習先の巡視等について検討、実施した。 令和6年度臨地校外実習の予定について、実習先と連絡を取り臨地実習計画を立案した。 2月7日(水)にホテルクレメント徳島で開催された臨地校外実習打合せ会に短期学部担当として出席し、懇談会の進行と質問の返答を担当した。</p>

<p>学内活動</p>	<p>○進学説明会担当 6月27日に、むらさきホールで開催された徳島ブロック進学説明会に大学側として出席した。</p> <p>○保護者会面談担当 8月19日に実施された徳島県保護者会面談において、食物専攻2年生保護者と担任2名で面談を行った。</p> <p>○オープンキャンパス担当 オープンキャンパスにおいては、4月29日に「パンケーキを焼いてみよう。ケーキにはどの小麦粉を使うのかな？」を、7月29日に「食育夏祭り！～果物を使っていろいろなゼリーを作ってみよう～」の体験授業を担当した。6月18日および7月16日のオープンキャンパス学科説明を担当した。</p> <p>○大学見学 11月17日に那賀高校高校生計1名に対し、学科説明とミニ講座「和食とおせち」を担当した。</p> <p>○短大フェスタ 10月21日に開催された短大フェスタにおいて、衛生責任者を担当し、保健所において営業許可申請を行った。</p> <p>○栄養士実力認定試験担当 12月9日に栄養士実力認定試験が本学で実施され、試験監督担当及び事務処理を行った。</p> <p>○全学研究者倫理教育委員会委員 短期大学の全学研究者倫理教育委員会委員として、短期大学部教員へAPRINの受講連絡を行い、3月4日に開催された令和5年度全学研究者倫理教育委員会に出席した。</p> <p>○アカンサス会 ①アカンサス会本部副会長 令和5年7月22日には本部役員会の開催については、副会長の犬伏知子氏の補佐を担当した。 ②アカンサス会奨学金担当 令和5年度のアカンサス会奨学金給付に当り、事務担当として申請、審査委員会、給付該当者への連絡文送付等に携わった。アカンサス会奨学金審査委員会は、6月3日に審議を行い、奨学金申請者に対し採用の有無について連絡を行った。 ③アカンサス会徳島県支部役員 徳島県支部役員として、6月3日に徳島県支部総会および2月17日に徳島県支部役員会に出席した。</p> <p>[入試担当] ○総合型選抜入試担当 生活科学科食物専攻の総合型選抜入試担当として、本年度の実施に携わり、次年度に向けた総合型選抜入試実施に関わる内容についても検討した。総合型選抜入試受験生に面談日の調整を行い教員2名で面談を担当した。</p> <p>○ミライのわたし面接担当 10月7日に、総合型選抜入試面接とミライのわたし予約型応援奨学金の面接を担当した（Web）</p> <p>○入学前ガイダンス担当 2月10日に実施した入学前ガイダンスについて、総合型選抜入試運営委員会を開催し、実施に向けて内容の検討及び計画を立て、入学前ガイダンス担当として活動した。</p>
-------------	---

氏名	坂井 真奈美 (さかい まなみ)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教授			
最終学歴	県立広島大学大学院総合学術研究科人間文化学専攻栄養科学研究分野 (修士(人間文化学))			
着任の年月	平成27年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	鈴峯女子短期大学 准教授			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] 1 栄養教育論 第2版	共	令和2年3月	(株)光生館 (東京)	「第3章 栄養教育のためのアセスメント」(pp.71-85)を単著。 栄養教育アセスメントや栄養教育計画・実施・評価について編集されたものである。栄養アセスメントの意義や目的、栄養アセスメントの種類と方法、情報の整理について解説した。 共著者：岡崎光子、太田優子、吉野佳織、服部浩子、板東絹江、坂井真奈美、山王丸靖子、辻雅子、小河原佳子、大山珠美
2 栄養科学シリーズNEXT 公衆栄養学概論 第2版	共	令和2年3月	株式会社講談社サイエンティフィック	「4.3高齢社会の健康・栄養問題「4.4食料需給と自給率」」(pp.85-102)を単著。 高齢者の健康や介護をめぐる現状について示し、高齢社会対策のために健康・介護・医療などの分野で実施されている健康・栄養政策について解説した。食料需給と自給率では、食料自給率の国際比較を行い、日本の食料自給率の現状について解説した。 共著者：安達内美子、畦岡悦子、小澤啓子、郡俊之、駒田亜衣、坂井真奈美、田中和美、友竹浩之、古川和子、森直子
3 全集伝え継ぐ 日本の家庭料理 米のおやつともち	共	令和2年11月	農山漁村文化協会 p.110、p.128	日本調理科学会の一員として、「柏もち」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：坂井真奈美、松下純子
4 全集伝え継ぐ	共	令和2年11月	農山漁村文化協会	日本調理科学会の一員として、「そ

日本の家庭料理 そば うどん 粉 もの			pp.24～25、 p.111、p.129	ば切り」および「お好み焼き」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：松下純子、坂井真奈美
5 全集伝え継ぐ 日本の家庭料理 どんぶり 雑炊 おこわ	共	令和3年12月	農山漁村文化協会 p.95	日本調理科学会の一員として、「赤飯」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：松下純子、坂井真奈美
6 全集伝え継ぐ 日本の家庭料理 年取りと正月の料理	共	令和3年12月	農山漁村文化協会 pp.36～37、 68～69、117	日本調理科学会の一員として、「雑煮」および「れんぶ」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：坂井真奈美、松下純子
7 全集伝え継ぐ 日本の家庭料理 野菜のおかず 春 から夏	共	令和3年12月	農山漁村文化協会 pp.112～113	日本調理科学会の一員として、「ずきがし」「はすと太刀魚の酢の物」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：松下純子、坂井真奈美
〔論文〕 1 高校生対象エシカル消費活動および活動実施が短期大学生に及ぼす教育的効果	共	令和元年9月	「徳島文理大学研究紀要」 第98号 pp.1-10	エシカル消費に対する実態調査をもとに、エコや地産地消など既存イメージを切り口にエシカル消費活動を行った。エシカル消費活動に取り組んだ短期大学生の社会人基礎力は、発信力において実施前2.9ポイント、実施後3.5ポイントで有意に上昇した。短期大学生は教員とエシカル消費活動を行うことにより、社会人基礎力が身につくことが示唆された。 共著者：坂井真奈美、松下純子、長尾久美子、田尾公生
2 食生活の現状と100円朝食利用が食生活に及ぼす効果	共	令和3年9月	「徳島文理大学研究紀要」 第102号 pp.43-51	食生活状況及び100円朝食についてのアンケートを実施した。一人暮らしの学生に加え実家から通っている学生でも、朝食を自分で用意・購入・100円朝食を利用する割合は高かった。100円朝食の利用頻度は週1回以上の学生が多く、朝食摂取を中心に生活習慣を確立する効果が期待できることが明らかとなった。 共著者：坂井真奈美、松下純子、長尾久美子、佐賀啓子、原里沙、田村友莉香

<p>〔発表〕 1 徳島県の家庭料理副菜の特徴～食材から見える地域性～</p>	共	令和元年 8 月	日本調理科学会2019年度大会（福岡市）研究発表要旨集p.99	徳島の家庭料理の調査より、副菜についてその特徴をまとめた。各地域の地元で取れる季節の食材を基本とした料理が多く見られ、副菜で季節感を味わっている様子が伺われた。調理法では揚げ物、炒め物は少なく、煮物や和え物が中心であった。魚介類は主菜として利用されることが多いが、県南沿岸部では副菜にも使用がみられた。それぞれの地域の特徴に合わせた、食文化が継承されていることが確認出来た。 共同発表者：長尾久美子、坂井真奈美、松下純子、近藤美樹、後藤月江、三木章江、川端紗也花、高橋啓子、金丸芳
<p>2 100円朝食の活用効果について</p>	共	令和元年 9 月	第66回日本栄養改善学会学術総会（富山市）栄養学雑誌講演要旨集：77（5）p.238	100円朝食喫食者（有効回答のべ253名）に対し、平成30年12月4日～7日に自記式無記名のアンケート調査を実施した。100円朝食の利用頻度は週3～5回の学生が多く、朝食摂取を中心に生活習慣が確立されている様子であった。100円朝食の提供により、生活のリズムが整った・朝食を食べるようになったなどの生活習慣面および学習面での効果が期待できることが明らかになった。 共同発表者：坂井真奈美、松下純子、長尾久美子、佐賀啓子
<p>3 徳島県の家庭料理 行事食の特徴 —ひな祭りの楽しい思い出—遊山箱—</p>	共	令和3年 9 月	日本調理科学会2021年度大会（オンライン開催）研究発表要旨集p.73	徳島の家庭料理の調査より、行事食についてその特徴をまとめた。ひな祭りの認知率は94.8%。寿司や餅・菓子の喫食経験は70%以上で継続されている行事である。そして徳島にはひな祭りに欠かせない遊山箱がある。遊山箱や和食に関するアンケート調査、家庭料理の聞き書き調査や文献よりまとめた。遊山箱は上段・中段・下段に寿司・おかず・菓子類が詰められていた。昭和40年ごろまでは多くのものが使用しており、主に60歳以上のは71.4%で多くの県民の共通の思い出として残っていることが明らかになった。 共同発表者：高橋啓子、三木章江、宇野美和子、川端紗也花、後藤月江、長尾久美子、松下純子、近藤美樹、坂井真奈美、金丸芳
<p>4 徳島県の家庭</p>	共	令和4年 9 月	日本調理科学会2022	徳島の家庭料理の調査より、地域の

<p>料理 地域の特徴 —地域で親しまれてきた料理—</p>			<p>年度大会（ハイブリッド方式による開催） 研究発表要旨集p.87</p>	<p>特徴をまとめた。徳島県全域において、主食では「かき混ぜ寿司」、「魚の姿寿司（ボウゼ）」、主菜では「すき焼き」、副菜では「なます」、汁物では「そば米汁」、おやつでは「ういろ」、「柏餅（練り込み）」、「干し芋」、「餅（のし餅・おへぎ・あられ）」が挙げられた。地域で使用された食材の特徴として、地元で入手しやすい食材や特産物、加工保存した食材等を使用していることがわかった。 共同発表者：三木章江、高橋啓子、後藤月江、川端紗也花、長尾久美子、松下純子、坂井真奈美、近藤美樹、金丸芳</p>
<p>5 中国・四国支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査 —支部調査：中国・四国9県の学生における郷土料理・行事食のイメージと意識—</p>	共	令和5年9月	日本調理科学会2023年度大会	<p>学生が郷土料理・行事食に抱くイメージと意識を把握し、検討することを目的とし、中国・四国9県の支部調査を行った。その結果、今回の調査対象は郷土料理・行事食ともに後世に伝えていく事が大切とされていることが推察され、郷土料理を身近に感じてもらえる取り組みをすることで、伝承につながる可能性が示唆された。 共同発表者：山下晋平、亀岡恵子、近藤（比江森）美樹、坂井真奈美、高橋啓子、福留奈美</p>
<p>〔報告書〕 1 2012～2022年度 次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究総まとめ報告書</p>	共	令和5年3月	日本調理科学会 次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会 pp.175～178	<p>徳島県の家庭料理について、総まとめを行った。まず徳島県を、県南沿岸、県南山間、吉野川北岸、県中央、県西に分類し各地域の暮らしと食生活の特徴を挙げた。次に家庭料理の特徴として、主食、主菜、副菜、汁物、おやつ、行事食に分類し調査で得られた料理や食材を記述した。最後に徳島県全体の概要をまとめた。 共著者：高橋啓子、金丸芳、坂井真奈美、長尾久美子、松下純子、三木章江、後藤月江、近藤美樹、川端紗也花、宇野美和子、武田珠美</p>
<p>〔雑誌〕 1 伝え継ぐ日本の家庭料理 米のおやつともち</p>	共	令和元年6月	農山漁村文化協会、別冊うかたま p.110	<p>徳島県調理科学会の一員として、「柏もち」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：坂井真奈美、松下純子</p>
<p>2 伝え継ぐ日本</p>	共	令和2年3月	農山漁村文化協会、	徳島県調理科学会の一員として、

<p>の家庭料理 そば うどん 粉もの</p>			<p>別冊うかたま pp.24～25、111</p>	<p>「そば切り」および「お好み焼き」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：松下純子、坂井真奈美</p>
<p>3 伝え継ぐ日本の家庭料理 どんぶり 雑炊 おこわ</p>	共	令和2年8月	<p>農山漁村文化協会、 別冊うかたま p.95</p>	<p>徳島県調理科学会の一員として、「赤飯」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：松下純子、坂井真奈美</p>
<p>4 伝え継ぐ日本の家庭料理 年取りと正月の料理</p>	共	令和2年12月	<p>農山漁村文化協会、 別冊うかたま pp.36～37、68～69、117</p>	<p>徳島県調理科学会の一員として、「雑煮」および「れんぶ」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：坂井真奈美、松下純子</p>
<p>5 伝え継ぐ日本の家庭料理 野菜のおかず 春から夏</p>	共	令和3年3月	<p>農山漁村文化協会、 別冊うかたま pp.112～113</p>	<p>徳島県調理科学会の一員として、「ずきがし」「はすと太刀魚の酢の物」について材料、作り方、料理写真、料理の特徴、地域の歴史や豆知識について解説した。 共著者：松下純子、坂井真奈美</p>
<p>[データベース（デジタルアーカイブ）] 1 ルーラル電子図書館（伝え継ぐ日本の家庭料理）</p>	共	令和4年9月	<p>農山漁村文化協会の運営するデータベース</p>	<p>赤飯（松下純子、坂井真奈美） そば切り（松下純子、坂井真奈美） お好み焼き（松下純子、坂井真奈美） ずきがし（松下純子、坂井真奈美） はすと太刀魚の酢の物（松下純子、坂井真奈美） 柏もち（坂井真奈美、松下純子） 雑煮（坂井真奈美、松下純子） れんぶ（坂井真奈美、松下純子）</p>
<p>2 ルーラル電子図書館（伝え継ぐ日本の家庭料理）</p>	共	令和5年6月	<p>農山漁村文化協会の運営するデータベース</p>	<p>冷やしそうめん（坂井真奈美、松下純子）</p>
	共	令和5年7月	<p>農山漁村文化協会の運営するデータベース</p>	<p>ぜんまいと油揚げの炒め煮（坂井真奈美、松下純子）</p>
<p>科研費採択状況 （過去2年間）</p>	該当なし			
<p>研究助成金の交付等 （過去2年間）</p>	該当なし			

<p>特許申請状況 (過去2年間)</p>	<p>該当なし</p>
<p>その他の研究活動</p>	<p>令和4年度 ○日本調理科学会主催による「多様な調理法と家庭料理の伝承」特別研究の一環として、徳島県における実態調査を行い、全国調査や中国・四国調査との比較検討していき検討しまとめ、発表につなげる。</p> <p>令和5年度 ○日本調理科学会主催による「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」特別研究の一環として、中国・四国支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査を行い、中国・四国9県の学生における郷土料理・行事食のイメージと意識をまとめ、発表につなげる。</p>
<p>教 育</p>	
<p>授 業</p>	<p>〔学部関係〕 ①前期担当授業科目名等 「食生活論」(人間生活1年24名・4年1名・心理4年1名。月曜日3講時) 「食生活論」(建築デザイン1年6名・4年5名、月曜日3講時)</p> <p>〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 「食生活論」(食物専攻2年。11名。月曜日5講時) 「食生活論」(生活科学専攻1年。10名。月曜日3講時) 「栄養学総論」(食物専攻1年。7名。火曜日2講時) 「栄養指導実習Ⅱ」(食物専攻2年。11名。水曜日3・4講時) 「文理学」(食物専攻1年。7名。木曜日4講時) 「栄養情報処理」(食物専攻2年。11名。月曜日1講時) 「総合科目D(食と健康)」(食物専攻1年。8名。金曜日5講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「栄養指導論」(食物専攻1年。8名。金曜日2講時) 「栄養指導実習Ⅰ」(食物専攻1年。8名。火曜日1・2講時) 「公衆栄養学」(食物専攻2年。11名。水曜日1講時) 「食品流通論」(食物専攻2年。8名。木曜日3講時) 「食生活特論」(食物専攻2年。8名。木曜日4講時) 「文理学」(食物専攻1年。7名。金曜日5講時) 「総合科目D(食と健康)」(食物専攻1年。8名。水曜日5講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (7.5) コマ} \\ \text{後期 (8.0) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (15.5) コマ</p> <p>〔その他の指導状況〕 ○栄養士実力認定試験受験用並びにフードスペシャリスト受験用補講 「公衆衛生学」「社会福祉概論」「栄養学総論」「公衆栄養学概論」「栄養と健康」 「食品流通論」「フードスペシャリスト論」(食物専攻2年。11名) 対面での補講に加えて、Googleクラスルームを活用したオンデマンドの補講を行い、学生が繰り返し過去問題を解けるように環境を整えた。</p> <p>○臨地・校外実習巡回訪問指導 令和5年8月23日 病院実習1カ所(食物専攻2年。2名)</p>

授 業	<p>○マナー研修会 令和6年1月26日渭水苑で実施された和食のテーブルマナー研修会に学生（食物専攻1年8名、2年9名）を引率した。</p>
論文等指導	なし
学生指導	<p>①食物専攻1年担任・チューターとしての面接を実施 定期面談：前期1回（4月）、後期1回（9月）、担当学生と面談を実施。 授業・学習や進路、健康状況、生活面、友人関係などあらかじめ面接票に記入してもらい、詳細に面談を行った。</p> <p>随時面談：個人相談への特別指導を行った。また、進路に関する助言・指導を行った。欠課の多い学生と授業担当との調整にも気遣った。</p> <p>②ホームルームでの指導 定期的（7月28日、9月22日、12月19日、2月2日）にホームルームを開催し、学生指導した。</p> <p>③ポートフォリオ入力指導 前期および後期に入力指導を実施した。また行動の記録は前期に3回、後期に3回、時間を設けて指導した。</p> <p>④新入生セミナー、遍路ウォーク 令和5年4月22日（土）に実施された新入生セミナー、遍路ウォークに担任として同行し指導した。</p> <p>⑤就職支援 就職支援課の就職説明会（令和5年12月4日）に同席し、学生指導を行った。 学生と企業等との交流会（令和6年2月3日）に同席し、学生指導を行った。</p>
活 動	
学外活動	<p>〔学外の委員会〕</p> <p>①「みんなでつくろう！健康とくしま県民会議」幹事長 （平成30年6月1日から令和6年5月31日まで） 野菜摂取量アップ専門部会 部会長 （平成30年6月1日から令和6年5月31日まで） 徳島県地域・職域連携推進協議会座長（平成30年6月1日から令和6年5月31日まで） みんなでつくろう！健康とくしま県民会議野菜摂取量アップ専門部会 徳島野菜週間の街頭啓発を令和5年8月26日に実施した。 専門部会を令和6年2月8日に開催した。</p> <p>〔学会の活動〕</p> <p>①一般社団法人日本調理科学会2023年度大会 実行委員会 委員 （令和4年11月27日から令和6年年3月31日）</p> <p>〔その他の活動〕</p> <p>①上板町STOPフレイル with 徳島文理大学 学生を引率し、フレイル予防&健康長寿に繋がる食生活相談を実施した。</p>
学内活動	<p>①短大ホームページ委員会 委員会第1回（令和5年4月13日）、ホームページの使い方（令和5年4月27日）WEB勉強会（令和5年6月28日）、SNS運用セミナー（令和5年9月22日）</p>

<p>学内活動</p>	<p>食物専攻ページのニュース&トピックスの掲載を行った。</p> <p>②短期大学部総合型選抜入試運営委員会 委員会第1回（令和5年11月21日）、第2回（令和5年12月7日）、 第3回（令和6年1月10日）、入学前ガイダンス（令和6年2月10日）を行った。</p> <p>③自己点検・評価実施委員会委員 第1回（令和5年5月30日）</p> <p>④食物専攻広報担当 学科紹介プリントを作成した。学生の写真撮影並びに学生からのメッセージ入力を行った（1年の学生の出身校およびその他の高校用）。</p> <p>⑤進学説明会 阿南ブロック進学説明会に出席（令和5年6月29日）</p> <p>⑥オープンキャンパス 令和5年4月29日 令和5年6月18日 模擬授業「料理カードで、今日のメニューを一緒に考えよう！」 令和5年7月16日 模擬授業 「食育夏祭り！クレープを作ろう～デザートからおかずまで～」 令和5年7月29日 令和5年8月20日 学科説明 令和5年9月24日 ○授業内容理解のために、授業の教科書などの資料を準備 ○高校生向け食物専攻紹介用のパワーポイントの原案を作成、紹介 ○短期大学部全体会用に授業の教科書などの展示資料を準備 ○学生による学科紹介のための学生指導</p> <p>⑦ライブ配信 令和5年5月21日 学科説明 2名</p> <p>⑧短大フェスタ 大学祭の中で実施された短大フェスタでは、1年生に「ベジメータで野菜摂取量チェック」の指導を行った。</p> <p>⑨総合型選抜入試およびミライのわたし奨学金の面接（令和5年10月1日）</p> <p>⑩大学入学共通テストの主任監督者として、試験監督を行った。（令和6年1月14日）</p> <p>⑪I期A入試で阿南会場の担当として、試験監督を行った。（令和6年1月27日）</p> <p>⑫フードスペシャリスト担当として、フードスペシャリストに関わる事務や試験監督などを行った。</p>
-------------	--

氏 名	新 居 佳 孝 (に い よ し た か)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 教 授			
最終学歴	徳島大学大学院栄養学研究科博士前期課程修了 (博士 (栄養学))			
着任の年月	令和5年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立工業技術センター 課長			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発 行 所 , 発 表 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	概 要
〔論文〕 Nobiletin enhances induction of antigen-specific immune responses in BALB/c mice immunized with ovalbumin.	共	令和元年6月	Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 第65巻第3号	オボアルブミン (OVA) で免疫したマウスの免疫応答に対するノビレチンの影響を検討した。ノビレチンにより、OVA 特異的なIL-4およびIL-10の産生が増加した。さらに、ノビレチンを投与されたマウスは、対照マウスよりもOVA特異的IgE、IgG、およびIgG ₁ 産生が高値を示した。胸腺非依存性抗原に対する抗体反応は、対照群とノビレチン群で差がなかったことから、ノビレチンが抗体産生を直接刺激しないことが示唆された。 <i>in vitro</i> 実験では、ノビレチンにより骨髄由来樹状細胞の抗原提示能力が強化されることが示された。これらの結果から、ノビレチンは免疫機能の調節作用を有することが示された。 掲載頁：pp. 278-282 共著者：Akiko Nakamoto, Mami Mitani, Kana Urayama, Akari Maki, Mariko Nakamoto, Emi Shuto, <u>Yoshitaka Nii</u> and Tohru Sakai
スタチ果皮ポリフェノール (スタチチン) の機能性と食品素材開発	共	令和元年7月	日本食品科学工学会誌 第66巻第7号	スタチ果皮には、ノビレチンと構造の類似しているスタチチンが含まれているが、これまでその生理機能性は十分知られていなかった。そこで、スタチチンを高脂肪食投与マウスに経口投与し、体重増加抑制および糖・脂質代謝改善効果を検討した。さらに、スタチチン含量を高めたスタチ果皮エキス末の開発を地元企業と共同で実施するとともに、スタチ果皮からのスタチチン大量精製技術の確立にも取り組んだ。 掲載頁：pp. 233-237 共著者：新居佳孝、敷島康普、酒井

<p>県産農産物の抗酸化活性とポリフェノール量</p>	<p>共</p>	<p>令和元年12月</p>	<p>徳島県立工業技術センター研究報告 第28巻</p>	<p>徹</p> <p>食品の抗酸化活性は、生体の酸化を防ぐ能力のことを指し、生活習慣病の発症抑制との関連が指摘されている。これまで、抗酸化活性の測定は様々な方法で行われてきたが、最近では酸素ラジカル吸収能力(ORAC)法が有用であると報告されている。そこで、食品製造企業等における機能性表示食品の開発に向けた取組みを支援するために、県産農産物の抗酸化活性を測定し、データの収集と比較検討を行った。穀類、いも類、野菜類、藻類等の抗酸化活性を測定した結果、阿波晩茶茶葉、フキノトウ、レンコン(節)、藍葉の順に高値を示した。また、藍葉、サルナシの果実、サツマイモ(つる)、藍種子といった食品として未利用である試料は比較的高値を示した。柑橘類の果皮の抗酸化活性は、スダチが最も高く、ユコウ、阿波すず香、ユズの順に続いた。 掲載頁：pp. 1-4 共著者：新居佳孝、池田絵梨</p>
<p><i>Citrus sudachi</i> peel extract suppresses cell proliferation and promotes the differentiation of keratinocytes through inhibition of the EGFR/ERK signaling pathway.</p>	<p>共</p>	<p>令和2年10月</p>	<p>Biomolecules, 第10巻第10号</p>	<p>スダチ果皮の水抽出物が、ヒト角化細胞株および正常ヒト表皮角化細胞の細胞増殖を抑制することを見出した。スダチ果皮抽出物は、上皮成長因子(EGF)によるEGF受容体活性化と腫瘍壊死因子(TNF-α)による細胞外調節キナーゼ(ERK)の活性化を抑制したことから、この抽出物は抑制効果を有することが示唆された。さらに、スダチ果皮抽出物は、カルシウム誘導性のケラチノサイトの分化を促進した。これらの結果から、スダチ果皮抽出物は、乾癬や皮膚扁平上皮癌などに見られる表皮角化細胞の過剰増殖を特徴とする皮膚疾患に対して有効であることが示唆された。 掲載頁：1468 共著者：Shogo Abe, Misako Ueno, Mami Nishitani, Tetsuya Akamatsu, Takumi Sato, Marie Shimoda, Hiroki Kanaoka, <u>Yoshitaka Nii</u>, Hiroko Yamasaki and Keizo Yuasa</p>
<p>県産サツマイモの抗酸化活性とポリ</p>	<p>共</p>	<p>令和2年12月</p>	<p>徳島県立工業技術センター研究報告</p>	<p>サツマイモに含まれるポリフェノール的一种であるクロロゲン酸は、調</p>

<p>フェノールに及ぼす加熱調理の影響</p>			<p>第29巻</p>	<p>理後の褐変に関与し、さらに食味を低下させる成分であると認識されてきた。しかし、ポリフェノールは抗酸化活性を有しており、加齢をはじめ、紫外線、大気汚染、精神的ストレス等の要因により生じた活性酸素を消去し、生活習慣病の発症を抑制するといわれている。そこで、徳島県内の産地別に入手したサツマイモのポリフェノールおよびORAC法による抗酸化活性を測定するとともに、加熱調理（焼き、蒸し）の影響についても検討した。分析した結果、サツマイモの抗酸化活性は、加熱調理することにより、生の試料に比べて増加する傾向がみられた。これは、ポリフェノール総量が増加することに起因すると考えられた。特にサツマイモに含まれるポリフェノールの中で、クロロゲン酸が増加することが分かった。 掲載頁：pp. 27-30 共著者：新居佳孝、池田絵梨</p>
<p>Sudachi peel extract powder including the polymethoxylated flavone sudachitin improves visceral fat content in individuals at risk for developing diabetes.</p>	<p>共</p>	<p>令和3年6月</p>	<p>Food Science & Nutrition 第9巻第8号</p>	<p>メタボリックシンドロームの境界型（BMI：23kg/m²以上）に分類される被験者を対象に、スタチ果皮エキス末を二重盲検法により12週間継続摂取させたところ、1日あたり5mgのスタチチンの摂取で、内臓脂肪量の改善効果がみられた。 掲載頁：pp. 4076-4084 共著者：Yasuhiro Shikishima, Rie Tsutsumi, Ayuka Kawakami, Hiroyuki Miura, Yoshitaka Nii, Hiroshi Sakaue</p>
<p>甘酒製造過程におけるポリフェノール量の推移</p>	<p>共</p>	<p>令和4年1月</p>	<p>徳島県立工業技術センター研究報告 第30巻</p>	<p>近年、発酵食品の機能性が多く報告されているが、その機能性の多くは麹由来の酵素により生成されるポリフェノールが大きく関与している。ポリフェノールは、生活習慣病の発症抑制との関連が指摘されている食品の抗酸化活性と密接に関連している。そこで、米麹を用いて甘酒を作製し、ポリフェノール及びフェルラ酸を原料麹と比較した。その結果、甘酒を作製することにより、ポリフェノール量は白麹菌、黄麹菌ともに原料麹に比べて3倍近く増加した。また、遊離フェルラ酸が原料麹に比べて大きく謳歌することが明らかとなった。これらは麹菌のもつ酵素の影響であると示唆された。 掲載頁：pp. 7-9</p>

<p>阿波晩茶の浸出条件が抗酸化活性とカテキン類含量に及ぼす影響</p>	<p>共</p>	<p>令和4年1月</p>	<p>徳島県立工業技術センター研究報告第30巻</p>	<p>共著者：新居佳孝、岡久修己、西岡浩貴、戸田昌宏、門脇昌史、河田守、金丸芳</p> <p>浸出温度や時間が阿波晩茶浸出液の機能性に及ぼす影響について調べるため、酸素ラジカル吸収能力(ORAC)法による抗酸化活性の測定やカテキン類含量等の分析を行った。その結果、阿波晩茶浸出液の抗酸化活性は浸出条件によって変化し、沸騰水で浸出した場合が最も高かった。カテキン類についてはエステル型カテキンよりも遊離型カテキンの方が多く含まれていたが、カテキン類の組成は浸出条件によって異なっていた。</p> <p>掲載頁：pp. 11-14 共著者：池田絵梨、新居佳孝</p>
<p>徳島県産レンコンの産地および加工方法の違いによる抗酸化性比較</p>	<p>共</p>	<p>令和4年1月</p>	<p>徳島県立工業技術センター研究報告第30巻</p>	<p>徳島県内で栽培されたレンコンの抗酸化活性について、酸素ラジカル吸収能力(ORAC)法を用いて測定し、加工方法や産地による違いについて検討した。その結果、レンコン可食部では加工方法に関わらず皮付きの方が高い傾向を示した。一方、生の状態では産地による違いが認められ、栽培条件の差が総ポリフェノール量に影響している可能性が示唆された。また未利用部であるレンコンの節は、高い抗酸化活性を示した。</p> <p>掲載頁：pp. 17-19 共著者：池田絵梨、新居佳孝</p>
<p>柑橘果皮を原料とした新規高機能素材の開発</p>	<p>共</p>	<p>令和4年12月</p>	<p>徳島県立工業技術センター研究報告第31巻</p>	<p>柑橘果皮のさらなる有効利用のため、柑橘果皮からセルロースファイバー(CF)シートを調製し、その特性を評価した。同じ前処理、解繊条件でもスタチ及びユズCFの表面構造は異なっていたことから、同じ柑橘類果皮でも、種類によって解繊のしやすさが異なることが示唆された。CFシートの引張強度は約40～60MPaであり、ミカン果皮由来CNFシートよりも低い値であり、CFシートの引張強度を向上させるためには、均一にナノレベルまで解繊することが重要であると考えられた。熱重量分析の結果、CFシートは、ミカン果皮由来CNFと同様のDTGピークが得られたことから、部分的にしか解繊されていないCFでも、CNFと同程度の耐熱性がある</p>

<p>Effects of polyethoxyflavonoids on T helper 17 cell differentiation <i>in vitro</i> and <i>in vivo</i>.</p>	<p>共</p>	<p>令和5年2月</p>	<p>The Journal of Medical Investigation 第70巻第1-2号</p>	<p>ることが示唆された。 掲載頁：pp. 31-32 共著者：横山直人、<u>新居佳孝</u>、鎌倉駿</p> <p>培養細胞および実験動物を用いてヘルパー T (Th) 17細胞の分化に対するポリメトキシフラボノイド (PMF) の影響を検討した。ノビレチン (NOB)、スダキチン (SUD)、デメトキシスダキチン、ヘプタメトキシフラボン、ナツダイダインを含む5つの異なるPMFを用いて、Th17応答に対するこれらのフラボノイドの影響を調べた。NOB、ヘプタメトキシフラボンは増殖反応を有意に抑制したが、SUD、デメトキシスダキチン、ナツダイダインは増殖反応を抑制しなかった。実験的に自己免疫性脳脊髄炎を誘発したマウスを、生体内Th17分化モデルとして使用し、NOBとSUDが及ぼす影響を検討した。その結果、NOBはTh17細胞の増殖とサイトカイン応答を有意に抑制したが、SUDは増殖応答のみ減少させた。これらの結果から、生体内でのTh17応答に対するNOBの抑制効果はSUDの抑制効果よりも強いことが示唆された。 掲載頁：pp. 166-170 共著者：Akiko Nakamoto, Yuwa Hirabayashi, Chieri Anzaki, Mariko Nakamoto, Emi Shuto, <u>Yoshitaka Nii</u>, Tohru Sakai</p>
<p>The polymethoxyflavone sudachitin modulates the circadian clock to enhance energy metabolism and remodel liver physiology.</p>	<p>共</p>	<p>令和5年3月</p>	<p>Molecular Nutrition & Food Research 第67巻第9号</p>	<p>サーカディアンリズム評価用培養細胞にスダチチンを添加すると、<i>Bmal1</i>遺伝子の転写リズムの振幅と周期を調節した。このことから、スダチチンは細胞レベルで概日リズムを調整する活性を有していることが分かった。次に、食事誘導性肥満マウスにスダチチンを長期投与したところ、肝臓の概日リズムを調節し、肝臓の中性脂肪の蓄積を抑制することが分かった。特に、肝臓の線維化と炎症を低減することも明らかとなった。 掲載頁：e2200270 共著者：Kazuaki Mawatari, Nobuya Koike, Kazuanri Nohara, Marvin Wirianto, Takashi Uebanso, Takaaki Shimohata, Yasuhiro Shikishima, Hiroyuki Miura, <u>Yoshitaka Nii</u>, Mark J. Burish,</p>

<p>〔発表〕 徳島県産農産物の 抗酸化機能性評価</p>	<p>共</p>	<p>令和元年10月</p>	<p>第52回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会 (於：高知県立大学)</p>	<p>Kazuhiro Yagita, Akira Takahashi, Seung-Hee Yoo, Zheng Chen</p> <p>食品の抗酸化活性は、生体の酸化を防ぐ能力のことを指し、生活習慣病の発症抑制との関連が指摘されている。これまで、抗酸化活性の測定は様々な方法で行われてきたが、最近では酸素ラジカル吸収能力(ORAC)法が有用であると報告されている。そこで、食品製造企業等における機能性表示食品の開発に向けた取組みを支援するために、県産農産物の抗酸化活性を測定し、データの収集と比較検討を行った。穀類、いも類、野菜類、藻類等の抗酸化活性を測定した結果、阿波晩茶茶葉、フキノトウ、レンコン(節)、藍葉の順に高値を示した。また、藍葉、サルナシの果実、サツマイモ(つる)、藍種子といった食品として未利用である試料は比較的高値を示した。柑橘類の果皮の抗酸化活性は、スタチが最も高く、ユコウ、阿波すず香、ユズの順に続いた。 共同発表者：新居佳孝、池田絵梨</p>
<p>柑橘類スタチ果皮抽出液によるEGFR-ERK経路を介した表皮角化細胞の増殖・分化の制御</p>	<p>共</p>	<p>令和3年6月</p>	<p>日本農芸化学会中四国支部第59回講演会(オンライン)</p>	<p>スタチ果皮抽出液の表皮角化細胞に対する影響を検証するとともに、その作用機序についても検討した。その結果、スタチ果皮抽出液は、EGFR-ERK経路の抑制を介して細胞増殖を抑制し、さらにカルシウム誘発性表皮角化細胞分化を増強することが示唆された。 共同発表者：安部庄剛、下田毬絵、金岡大樹、新居佳孝、山崎博子、湯浅恵造</p>
<p>スタチ由来ポリメトキシフラボン・スタチチンの概日リズム調節作用と肝脂質代謝改善作用</p>	<p>共</p>	<p>令和5年5月</p>	<p>第77回日本栄養・食糧学会大会 (於：札幌コンベンションセンター)</p>	<p>スタチチン投与が培養細胞および実験動物の概日リズムへ及ぼす影響を検討した。ヒト由来U2OS細胞にスタチチンを処置すると時計遺伝子<i>Bmal1</i>や<i>Per2</i>の発現リズムの振幅が有意に上昇した。そこで、高脂肪食投与マウスにスタチチンを長期間経口投与し、自発行動リズムと肝臓への影響を評価した。その結果、暗暗サイクル下においてスタチチン投与群で自発行動が高くなった。肝臓のトランスクリプトーム解析やメタボローム解析でもスタチチン投与により脂質代謝関連遺伝子や代謝産物</p>

				の変動がみられた。スタチチン投与は概日リズムの調節に加えて、肝臓に作用して脂質代謝を調整する可能性が示唆された。 共同発表者：馬渡一論、小池宣也、野原一成、敷島康普、三浦宏之、新居家孝、上番増喬、下畑隆明、八木田和弘、高橋 章、Yoo Seung-Hee、Chen Zheng
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	<p>①シカ肉ソーセージの商品化 「食品加工学実習Ⅰ」(食物専攻2年)において「シカ肉ソーセージ」の試作に取り組み、地元食品製造企業の協力のもと商品化された。</p> <p>②スタチチン研究 スタチ果皮に含まれるスタチチンの研究に地元医薬品製造企業とともに取り組んだ。</p> <p>③健康科学研究所(研究員) 高速細胞分析分取装置の担当として、機器の操作研修を行った。</p>			
教 育				
授 業	<p>〔学部関係〕</p> <p>①後期担当授業科目名 「食品加工貯蔵学」(生活2年16名、3年2名。食栄4年2名。心理4年1名。建築2年1名。水曜日4講時)</p> <p>〔短大関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名 「食品の安全性」(食物1年8名。月曜日1講時) 「食品学実験」(食物1年8名。金曜日3、4講時) 「食品加工学実習Ⅰ」(食物2年11名。月曜日3、4講時) 「食品衛生学Ⅱ」(食物2年8名。火曜日3講時) 「食品加工学Ⅱ」(食物2年7名。水曜日2講時) 「文理学」(食物1年7名。木曜日5講時)分担 「総合科目D(食と健康)」(食物1年8名。金曜日5講時)分担</p> <p>②後期担当授業科目名 「食品衛生学Ⅰ」(食物1年8名。火曜日3講時) 「食品加工学Ⅰ」(食物1年8名。木曜日2講時) 「食品加工学実習Ⅱ」(食物2年11名。月曜日1、2講時) 「総合科目D(食と健康)」(食物1年8名。水曜日5講時)分担 「文理学」(食物1年7名。金曜日5講時)分担</p>			

<p>授 業</p>	<p style="text-align: center;">〔全コマ数〕</p> <p style="text-align: center;"> $\left. \begin{array}{l} \text{前期 (6.0) コマ} \\ \text{後期 (4.5) コマ} \end{array} \right\} \text{計 (10.5) コマ}$ </p> <p>〔その他の指導状況〕</p> <p>①栄養士実力認定試験、フードスペシャリスト資格認定試験受験用補講 「食品衛生学」「食品学各論」「生化学」「食品の安全性」「食物学」(食物専攻2年11名)</p> <p>②臨地・校外実習 令和5年8月31日 臨地・校外実習先巡視(病院)</p> <p>③テーブルマナー研修会 令和6年1月26日 渭水苑で実施した和食テーブルマナー研修会に学生を引率した。(食物専攻1年8名、2年9名)</p> <p>④フィールドワーク 令和5年12月7日 総合科目Dにおけるフィールドワークとして、岡田製糖所を見学した。(食物専攻1年8名)</p>
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>
<p>学生指導</p>	<p>①面接の実施 食物専攻1年の担任・チューターとして前期(4月)、後期(9月)に担当学生と個人面接を行った。授業・学習や進路、健康状況、生活面、友人関係などあらかじめ面接票に記入してもらった上で、詳細に面接を行った。</p> <p>②ホームルームでの指導 定期的にホームルームを行い、学生の指導を行った。</p> <p>③学習ポートフォリオの入力指導 前期および後期に自己評価および目標計画の入力指導を行った。また、行動の記録は前期1回、後期2回入力指導を行った。</p> <p>④新入生セミナー、遍路ウォーク 令和5年4月22日 新入生セミナー、遍路ウォークにおいて学生を引率した。</p> <p>⑤学生と企業等との交流会 令和6年2月3日 第3部において学生をサポートした。</p>
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>〔学会活動関係〕</p> <p>①日本栄養・食糧学会(正会員、参与)</p> <p>②日本農芸化学会(一般会員)</p> <p>③第8回日本栄養改善学会四国支部学術総会における特別講演Ⅰの座長</p> <p>④学術誌(園芸学研究)の論文査読</p> <p>〔各種講演〕</p> <p>①令和5年12月8日(株)ときわ社員研修「食品衛生と食物アレルギー～基本とその対策～」(於・ザ・パシフィックハーバー)</p> <p>〔その他の活動〕</p> <p>①令和5年12月13日 高校と大学の教育内容接続のための情報交換会 分科会②</p>

学外活動	<p>(オンライン開催) 高等教育段階を見据えた知識・技能を育成するための取組み事例および高大連携をする上での課題について高校の先生方と検討を行った。</p>
学内活動	<p>①研究紀要編集委員会（委員長） 令和5年6月22日 研究紀要第106号の形式審査を行った。 令和5年11月16日 研究紀要第107号の形式審査を行うとともに、編集要項の改正を行った。</p> <p>②全学研究資源公開委員会（委員） 令和5年7月18日 機関リポジトリの開設について検討した。</p> <p>③オープンキャンパス 令和5年4月29日 短期大学部全体会対応 令和5年6月18日 短期大学部全体会対応 令和5年7月16日 短期大学部全体会対応 令和5年8月20日 模擬授業 「スタチのヒ・ミ・ツ～スタチの知られざるチカラを探る～」 令和5年9月24日 学科説明 令和6年2月10日 模擬授業 「阿波和三盆糖のお話～なぜ今も徳島で作られているのか～」 令和6年3月20日 学科説明</p> <p>④入試試験監督 令和6年1月13日 大学入学共通テスト試験監督 令和6年1月27日 I期A日程試験監督</p> <p>⑤総合型選抜入試、奨学金面接 令和5年9月14日 総合型選抜入試面接 令和5年10月7日 総合型選抜入試、「ミライのわたし」予約型応援奨学金面接</p> <p>⑥転専攻、転学部面接 令和6年1月11日 転専攻希望者の面接 令和6年3月4日 転学部希望者の面接</p> <p>⑦短大フェスタ 令和5年10月21日 「食品には何が入っているの？」の展示用パネル作成を指導（食物専攻1年）。</p>

氏名	佐賀 啓子 (さが けいこ)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科食物専攻 准教授			
最終学歴	高知県立大学大学院人間生活科学研究科博士後期課程修了 博士 (生活科学)			
着任の年月	平成31年 (2019年) 4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 栄養局 科長 (管理栄養士)			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 なし				
〔論文〕 研究報告 「食生活の現状と 100円朝食利用が 食生活に及ぼす効果」 (査読付)	共	令和3年9月 (2021年)	徳島文理大学研究 紀要 第102号 pp.43-51	学生の食生活の現状を本学学生に対して、アンケート調査を実施し、明らかにするとともに、100円朝食の活用効果を検証した。 朝食を自分で用意・購入・100円朝食を利用する割合は高い。100円朝食の利用頻度は週1回以上の学生が多く、朝食摂取を中心に生活習慣を確立する効果が期待できることが明らかとなった。 共著者：坂井真奈美、松下純子、 長尾久美子、佐賀啓子、 原 里沙、田村友莉香
症例報告 「大腸全摘術、回腸人工肛門造設術後に低Mg血症および低Ca血症による意識障害を繰り返した1例」 (査読付)	共	令和元年12月 (2019年)	日本静脈経腸栄養学会 学会誌JSPEN Vol.1 No.4 pp.283-288	難治性潰瘍性大腸炎に対して腹腔鏡下大腸全摘術、回腸囊黄門管吻合、予防的回双孔式人工肛門造設を施行し、縫合不全のため人工肛門閉鎖できずhigh output stomaの状態が持続していた60歳代女性に対する個別の栄養管理や治療を要した症例報告。 共著者：高田暢夫、尾崎和秀、 十萬敬子、佐賀啓子、 小谷小枝、楠瀬和佳奈 安田春奈、坂本一美、 吉松香絵、福井康雄
原著 「救命救急における重症患者の早期経腸栄養管理につ	共	令和元年12月 (2019年)	高知医療センター医学雑誌 9巻 1・2号	三次救急を担う救命救急センターに入院し、集中治療を行った患者のうち、早期経腸栄養法を実施した128

<p>いての検討」(査読付)</p>			<p>pp.1-11</p>	<p>症例の実態から、ASPEN/SCCM急性期ガイドラインの早期経腸栄養に関する項目を指標として、早期経腸栄養管理について検討した。急性期(1-3日) 亜急性期(3-7日)に区分し、診療科別に投与エネルギー増量推移を回帰係数により示した。ガイドライン指標を満たしており、脳神経外科 60症例の結果は、経腸栄養を安定的に投与するプランに利用可能なことが示唆された。 共著者：佐賀啓子、渡邊慶子</p>
<p>[発表] 「100円朝食の活用効果について」 (示説)</p>	<p>共</p>	<p>令和元年 (2019年) 9月6日</p>	<p>第66回 日本栄養改善学会 (於：富山)</p>	<p>朝食欠食は20歳代で最も高く、男性30.6%、女性23.6%である。朝食欠食を減らすためには社会環境の質の向上が欠かせない。本学では学生に100円朝食を提供し、朝食摂取のための良い機会となっている。100円朝食喫食に対し自記式無記名のアンケート調査を実施し、活用効果を検証した。調査項目は100円朝食の内容、利用頻度、利用する理由、利用しない時の理由、利用による変化とした。利用頻度は週3～5回の学生が多く、朝食摂取を中心に生活習慣が確立されている様子であった。100円朝食の提供により、生活のリズムが整った・朝食を食べるようになったなどの生活習慣面および学習面での効果が期待できることが明らかになった。 共同発表：坂井真奈美、松下純子 長尾久美子、佐賀啓子</p>
<p>「中国・四国支部の多様な調理法と家庭料理の伝承調査」—全国調査：住居形態別および調理学実習における調理器具の使用経験の違い—</p>	<p>共</p>	<p>令和5年9月</p>	<p>一環社団法人日本調理科学会2023年度大会 (於：広島)</p>	<p>急速に変化している家庭料理の現状を把握し、家庭料理の伝承のための方策を検討することを目的に家庭料理の調理法および器具等に関する調査し、本発表では調理器具の使用経験について報告した。対象：中国・四国に在住する学生。有効回答数：1,062名(1,902名に依頼、有効回答率55.8%)。家族と過ごす自宅と一人暮らしとによる調理道具の種類や使用頻度の違い、また食に関わる調理学実習等の経験の有無により、昔ながらの調理道具や大人数の調理に適した道具などの使用経験に寄与していることが推察された。 共同発表：高橋啓子、板倉一恵、 佐賀啓子、松井佳津子、 岡本洋子、福留奈美</p>

科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし																						
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし																						
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし																						
その他の研究活動	栄養士養成課程の学修に求められることについて 多様な調理法と家庭料理の伝承について (日本調理科学会) 早期栄養療法、集中治療・周術期における管理栄養士の役割について																						
教 育																							
授 業	<p>[短大関係]</p> <p>①前期担当授業科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">「栄養カウンセリング論」</td> <td>生活科学科食物専攻2年11名：月曜5講時</td> </tr> <tr> <td>「栄養学各論Ⅰ」</td> <td>生活科学科食物専攻2年11名：木曜1講時</td> </tr> <tr> <td>「臨床栄養学実習」</td> <td>生活科学科食物専攻2年11名：木曜3・4講時</td> </tr> <tr> <td>「文理学」</td> <td>生活科学科食物専攻1年7名：木曜5講時</td> </tr> <tr> <td>「栄養カウンセリング実習」</td> <td>生活科学科食物専攻2年11名：金曜3・4講時</td> </tr> <tr> <td>「総合科目D (食と健康)」</td> <td>生活科学科食物専攻1年8名：金曜5講時</td> </tr> </table> <p>②後期担当授業科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">「栄養学各論Ⅱ」</td> <td>生活科学科食物専攻2年9名：火曜3講時</td> </tr> <tr> <td>「栄養学各論実習」</td> <td>生活科学科食物専攻2年11名：水3・4講時</td> </tr> <tr> <td>「臨床栄養学」</td> <td>生活科学科食物専攻1年8名：木曜3講時</td> </tr> </table> <p>[大学関係]</p> <p>①後期担当授業科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">「栄養学Ⅱ」</td> <td>人間生活学部人間生活学科2年10名：月曜1講時</td> </tr> <tr> <td>「栄養学概論」</td> <td>人間生活学部心理学科3年40名：月曜3講時</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">[全コマ数] $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (6) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (14) コマ</p> <p>[その他の指導状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士実力認定試験受験対策 (補講)：9月～12月の5講時 (合計17回) 担当科目：臨床栄養学 (7回)、解剖生理学 (3回)、 栄養指導論 (3回)、栄養学各論 (3回)、総合力問題 (1回) 	「栄養カウンセリング論」	生活科学科食物専攻2年11名：月曜5講時	「栄養学各論Ⅰ」	生活科学科食物専攻2年11名：木曜1講時	「臨床栄養学実習」	生活科学科食物専攻2年11名：木曜3・4講時	「文理学」	生活科学科食物専攻1年7名：木曜5講時	「栄養カウンセリング実習」	生活科学科食物専攻2年11名：金曜3・4講時	「総合科目D (食と健康)」	生活科学科食物専攻1年8名：金曜5講時	「栄養学各論Ⅱ」	生活科学科食物専攻2年9名：火曜3講時	「栄養学各論実習」	生活科学科食物専攻2年11名：水3・4講時	「臨床栄養学」	生活科学科食物専攻1年8名：木曜3講時	「栄養学Ⅱ」	人間生活学部人間生活学科2年10名：月曜1講時	「栄養学概論」	人間生活学部心理学科3年40名：月曜3講時
「栄養カウンセリング論」	生活科学科食物専攻2年11名：月曜5講時																						
「栄養学各論Ⅰ」	生活科学科食物専攻2年11名：木曜1講時																						
「臨床栄養学実習」	生活科学科食物専攻2年11名：木曜3・4講時																						
「文理学」	生活科学科食物専攻1年7名：木曜5講時																						
「栄養カウンセリング実習」	生活科学科食物専攻2年11名：金曜3・4講時																						
「総合科目D (食と健康)」	生活科学科食物専攻1年8名：金曜5講時																						
「栄養学各論Ⅱ」	生活科学科食物専攻2年9名：火曜3講時																						
「栄養学各論実習」	生活科学科食物専攻2年11名：水3・4講時																						
「臨床栄養学」	生活科学科食物専攻1年8名：木曜3講時																						
「栄養学Ⅱ」	人間生活学部人間生活学科2年10名：月曜1講時																						
「栄養学概論」	人間生活学部心理学科3年40名：月曜3講時																						
論文等指導	なし																						
学生指導	<p>①担任・チューターとして (生活科学科食物専攻2年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別面談：前期4月実施、後期10月実施 ・随時の個別面談：単位取得状況や授業出席状況が懸念される学生への指導 就職 (進路) に対する助言、相談、指導を実施 ・夏期および冬期休暇前のホームルーム指導 (学生課と連携) ・教職履修学生4名への助言、指導 <p>②全国栄養士養成協議会ゼスプリキウイレシピコンテストへの応募の助言指導 スイーツ部門に2年生1名、ミール部門に1年生1名が希望し応募した。 指導は令和5年7月中。応募期限：令和5年7月31日 (月)。参加賞を頂く。</p>																						

<p>学生指導</p>	<p>③日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2023」のイベント開催 令和5年7月29日（土）本学オープンキャンパスにおいて実施 学生ボランティアスタッフの指導および事前準備</p> <p>④臨地校外実習：生活科学科食物専攻2年生 ・事前指導と事後指導：実習前の課題等への助言、実習後の評価等について ・巡視日：令和5年8月23日（水）たまき青空病院</p> <p>⑤栄養教諭2種免許取得に必要な教育実習先への巡視 ・巡視日：令和5年9月6日（水）八万南小学校</p> <p>⑥上板町包括連携により開催「stop！フレイル予防 with 徳島文理大学」 令和5年9月17日（日）短期大学部生活科学科食物専攻より、栄養相談コーナーを実施。町民の皆様の誘導および徳島県ベジメーター計測の協力などを2年生2名がボランティアとして参加するにあたり、準備・指導・引率。</p> <p>⑦「フードサイエンティスト認定研修」（食品科学教育協議会） 令和5年9月21日（木）13：30～15：00 開催準備、学生指導、レポート評価</p> <p>⑧松茂町交流拠点マツシゲート開催「まつしげクラフトフェア」 令和5年11月19日（日）開催のイベント 学生プロデュースで商品化したシカ肉ソーセージの販売を実施するにあたり、事前準備と参加希望の2年生3名の学生ボランティア参加の指導・引率。</p> <p>⑨「徳島 食の博覧会」場所：道の駅いたの 令和5年12月17日（日）開催のイベント 学生プロデュースで商品化したシカ肉ソーセージの販売を実施するにあたり、事前準備と、参加希望した2年生2名の学生ボランティア参加の指導・引率。</p> <p>⑩和食テーブルマナー研修（渭水園） 令和5年2月9日（木）学生引率</p> <p>⑪令和5年度「海外大学等とのオンライン交流事業」徳島県（地域連携センター） 全学的な学生募集がある中で、令和4年度から食物専攻学生は毎年1名希望者しており、テーマに沿った取り組みに対して通年で学生指導。 令和5年度は1年生1名が参加し個別対応指導を行った。</p>
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>[所属学会等（保有資格）] ・日本栄養士会会員 ・日本栄養改善学会会員 ・日本家政学会会員 ・日本調理科学会会員 ・日本臨床栄養代謝学会会員（栄養サポートチーム療法指導士） （日本栄養代謝専門療法士認定（専門領域）周術期・救急集中治療専門療法士） ・日本病態栄養学会会員（病態栄養認定管理栄養士） （がん病態栄養専門管理栄養士） ・日本糖尿病療養指導士認定機構 認定（日本糖尿病療養指導士） ・日本腎臓病協会 認定（腎臓病療養指導士）</p> <p>[学会関連の活動] ・徳島県栄養士会 災害検討運営委員会 委員（令和4年6月～）8回/年 ・日本調理科学会2023年度大会 実行委員会委員（令和4年11月～令和5年3月末） ZOOM会議1回/月、大会当日会場運営担当</p> <p>[公的機関の活動] ・徳島県栄養士会 災害検討運営委員会 委員（令和4年6月～）12回/年</p>

<p>学外活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県「とくしま災害栄養チーム」構成委員（令和5年2月～） 1回/年 <p>[その他の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品科学教育協議会（フードサイエンティスト認定）大学担当（令和4年4月～） 2回/年 ・日本調理科学会 中国四国支部 特別研究チーム委員（令和4年度～） ・日本調理科学会2023年度大会 実行委員会委員 （任期：令和4年11月～令和6年3月） ・進学ガイダンス 令和6年3月13日（水）
<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①FD研究部会 短期大学部委員：5回/年 担当：全学授業アンケート（原稿執筆） ②短大オープンキャンパス運営委員会（専攻責任者） ③入試関連 総合型選抜入試：令和5年9月30日（土）徳島 面接 一般入試Ⅱ期： 令和6年2月18日（日）徳島 監督補助 ④奨学金「ミライのわたし」：令和5年9月30日（土）徳島 面接 ⑤オープンキャンパス：主な担当 令和5年4月29日（土）学科説明、授業補助 5月21日（日）模擬授業（WEB配信） 6月18日（日）授業補助 7月16日（日）模擬補助 7月29日（土）学科説明、授業補助 8月20日（日）授業補助 9月24日（日）模擬授業 令和6年2月10日（土）学科説明、授業補助 3月20日（水・祝）授業補助 ⑥入学前ガイダンス 令和6年2月10日（土）午前 ⑦あおさのりスイーツ企画準備/会議 会議5回/年、学内打ち合わせ会3回/年 ⑧地域連携センター「上板町との包括連携」会議2回/年、現地イベント1回/年 ⑨広報活動：生活科学科食物専攻・ホームページとInstagram投稿担当 随時/年 ⑩生活科学科食物専攻会議（議事録担当）6回/年 ⑪アカンサス会徳島県支部会議（庶務）2回/年

氏 名	儀 宝 修 (ぎほう おさむ)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 准教授			
最終学歴	徳島大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了 (工学修士)			
着任の年月	令和4年4月1日 (2022年)			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立徳島科学技術高等学校 校長			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] [発表]				
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>[大学院関係] なし</p> <p>[専攻科関係] なし</p> <p>[学部関係] ①前期担当授業科目名等 「学校安全」(生活3年。21名。金曜日3講時) 「社会教育特講」(児童3年。11名。水曜日1講時) 「総合科目D(教育法規)」(生活、心理、音楽4年。56名。木曜日1講時)</p> <p>②後期担当授業科目名等 「事前・事後指導」(メディア、児童、総政3年。12名。木曜日3講時)</p> <p>[短大関係] ①前期担当授業科目名 「事前・事後指導」(言語1年。1名。木曜日3講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「キャリアプランニングⅡ」 (商科1年。14名。火曜日2講時)</p>			

授 業	<p>「生涯学習概論」(商科1年。1名。水曜日2講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (3) コマ} \\ \text{後期 (3) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (6) コマ</p> <p>〔その他の指導状況〕</p> <p>①教員養成対策講座(面接講座)</p> <p style="padding-left: 20px;">前期(生活、心理、児童4年。13名。木曜日3講時)</p> <p style="padding-left: 20px;">後期(生活、心理3年。12名。木曜日4講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (1) コマ} \\ \text{後期 (1) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (2) コマ</p>
論文等指導	なし
学生指導	随時
活 動	
学外活動	<ul style="list-style-type: none"> ○総務課長として、総務課、学部事務課を担当。 ○部局長会 ○合同教授会 ○短大教授会 ○危機管理対策本部 ○災害対策防止委員会・自衛消防隊 ○ハラスメント防止対策委員会事務局 ○SD推進委員会事務局 ○選挙管理委員会事務局
学内活動	<p>〔学会活動関係〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ①徳島県大学人権教育研究協議会事務局(次長) ②四国地区大学人権教育研究協議会事務局(次長) <p>〔公的機関の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ①徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会 高大接続・連携部会(委員) ②高校と大学の教育内容接続のための情報交換会 学力向上分科会(委員) <p>〔その他の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県内高校巡回(徳島科学技術高校、吉野川高校) ②県外高校巡回(鳥取県米子市、境港市) ③県内ブロック進学説明会(西部ブロック) ④保護者会支部会(和歌山支部)

氏名	近藤 幸 (こんどう みゆき)			
所属・職の種類	短期大学部生活科学科 講師			
最終学歴	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教科・領域教育専攻 修了 (教育学修士)			
着任の年月	令和5年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島市富田中学校 教員			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[発表] 1 水性多色刷り デモンストレーション		令和元年9月	KYOTO版画2018日本・オーストラリア国際版画展オーストラリア巡回展 (Caloundra Regional Galleryカラウンドラ市民ギャラリー)	日本・オーストラリア国際版画展オーストラリア巡回展会場に於いて、作品発表と会場内で水性多色木版の彫りと刷りの方法について解説。和紙繊維と絵具に含まれる顔料の乗せ方や糊と水分の量など、水性木版刷りの基礎となる理論を説明後、実際に作品「月の船」の順刷りを実演。その後オーストラリア版画作家を含む参加者との質疑応答を行った。
2 ゲストと歩く ギャラリートーク 「一原有徳・版の ワンダーランド」 展示解説	共	令和3年5月	「一原有徳・版のワンダーランド」(徳島県立近代美術館)	徳島県立近代美術館企画展「一原有徳・版のワンダーランド」において、一般約10名を対象に美術館上席学芸員竹内利夫の進行で自作と一原有徳の関わりや作品解説等のギャラリートークを行なった。
[作品発表] 1 「月の船」木 版画	単	令和元年10月	アワガミ国際ミニプリント展2019 (阿波和紙伝統産業会館)	吉野川市長賞 受賞 水性多色木版 10版11度刷り 15×21.5 (cm) 会場にて受賞者ギャラリートークと審査員による講評会を、オンラインによるライブ公開で開催した。
2 「しずく」「か ざまもり」木版画	単	令和元年10月	日本版画協会 第86回日本版画協会 展 (東京都美術館)	「しずく」水性多色木版 10版11度刷り 91×90 (cm) 「かざまもり」 水性多色木版 10版11度刷り 91×45 (cm)
3 「風光る」木 版画	単	令和2年10月	日本版画協会 第87回日本版画協会 展 (東京都美術館)	水性多色木版 10版11度刷り 30×45 (cm)

4 「明け行く」 「裏遊び」木版画	単	令和3年10月	日本版画協会 第88回日本版画協会 展（東京都美術館）	「明け行く」水性多色木版 10版11 度刷り 45×60.5（cm）「裏遊び」 水性多色木版 10版11度刷り 91× 45（cm）
5 「Forgotten Places ～忘れゆ く場所～」 「夜さ りのころ」木版画	単	令和4年9月	日本版画協会 第89回日本版画協会 展（東京都美術館）	「Forgotten Places ～忘れゆく場所 ～」 水性多色木版 9版10度刷り 60.5×91（cm） 「夜さりのころ」水性多色木版 9 版10度刷り 45×30（cm）
6 「よるになっ て」木版画	単	令和5年9月	アワガミ国際ミニブ プリント展2023（阿波 和紙伝統産業会館）	吉野川市長賞 受賞 水性多色木版 8版10度刷り 16× 24（cm） 会場にて受賞者ギャラリートークに よる作品解説と審査員による講評会 を公開で行った。
7 「浮生(fusei)」 「泰運(taiun)」木 版画	単	令和5年10月	日本版画協会 第90回日本版画協会 展（東京都美術館）	「浮生（fusei）」水性多色木版8版 9度刷り 43×60（cm） 「泰運（taiun）」水性多色木版8版 9度刷り 60×91（cm）
〔個展・その他〕 個展「近藤幸展」	単	令和元年4月	十一月画廊（東京）	「花筏-floral raft-」他木版画9点、 「Lotus 1」他ミクストメディア19点 の発表
個展「近藤幸展」	単	令和元年9月	ギャラリー喫茶 GRACE（徳島）	「浮葉（Fuyo）」他木版画7点、鉛 筆画3点、水彩画8点、ミクストメ ディア7点の発表
十一月画廊5人展	共	令和2年1月	十一月画廊（東京）	「雨後の夕」他木版画23点の発表
Art Fair 14C	共	令和2年2月	Art Fair 14C（アメ リカ/New Jersey）	「夕さらず」他木版画6点の展示と 順刷り解説の発表 *十一月画廊より出品
個展「空の輪郭 -skyline-」	単	令和2年3月	アートデアート・ ビュー（高槻市）	木版画11点、鉛筆画2点、水彩画10 点、ミクストメディア7点の発表 *「版画芸術 展覧会プレビュー」 に掲載 *J:comデイリーニュースにて放映
個展「空の境界」 Beyond the skyline”	単	令和2年7月	十一月画廊（東京）	「しづく」他木版画9点、水彩画13 点の発表 *「東京新聞」（7月16日朝刊）掲載 *「朝日新聞」（7月21日夕刊）掲載

Gwangju International Art Fair	共	平成2年10月	Gwangju International Art Fair 2019 (韓国 光州市)	「ゆうかげ」他木版画6点の発表。 *十一月画廊より出品 *「ゆうかげ」上海半島美術館収蔵。 水性多色木版 10版11度刷り 91×45 (cm)
個展「一瞬の静寂 近藤幸木版画展」	単	令和3年3月	ワイアートギャラリー (大阪)	「空と森」他木版画15点、水彩画10点の発表
個展「近藤幸展」	単	令和3年10月	アートギャラリー GRACE (徳島)	「風光る」他木版画25点、水彩画10点、立体「雲の子(くろ)」他10点の発表
個展「近藤幸展-木版画・その他-」	単	令和3年11月	ギャラリー ACS (名古屋)	「明けゆく」他木版画16点、水彩画7点、立体15点の発表
個展「近藤幸 木版画・立体展」	単	令和4年9月	十一月画廊 (東京)	「forgotten places ~忘れゆく場所~」他木版画11点、立体11点、陶立体2点の発表
個展「漂泊の風景を描きたい」	単	令和4年11月	ワイアートギャラリー (大阪)	「夜さりのころ」他木版画15点、パステル・水彩画10点の発表 *会場にて版木の展示解説、彫りの実演
個展「阿波を彫る 近藤幸木版画展」	単	令和5年2月	松山三越美術ギャラリー	「月映」他木版画29点の発表 *時津画廊より出品
「風景がうたう木版画 近藤幸 渡辺裕司展」	共	令和5年4月	ワイアートギャラリー (大阪)	「旅の窓シリーズ」他木版画15点の発表
個展「近藤幸展-木版画・他-」	単	令和5年6月	ギャラリー ACS (名古屋)	「in blue」他木版画12点、パステル画9点、「水の庭シリーズ」アクリル立体6点の発表 *「朝日新聞」(6月7日朝刊)掲載
個展「近藤幸展」	単	令和5年7月	ITONAギャラリー / ナガイレーベン (東京)	「夏日暮」他木版画24点、パステル画5点、「水の庭シリーズ」アクリル立体6点の発表
個展「第19回徳島版画GRACE賞受賞記念 近藤幸展」	単	令和5年11月	ギャラリー喫茶 GRACE (徳島)	「よるになって」他木版画18点、パステル・水彩画8点、アクリル立体6点の発表

活 動	
学外活動	<p>[学会活動関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 版画学会会員 ・ 日本版画協会会員（審査員） ・ 徳島版画会員（事務局・実行委員） <p>[その他の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島県中学校総合文化祭美術作品展 審査員（11月9日） ・ 第20回徳島版画展・群馬版画家協会交流展（11月21日～26日） 事務局として企画・運営、目録作成等を行う ・ 批評会進行（11月25日） ・ 展覧会に於いて「阿波和紙会館賞」受賞、「特別展示 阿波百景」観客賞受賞
学内活動	<p>① インターンシップ推進委員会</p> <p>② 入試関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合選抜型入試 面接（ミライのわたし採用面接含む） 9月25日 9月30日 ・ 大学共通テスト 予備監督 1月13日 <p>③ オープンキャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学科説明、短大全体会の補助等を行った。 ・ 模擬授業担当 6月18日 10月8日（Web） 2月10日 3月20日 <p>④ 広報用生活科学専攻紹介チラシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年学生の出身高校別とその他説明会等での配布用を作成 <p>⑤ 短大フェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活科学科ワークショップ「巾着ポーチをつくろう」の準備と運営（10月21日） <p>⑥ 生活科学専攻卒業制作展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備・展示（2月5日）・受付指導（2月13日）・搬出（2月14日）作業 ・ ポスター制作 <p>⑦ 研究授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「デッサンⅡ」一様々な抽象表現― 生活科学専攻1年9名（12月14日3講時）

氏名	児嶋輝美 (こじまてるみ)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 教授			
最終学歴	国立音楽大学大学院音楽研究科 修了 (芸術学修士)			
着任の年月	昭和62年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学短期大学部非常勤講師			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 1. 『演習 保育内容「表現」—基礎的事項の理解と指導法—』	共	令和元年5月	建帛社	平成29年改訂の「幼稚園教育要領」等を踏まえるとともに、平成28年に出された「幼稚園教諭の養成課程のモデルカリキュラムの開発に向けた調査研究」の専門事項「幼児と表現」に対応したテキストを執筆した。 第4章領域「表現」のねらいと内容および評価：保育の基本や保育内容の考え方に触れつつ、領域「表現」のねらいと内容について解説。 第7章音楽的表現：例を挙げて、乳幼児の音楽表現の発達や表現の意味の読み取り方を述べた。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連についても事例をあげて説明した。 <共著者> 岡健 (大妻女子大学)、金澤妙子 (大東文化大学)、今川恭子 (聖心女子大学)、岩田遵子 (東京都市大学)、岡田たつみ (帝京大学)、坂本喜一郎 (社会福祉法人たちばな福祉会)、田代幸代 (共立女子大学)、堂本真実子 (認定こども園若草幼稚園)
2. 『実践 心ふれあう子どもと表現』	共	令和3年2月	みらい	第1部第2章「領域『表現』のねらい及び内容」、第2部第3章「会話としての手遊び歌」、第3部第3章「伝統芸能」、その他コラムを執筆。 平成29年の幼稚園教育要領等の改訂を踏まえ、領域「表現」のねらいと内容、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連などを具体的な事例をあげて説明した。また、手遊び歌な保育教材について、音楽的な能力や社会性の育つにつながることを理解して実践することが大切であることを述べた。

<p>〔論文〕</p> <p>1. 保育実践の改善をサポートする現職研修の取り組み —音楽的な活動を通して—</p>	共	令和元年9月	徳島文理大学研究紀要第98号	<p><共著者> 松家まきこ（淑徳大学）、鈴木範之（常盤短期大学）、岸川良子（福岡こども短期大学）、土橋久美子（白百合女子大学）、西村愛子（駒沢女子短期大学）、松田聖子（帝京平成大学）、松本哲平（駒沢女子短期大学）他</p> <p>音楽に苦手意識を持つ保育士が多いことを踏まえて、音楽表現に関する悩みを軽減することで保育の満足度を高めることを目的として取り組んだ。具体的には、保育士36名を対象として音楽表現に関する研修を6カ月にわたって6回行い、参加者へのアンケート調査によって意識の変化を調べた。その結果、研修への満足度が高く、わらべうたや手遊び歌などのレパートリーが増えたことに満足した保育士が多かった。また、研修前に比べ、自身の音楽表現に関する保育実践や保育全般についての満足度が高まっていることが確認できた。このことから、特定の分野へのサポートであっても一定の効果が得られることが示唆される結果となった。</p> <p><共同研究者>岩崎順江、疋田弘子（徳島文理大学短期大学部）、川端恵子、古本奈奈代（徳島文理大学）</p>
<p>2. 保育書に基づく乳幼児の音楽表現の姿について —3歳未満児の場合—</p>	共	令和2年3月	徳島文理大学研究紀要第99号	<p>3歳未満児の保育において音楽表現は重要な保育内容の一つであり、実践には発達の理解が不可欠である。本研究では、保育書の音楽表現に関する記述を整理し、テキストマイニングによる分析を用いて3歳未満児の音楽表現の姿14項目を示した。さらに、その姿が実際の子どもにあてはまるかを検証するために、徳島県A市の保育所と認定こども園においてアンケート調査を行った。その結果、半数程度の項目では保育書の記述にあてはまったが、あてはまらない項目もあった。今後、さらに対象を拡げて検証することが課題である。</p> <p><共同研究者>古本奈奈代（徳島文理大学）、河内奈穂（松山東雲短期大学）</p>
<p>3. インターネットで配信される創</p>	単	令和3年9月	徳島文理大学研究紀要第102号	<p>インターネットで配信されている創作手遊びの中から、再生回数の多い</p>

<p>作手遊び歌の変化について —保育教材としての検討—</p> <p>4. 保育者養成校が行う子育て支援の取り組みについて —本学のペンギンクラブ子育て支援イベントの成果と課題—</p>	共	令和4年3月	徳島文理大学研究紀要第103号	<p>6曲を取り上げ分析した結果、全般に音域が狭まり平坦な旋律になっていることやリズムが単純化していることなどの特徴が明らかになった。結果として子どもにとって歌いやすい曲になっていることから、手遊び歌が遊びの中で変化することは自然であるという見解を示した。一方で、子どもとのやりとりを経ずに動画の拡散によって変化したものが多いことを問題点として指摘。保育教材として音楽と遊びの両面を大切に伝えていくことの大切さを述べた。</p> <p>全国の大学が行う子育て支援の取り組みについて運営の形態や実施の状況を明らかにするとともに、本学保育科が行ってきた子育て支援イベントを振り返り、成果と課題を検証することを目的として取り組んだ。全国の102校の取り組みを調べた結果、約5割が自治体やNPOとの連携や委託によるものであることや多くの大学が授業や実習指導と関連付けていることなどが明らかになった。また、本学の取り組みについては利用者へのアンケートや学生の感想などから、保護者から好評価を得ていることや一定の教育効果をあげていることが確認できた。今後の課題は、継続可能な仕組みを整えること、ICTの活用、活動の評価方法の検討である。</p> <p><共同研究者>森万里子（徳島文理大学短期大学部）、勢井香菜子（徳島文理大学学生）</p>
<p>5. 絵本から広がる音楽表現</p>	単	令和4年5月	幼児音楽研究第71号	<p>幼児は絵本の文章をリズムをつけて口ずさんだり、印象に残った場面をごっこ遊びで再現したりすることがある。絵本は表現活動のきっかけになることに注目して、音楽表現の視点からこれまで行った保育実践を紹介するとともに、絵本を題材にした音や音楽の楽しみ方についての提案を行った。</p>
<p>6. 保育現場における手遊び歌の伝承とその意味 —作者不詳の作品にみる手遊び歌の変遷—</p>	共	令和4年9月	徳島文理大学研究紀要第104号	<p>手遊び歌は広まっていく過程で変化する傾向がある。その変化の中に保育現場での手遊び歌の用いられ方や好まれる要因があるのではないかと考え、作者不詳の手遊び歌について旋律やリズム、歌詞の分析を行った。</p>

<p>7. 徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて —遠隔授業によるボランティア活動推進の試み—</p>	共	令和5年3月	徳島文理大学研究紀要第105号	<p>その結果、旋律が平坦化しリズムが単純化する音楽面での傾向が見られた。また、保育者の工夫や子どもとの相互的なやり取りの中で変化したと考えられるものがあり、手遊び歌が応用性の高い保育教材であることが確認できた。 ＜共同研究者＞釘宮貴子（徳島文理大学非常勤講師）</p> <p>短期大学部「総合科目A（ボランティア）」では30時間のボランティア活動の他に、5回の講義の受講を単位認定の条件とし、令和3年度から講義を遠隔で行っている。本研究はその報告と成果の検証である。受講者を対象としたアンケート調査の結果、遠隔授業は好意的に受け止められており、授業の内容にはほとんどの学生が満足していることが明らかになった。一方で、実際に活動に参加した学生は少なかった。ボランティアへの興味・関心を行動に繋げていくための授業内容や働きかけが今後の課題である。 ＜共同研究者＞ 島田俊朗、則包光徳、藤本和賀代、堀口誠信、松下純子（徳島文理大学短期大学部）</p>
<p>8. 保育内容「領域」に求められる授業内容の検討 —卒業生へのアンケート調査に基づく課題と改善—</p>	共	令和5年9月	徳島文理大学研究紀要第106号	<p>教育職員免許法等改正に伴い、令和5年度から「領域に関する専門的事項」に関する科目が新設された。そのことを機に、これまでの領域に関する授業内容を見直し改善を図ることを目的として、卒業生に対するアンケート調査を行ったものである。その結果、保育者としての経験年数や担当クラスの年齢によって必要と感じる技術や知識が異なること、特に経験年数が短い保育者は技術的な面での必要度が高いことなどが明らかになった。結果を踏まえ、各自の授業での今後の課題について述べた。 ＜共同研究者＞ 石井信子、下内新吾、船本孝子、森万里子（徳島文理大学短期大学部） 金子紗枝子、古本奈奈代（徳島文理大学）</p>
<p>〔研究発表〕 1. 保育書に基づく乳幼児の音楽表現の姿</p>	共	令和元年5月	日本保育学会第72回大会	<p>保育書20冊から、3歳未満児の音楽表現に関する記述を抽出し、テキストマイニングによって分析した。そ</p>

<p>— 3歳未満児の場合—</p>				<p>の結果を音楽表現の姿15項目にまとめ、実際の子どもの姿にあてはまるかを徳島県A市の保育所と認定こども園を対象としたアンケート調査を行ったもの。その結果、半数程度の項目では保育書の記述にあてはまった。</p> <p><共同研究者> 岩崎順江、疋田弘子（徳島文理大学短期大学部）、河内奈穂（松山東雲短期大学）、古本奈奈代（徳島文理大学）</p>
<p>2. 保育者を対象としたピアノの再教育の試み（3） —オンラインピアノレッスンのためのアプリケーション開発—</p>	共	令和2年5月	日本保育学会第73回大会	<p>スマートフォンによるビデオ通話機能を利用したピアノレッスンの実証実験結果を踏まえ、実用に向けてアプリケーションを開発した。受講希望者がスマートフォンから登録し、希望する指導者や日時を選択して申し込むシステムである。実用化に向けては個人情報の保護やLINEの使用許諾などの問題を解決する必要がある。</p> <p><共同研究者> 古本奈奈代、篠原靖典（徳島文理大学）、河内奈穂（松山東雲短期大学）</p>
<p>3. インターネットによる手遊び歌の伝承について —YouTubeにみる創作曲の変化—</p>	単	令和2年9月	幼児音楽研究会研究大会	<p>インターネット上では多くの手遊び歌の動画が配信されているが、明らかに原曲と異なる形で拡散されているものが少なくない。そこで、保育教材としての検証を目的として最大大手の動画配信サイトYouTubeでの手遊び歌の実態を調べるとともに、変化の特徴について分析を行った。その結果を踏まえ、保育内容として音楽性や育ちとの関連性を考える必要があること、配信者と利用者側の双方がインターネットリテラシーを身に着けることが重要であることなどを述べた。</p>
<p>4. インターネットで配信される創作手遊び歌の変化について —保育教材としての検討—</p>	単	令和3年3月	日本保育者養成教育学会第5回研究大会	<p>インターネット上で配信される創作手遊び歌のうち、原曲と異なる形で伝えられている20曲を確認した。変化の特徴として、旋律やリズムが単純化していることや同じフレーズのくり返しが多いことなどがあげられる。結果として幼児が歌いやすい曲になっていることや「遊び」としてやりとりの中で曲が変化するのは自然であることを述べたうえで、伝え手と受け手に「音楽作品」として吟味する意識や保育内容としての理解</p>

<p>5. 保育内容「領域」に求められる授業内容の検討—卒業生へのアンケートから—</p>	<p>共</p>	<p>令和5年5月</p>	<p>日本保育学会第76回大会</p>	<p>が不足していることを指摘。養成校の課題としてインターネットリテラシーと共に、保育内容として子どもの発達や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連等を指導する必要を述べた。</p> <p>領域に関する授業内容を見直し改善を図ることを目的として、卒業生に対するアンケート調査を行ったものである。その結果、保育者としての経験年数や担当クラスの年齢によって必要と感じる技術や知識が異なることが明らかになった。自由記述からは、保護者への対応、指導計画や書類の作成、年齢に応じた手遊びや活動などを必要としていることが明らかになり、卒業後教育の必要性が課題として浮かび上がった。</p> <p><共同研究者> 石井信子、下内新吾、船本孝子、森万里子（徳島文理大学短期大学部） 金子紗枝子、古本奈奈代（徳島文理大学人間生活学部）</p>							
<p>研究助成金の交付等</p>	<p>該当なし</p>										
<p>教 育</p>											
<p>授 業</p>	<p>〔学部関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名等 「保育内容（表現）A」（児童学科2年。30名。金曜1講時）</p> <p>②後期担当授業科目名等 「保育内容総論」（児童学科1年。38名。月曜4講時）</p> <p>〔短大関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名 「保育内容総論」（保育科2年。15名。月曜2講時） 「幼児と表現」（保育科1年。19名。金曜3講時） 「子育て支援」（保育科2年。13名。水曜3講時） 「児童文化①」（保育科1年。18名。木曜1講時） 「音楽Ⅲ①」（保育科2年。13名。木曜3講時） 「総合科目A（ボランティア）」（短期大学部1年。39名。水曜5講時）</p> <p>②後期担当授業科目名 「保育内容（表現）A」（保育科1年。18名。火曜2講時） 「音楽Ⅲ②」（保育科2年。12名。金曜3講時） 「総合科目B」（保育科2年。12名。木曜2・3講時） 「児童文化②」（保育科1年。19名。木曜1講時） 「保育・教職実践演習（幼）」（保育科2年。12名。金曜4講時）</p> <p style="text-align: right;">〔全コマ数〕</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">前期（ 7 ）コマ</td> <td style="font-size: 2em;">}</td> <td rowspan="2" style="padding: 0 10px;">計（ 13 ）コマ</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">後期（ 6 ）コマ</td> <td style="font-size: 2em;">}</td> </tr> </table>				{	前期（ 7 ）コマ	}	計（ 13 ）コマ	{	後期（ 6 ）コマ	}
{	前期（ 7 ）コマ	}	計（ 13 ）コマ								
{	後期（ 6 ）コマ	}									

論文等指導	なし
学生指導	<p>①「第40回おとぎのくに」の指導 保育科の1・2年生が、保育所・幼稚園の幼児を招待してミュージカルやブラックシアター等を上演する行事「おとぎのくに」の責任者として学生の指導を行なっている。第40回は11月29日・30日の2日にわたってむらさきホールにおいて開催し、約1000人の幼児や引率の保育者等を招待した。その演目（ミュージカル、ハンドベル、合唱、ダンス）と、運営全般について責任者として指導を行った。特に、1年2年のミュージカルについてはテーマの設定から台本作りまで、学生が意見を出し合ってまとめていく過程をサポートした。保育科の全学生が協力して取り組んだことによって、学生の学科への帰属意識や一体感を高めることに結びついたとともに各自が達成感や自己肯定感を味わう経験になったと思われる。</p> <p>②第62回中・四国保育学生研究大会における研究発表 11月に行った「おとぎのくに」でのミュージカル「あなたに伝えたい言葉～手話に出会って～」についての研究発表を指導した。テーマの設定から台本作成、手話の練習など取り組みをパワーポイントにまとめ、一部実演を兼ねて発表したものである。</p> <p>③子育て支援イベント「ペンギンクラブ」 未就園の乳幼児と保護者を対象とした子育て支援イベントである。今年度は親子の「運動遊び」「リズム遊び」「歯の健康」などをテーマに8回開催し、のべ279人の親子が参加した。学生に事前指導を行ったうえで手遊びや絵本の読み聞かせなどを担当させている。人前に出ること自信がなかった学生も、経験を重ねると堂々と発表できるようになっており、保護者に話しかけたり子どもの相手をしたりするなど臨機黄変に対応できるようになっている。子育て支援について実践的に学ぶ機会になっている。保護者からのアンケートでも、学生の対応について高い評価を得ている。</p>
活 動	
学外活動	<p>〔学会等活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児音楽研究会常任理事 ・ 日本保育学会会員 ・ 日本音楽教育学会会員 ・ 日本保育者養成教育学会会員 ・ 全国大学音楽教育学会会員 ・ 日本ハンドベル連盟会員 <p>〔公的機関の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島県社会教育委員 ・ 令和5年度保育士試験 実技試験採点委員 ・ 社会福祉法人ローガン記念徳島栄光福祉会第三者委員 ・ 社会福祉法人喜久伸会評議委員 ・ 特定非営利活動法人美千会第三者委員 <p>〔各種講演・その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年6月 明石市うわがいけ保育園「親子ふれあい遊び」講師 ・ 令和5年4月 吉野川高等学校進路ガイダンス ・ 令和5年6月 徳島市立八万幼稚園 保育参観講師 ・ 令和5年6月 東みよし町立みかも保育所研修講師（オンライン） ・ 令和5年7月 徳島県私立幼稚園・認定こども園協会教員研修会講師「毎日の保育に取り入れたい楽器遊び・リズム遊び」 ・ 令和5年8月 保育所等の保育相談 沖洲こども園 ・ 令和5年8月 わかば認定こども園職員研修講師

<p>学外活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年9月 徳島県保育事業連合会主催保育士等キャリアアップ研修・専門別研修講師「保育実践」(オンライン) ・ 令和6年1月 城南保育園職員研修講師 ・ 令和6年3月 とくしまリカレント教育推進事業「表現活動をもっと楽しくする保育教材の制作と活用」
<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期大学部自己点検・評価実施委員 ・ 短期大学部ホームページ委員 ・ 短期大学部オープンキャンパス運営委員 ・ 教員・保育士養成対策委員会委員 ・ Bunriハンドベルクワイア顧問 ・ 第19回保育セミナーの企画・運営 ・ ブロック別進学説明会(徳島、小松島)

氏名	石井 信子 (いしい のぶこ)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 教授			
最終学歴	順天堂大学大学院体育学研究科 (保健・体育学専攻) 修了 (体育学修士)			
着任の年月	平成16年 4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	ピーエル学園女子短期大学			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] 子どものこころとからだを育てる保育内容「健康」		令和3年1月	教育情報出版	保育者を目指して保育を学ぶ学生のテキストとして編集した。乳幼児期の発達における健康の意義や保育者の役割について、具体的に示すなどわかりやすく解説した。巻末にグループ学習シートを備え、活用できるようにした。 共著者：高内正子 他34名
[論文] 幼児の運動能力および生活習慣の関係—徳島県内のある幼稚園の調査結果—	共著	令和2年3月	四国体育・スポーツ学研究6号 p.1-p.10	徳島県内の幼児の運動能力を評価し、運動および生活習慣についてのアンケート調査から、運動能力が優れる幼児の生活習慣の特徴を明らかにした。 共著者：金子憲一、長濱太造、土岡大介、天羽博昭、石井信子 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
保育内容「領域」に求められる授業内容の検討	共著	令和5年9月	徳島文理大学研究紀要第106号 p.39-p.49	研究の目的は、教育職員免許法及び同法施行規則の改正を機に、これまでの保育内容各領域に関する授業内容を見直し、改善に努めることである。本学の卒業生を対象として、領域に関する授業内容についてアンケート調査を行い、保育者の立場での必要性を調べた結果をもとに担当授業を検証し、改善に向けて考察した。 共著者：児嶋輝美、石井信子、下内新吾、船本孝子、森万里子、金子紗栄子、古本奈奈代 (本人担当部分：p.44)

<p>学生指導</p>	<p>2年生担任補佐として、担任教員と協力し、学生の指導にあたった。指導の主な内容は、次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業履修について ②各種実習履修について ③大学生活について ④就職活動の進め方について ⑤各種講座、研修会への参加について 等
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>[その他の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国地区大学総合体育連盟役員理事
<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短期大学部入試委員長 ・短期大学部認証評価ワーキンググループ委員 ・教職課程委員会委員 ・全学研究委員会委員 ・クラブ顧問（弓道部） ・クラブ顧問（人形浄瑠璃部）

氏 名	釘 宮 貴 子 (くぎみや たかこ)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 教 授			
最終学歴	名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程 (博士・学術)			
着任の年月	令和5年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学音楽学部非常勤講師			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 ①査読論文 1 「1890年代から1910年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム」 第9回ジャポニスム学会奨励賞	単	令和2年2月	名古屋大学博士学位論文	東京音楽学校のお雇い外国人音楽教師ルドルフ・ディットリヒによる明治期の西洋音楽教育の実像を丹念な資料調査により解明した。また、東京帝国大学のお雇い外国人教師ルドルフ・ランゲとカール・フローレンツにより日本文学が母国に持ち帰られ、それらを土台として、ドイツ・オーストリアで音楽作品が作曲されていることを初めて明らかにした。特にフローレンツによる和歌のドイツ語訳を歌詞とした声楽曲が多く作曲されていることは注目される。今では忘れられたこれらの作品群を音楽のジャポニスムとして位置付け、その発展段階を6つのカテゴリーに分類した。
2 「1880年代から1900年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム —日本の旋律と詩歌による音楽作品—	単	令和3年3月	『ジャポニスム研究』 40号、73-98頁	ドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスムについて美術のジャポニスムと比較しながら考察を行った。1890年代から1900年代にかけて日本に関連する音楽作品が作曲されており、そのほとんどはお雇い外国人教師として来日した音楽家や文学研究者が母国に持ち帰った日本の音楽資料や文学作品を土台としている。最も初期のものは日本旋律に和声伴奏を付けて編曲したもので、続いて和歌の翻訳を歌詞とした声楽曲が作曲された。西洋詩とは異なる和歌の形式は、新しい素材としてドイツ・オーストリアの作曲家に影響を与えていたことを明らかにした。

<p>3 「カール・フロレンツの『東の国からの詩の挨拶 Dichtergrüsse aus dem Osten』(1894) とジャポニスムの歌曲」</p>	<p>単</p>	<p>令和6年3月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第107号、1-11頁</p>	<p>19世紀末から20世紀にかけて、ドイツ・オーストリアでは和歌のドイツ語訳を歌詞とした歌曲集が出版されている。本論文では東京帝国大学のお雇い教師、カール・フロレンツの『東の国からの詩の挨拶』(1894)に掲載された翻訳詩を歌詞とした5つの歌曲集(全28曲)と2つの歌曲を取り上げ、その特徴を明らかにした。キーンツル、グルーベ、マルクス、ゲルンスハイムの歌曲には音楽的には日本の音階や日本風の旋律は引用されておらず、後期ロマン派から近代のドイツ歌曲の様相である。19世紀末から20世紀にかけて西洋音楽は常に新しい素材を求めていた。本論文で取り上げた歌曲は、今では演奏される機会はほとんどないが、日本文化が西洋音楽に影響を及ぼした初期の例として歴史的意義を持つ作品群である。</p>
<p>②研究紀要 1 「保育現場における手遊び歌の伝承とその意味—作者不詳の作品にみる手遊び歌の変遷—」</p>	<p>共</p>	<p>令和4年9月</p>	<p>徳島文理大学研究紀要第104号、43-54頁</p>	<p>手遊び歌は広まっていく過程で変化する傾向がある。その変化の中に保育現場での手遊び歌の用いられ方や好みといった要因があるのではないかと考え、作者不詳の手遊び歌について旋律やリズム、歌詞の分析を行った。その結果、旋律が平坦化しリズムが単純化する音楽面での傾向が見られた。また、保育者の工夫や子どもとの相互的なやり取りの中で変化したと考えられるものがあり、手遊び歌が応用性の高い保育教材であることが確認できた。 ○児嶋輝美、釘宮貴子</p>
<p>[学会発表] ①国際学会発表 1 The Spiritual Nature of Japan Depicted in Opera —Die Dorfschule (1919) by Felix Weingartner—</p>	<p>単</p>	<p>令和3年12月</p>	<p>The Society for the Study of Japonisme International Symposium 2021 Japonisme and Eastern Thoughts (Religion, Philosophy, Aesthetics) (Virtual Symposium)</p>	<p>The Japanese spirituality depicted in the opera “Dorfschule” (1919), based on the Kabuki play “Terakoya”, composed by Felix Weingartner, was discussed. The Kabuki play “Terakoya” tells the story of a man who sacrifices his own child for the sake of loyalty to a former lord. Weingartner has adapted the opera around the idea of 'vassal loyalty', which is common to both the West and Japan. Musically, Weingartner used Oriental parallel chords to express the Confucian loyalty of</p>

<p>2 The transformation of Japonisme opera in Germany and Austria: The Japanese depicted in Theodor Szántó's opera Typhoon (1924)"</p>	<p>単</p>	<p>令和5年11月</p>	<p>International symposium 2023 "Performative Japonisme" (Musashino Art University Ichigaya Campus)</p>	<p>the warriors, and the Romantic method in the Christian expressions and the singing of the knightly spirit. In Vienna at the time, the image of 'Japan = geisha' had been formed, but the opera The School in the Village overturned this image.</p> <p>Opera "Typhoon" (1924) by Theodor Szántó is the fourth German-Austrian Japonisme opera. The opera features the emerging nation of Japan, which was gaining power and rising to prominence in the West. Based on the Yellow Peril theory, which was the social trend at the time, the opera focuses on the difference between the Japanese and Western way of thinking, although there are also expressions of wariness towards Japan and the superiority of the West. The Japanese are portrayed as a people who place the highest priority on their duty to the state, contrasted with Westerners who place the highest value on personal affection. Japanese songs such as "Kimi gayo" and "Chushingura" are quoted in the opera to express the patriotism and loyalty of the Japanese people. The opera "Typhoon" shows how the West viewed the Japanese in the early 20th century.</p>
<p>②国内学会招待 講演 1 1890年代から1910年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム —3人のお雇い外国人教師が伝えた日本文化をめぐって—</p>	<p>単</p>	<p>令和2年5月</p>	<p>第9回ジャポニスム学会奨励賞受賞講演 (オンライン)</p>	<p>ドイツ・オーストリアにおける初期段階の音楽のジャポニスムにおいて重要な役割を果たしたのは明治期に招聘されたお雇い外国人教師であった。彼らは実際に日本に住み、日本音楽や日本文学に接していた。母国に帰国した後に彼らが伝えたものは、疑似的日本文化ではなく、彼らの目を通して実際に見聞きした日本文化であった。彼らが著した日本音楽についての論文、日本の唱歌集や日本詩歌の翻訳、そして日本の旋律を用いた音楽作品は、西洋の人々に影響を与え、日本を題材にした音楽作品が生まれる土台となった。お雇い外国人教師の使命は、西洋の</p>

<p>③国内学会発表 1 20世紀初期ドイツ・オーストリアにおける日本詩の翻訳と歌曲 —フェリックス・ワインガルトナー『日本の歌』Op.45—</p>	<p>単</p>	<p>令和元年10月</p>	<p>日本音楽学会 第70回全国大会 (大阪大学)</p>	<p>思想や文化芸術を通して日本人を啓蒙することであったが、彼らは日本文化を西洋に伝える役目も果たしていた。</p> <p>20世紀初期ドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニズムの一例として、フェリックス・ワインガルトナーの歌曲集《日本の歌》(1908)を取り上げ、その特徴を解明した。この歌曲集は、パウル・エンダリンクの『日本の小説と詩』(1905)に掲載された日本詩の翻訳を歌詞として作曲されている。《日本の歌》は、日本の音階や日本風の旋律を引用するのではなく、独自の音階が使用されている。それらの音階は、教会旋法、長・短調、全音音階を土台とし、音の付加、あるいは変更という手法で構築されている。その他の音楽的特徴として、和声に厚みがなくユニゾン旋律が多いこと、増4度音程のモチーフや和音の多用、旋法的な終止和音の使用が挙げられる。</p>
<p>2 日本の旋律と詩歌による1880年代から1900年代のドイツ・オーストリアにおける音楽作品</p>	<p>単</p>	<p>令和2年2月</p>	<p>ジャポニズム学会 第5回研究会 (文化学園大学)</p>	<p>音楽のジャポニズムは美術のジャポニズムの定義になぞらえると「日本美術・日本音楽・日本文学からヒントを得て、作曲のさまざまなレベルにおいて、新しい聴覚表現を追求したもの」と言えるのではないか。ドイツ・オーストリア音楽のジャポニズムは、これまであまり研究されてこなかったが、日本の旋律や詩歌による音楽作品が作曲されており、多くは日本とドイツ・オーストリアの間を人が移動したことにより生み出されたものである。1880年代から1900年代のドイツ・オーストリアの音楽作品から、日本の旋律と詩歌に関連する楽曲を取り上げ、音楽のジャポニズムとして位置付けた。</p>
<p>3 F・ワインガルトナーの音楽作品における日本と西洋の融合—オペラ『村の学校』Op.64 (1919) —</p>	<p>単</p>	<p>令和2年11月</p>	<p>日本音楽学会 第71回全国大会 (武蔵野音楽大学)</p>	<p>フェリックス・ワインガルトナーのオペラ《村の学校》(1919)を取り上げ、その特徴を明らかにした。ワインガルトナーは東京帝国大学のお雇い教師、カール・フローレンツの日本の戯曲の翻訳『寺子屋と朝顔』(1900)を土台に台本を書き作曲している。音楽的には武士の精神をあらわす部分に東洋的な4度と5度の</p>

<p>4 20世紀初頭のウィーンで作曲された日本を題材としたオペラ・オペレッタに見る日本人像</p>	<p>単</p>	<p>令和3年5月</p>	<p>早稲田大学総合研究機構オペラ／音楽劇研究所第194回オペラ研究会 (オンライン)</p>	<p>平行和音を用い、騎士の精神やキリスト教的な精神をあらわす部分に後期ロマン派的手法を用いている。ワインガルトナーは日本と西洋に共通する精神性である、封建社会における主君への忠誠心を軸にオペラを創作していることを明らかにした。</p> <p>20世紀初期にウィーンで上演された、日本を題材にした音楽劇において、日本人はどのように表象されていたのかを考察した。ウィーンでは1904年から1920年の間に日本を題材と4つのオペレッタ、1つのオペラが上演されている。オペレッタでは主人公の芸者が、日本舞踊ではなく西洋のダンスを踊る。1907年以降に何度も上演されたプッチーニのオペラ《蝶々夫人》の影響により、芸者を主人公としたオペレッタはウィーンで人気を博していた。芸者は可愛い子供っぽい存在として描かれている。また、オペラでは日本と西洋に共通する精神性が描かれ、ウィーンの聴衆の共感を呼んでいたことが明らかとなった。</p>
<p>5 19世紀末のドイツにおけるジャポニスム・オペラ フランツ・クルティ《リリ・ツェー》(1896)</p>	<p>単</p>	<p>令和3年11月</p>	<p>日本音楽学会 第72回全国研究大会 (信州大学)</p>	<p>フランツ・クルティのオペラ《リリ・ツェー》は、19世紀にドイツ・オーストリアで作曲された唯一のジャポニスム・オペラである。オペラの舞台は人里離れた日本の手仕事職人たちが住む村で、日本を旅行中の英国人女性が落とした鏡をめぐる日本人の反応をユーモラスに描いたものである。ストーリーは日本の昔話『松山鏡』に基づいており、1894年にイギリスの雑誌『ストランド・マガジン』に掲載された日本の物語「鏡」が直接の土台となっていることが判明した。1885年にミュンヘンで開催され人気を博していた「日本人村」もこのオペラの創作に影響を与えたと考えられる。</p>
<p>6 ウィーンで上演されたジャポニスムのオペラ・オペレッタに描かれた〈芸者〉</p>	<p>単</p>	<p>令和4年11月</p>	<p>シンポジウム 20世紀初期の音楽・舞踊におけるジャポニスム・オリエンタリズム—女性の表象と身体— (名古屋大学)</p>	<p>名古屋大学において、音楽・舞踊のジャポニスム・オリエンタリズムについてシンポジウムを企画した。登壇者は名古屋大学の教員と博士研究員である。自身の発表では、19世紀末から20世紀にかけてウィーンで上演された芸者を主人公とした4つの音楽劇《芸者》《蝶々夫人》《3人娘》</p>

<p>7 黄禍論とジャポニズムのオペラ—テオドル・サーントー 《タイフーン》 (1924)</p>	<p>単</p>	<p>令和4年11月</p>	<p>日本音楽学会 第73回全国大会 (西南学院大学)</p>	<p>《ユシは踊る》を取り上げ、それぞれの作品に描かれた芸者について考察した。共通点として日本に寄港した西洋の男性と芸者の物語であることが挙げられるが、芸者のキャラクターは金銭的契約から恋愛に発展する者と、一定期間だけの仕事と割り切っている者に分けられる。芸者の身分や仕事内容は西洋では明確に知られていないが、西洋の男性に支配される日本女性というオリエンタリズム的視点が随所に見られることが判明した。</p> <p>メルヒオール・レンジェルの戯曲『タイフーン』(1900)を元にしたテオドル・サーントーのオペラ《タイフーン》(1924)を取り上げ、日清戦争や日露戦争の勝利などにより急速に西洋に台頭した日本に対するイメージの変化がどのようにオペラに反映されたのかを中心に考察した。「黄禍論」が広がっていた時代の作品であるが、レンジェルの戯曲、サーントーのオペラではストーリーの中心は西洋人と日本人の考え方の差であることが明らかとなった。西洋人は愛を最も尊重するが、日本人は国家への義務を最も尊重すると描かれている。</p>
<p>8 19世紀末から20世紀初頭のドイツ・オーストリアで作曲されたジャポニズムの歌曲—日本詩歌の翻訳から得たインスピレーション—</p>	<p>単</p>	<p>令和5年6月</p>	<p>音楽表現学会 第21回(平安)大会 (京都女子大学)</p>	<p>19世紀後半から20世紀にかけて、ドイツ・オーストリアでは他のヨーロッパ諸国に先駆けて、和歌の翻訳を歌詞とした歌曲集が出版されている。本発表では、ウィルヘルム・キーンツルの歌曲集《4つの日本の歌》(1895)、グスタフ・グルーベの歌曲集《7つの日本の歌》(1904)を中心に取り上げ、研究発表と演奏デモンストレーションを行った。この2つの歌曲集はカール・フローレンツの和歌の翻訳『東方よりの表敬』(1894)にインスピレーション得て作曲されたものである。フローレンツの翻訳は元の日本詩歌にほぼ忠実であるが、詩の心情や情景を西洋人が理解しやすいように説明的な語句が付け加えられている。それによりキーンツルとグルーベは鮮明な印象を得ることができた。これらの歌曲集は和歌の翻訳と錦絵風の挿絵に想像力を得たドイツ歌曲として注目される。</p>

<p>9 日本の物語を題材としたドイツのジャポニスム・オペラ</p>	<p>単</p>	<p>令和5年10月</p>	<p>第64回愛知音楽研究会 (名古屋市東生涯学習センター)</p>	<p>日本の物語を原作としてドイツで作曲された2つのオペラについて考察した。フランツ・クルティのオペラ《リリ・ツェー》(1896)は、日本の昔話『松山鏡』をベースとしている。全曲は7場から成り、明快な調性で書かれている。日本風の旋律や音階は見られないが、異国情緒を醸し出すために「ズンベラ」などの日本語が用いられている。マンフレート・グルリットのオペラ《聖女》(1920)は『平家物語』第一巻の「祇王」を原作としている。グルリットは、このオペラを「音楽的聖譚」と名付けている。宗教的題材による初のジャポニスム・オペラである。</p>
<p>10 平家物語を題材としたオペラ—マンフレート・グルリット《聖女》(1920)—</p>	<p>単</p>	<p>令和5年11月</p>	<p>日本音楽学会 第74回全国大会 (聖徳大学)</p>	<p>マンフレート・グルリットのオペラ《聖女》(1920)について考察した。これは『平家物語』第一巻「祇王」を元にしたオペラである。台本はカール・ハウプトマンが1909年に出版した『Panspiele』に収録された「ある日本の短篇による3幕の詩作」であることが判明した。また、ハウプトマンはフランソワ・トゥレティーニのフランス語抄訳『平家物語：12世紀の日本の歴史物語』を元に脚色を加え「3幕の詩作」を書いたことも判明した。オペラ《聖女》は『平家物語』の根底にある栄枯盛衰の概念をキリスト教的に解釈した作品であることが明らかとなった。</p>
<p>その他の研究活動 ①レクチャーコンサート 1 北斎と音楽のジャポニスム 2 明治音楽会～西洋音楽がやってきた!～ 3 明治音楽会～</p>	<p>共 共 共</p>	<p>令和元年5月 令和4年4月 令和4年9月</p>	<p>相生森林美術館 J.S.バッハ文化センター 藍住町総合文化ホー</p>	<p>葛飾北斎の絵画におけるジャポニスムとフランス、イタリアの音楽におけるジャポニスムについて講演と演奏を行った。 ○釘宮貴子、上野美貴 明治期の西洋音楽移入と西洋音楽教育の発展について解説し、明治期の西洋音楽による演奏会の再現演奏を行った。 ○釘宮貴子、井上ゆかり、戸邊祐子、森基之、栗田美佐、釘宮冴月、新田恭子 令和4年4月のレクチャーコンサ</p>

<p>続・西洋音楽がやってきた！～</p>			<p>ル大ホール</p>	<p>トの続編として、東京音楽学校における西洋音楽教育の発展について解説し、当時の演奏会プログラムの再現演奏を行った。 ○釘宮貴子、井上ゆかり、戸邊祐子、森基之、栗田美佐、釘宮冴月、田中潤、新田恭子、木田寿味、上川忠昭、野村侑加、松本由里子</p>
<p>4 19世紀末から20世紀初期の西洋に響いた日本の音楽</p>	<p>共</p>	<p>令和5年3月</p>	<p>文化の森総合公園21世紀館</p>	<p>19世紀末から20世紀にかけて日本の文化や音楽がどのように西洋に伝えられたかについて解説し、当時西洋で演奏されていた日本に関連する楽曲の演奏を行った。 ○釘宮貴子、遠藤綾子、鈴江早都子</p>
<p>②演奏活動 1 四国二期会サマーコンサート2019</p>	<p>共</p>	<p>令和元年7月</p>	<p>徳島市あわぎんホール</p>	<p>ピアノ伴奏：シュトラウス2世『こうもり』より「シャンパンの歌」「伯爵さま、あなたのようなお方は」、スッペ『ボッカッチョ』より「恋はやさし野辺の花よ」、ジーツィンスキー「ウィーン我が夢の街」、レハール『ルクセンブルク伯爵』より「ピエールが誘ったの」、レハール『ジュディッタ』より「友よ人生は生きるに値する」「口づけより熱く」、レハール『メリー・ウイドウ』より「ヴィリアの歌」「唇は語らずとも」、カールマン『チャールダーシュ伯爵夫人』より「ハイヤ、山は我がふるさとよ」 独唱 疋田弘子、田山博子、若井健司、板東裕美、市川千恵、松村あずさ</p>
<p>2 ミリカホールコンサート</p>	<p>共</p>	<p>令和元年9月</p>	<p>小松島市ミリカホール</p>	<p>ピアノ伴奏：トスティ「魅惑」「僕は思っている」、レスピーギ「最後の陶酔」「舞踏への誘い」、テイリンデッリ「あなたのすべてに」、クルティス「勿忘草」、多忠亮「宵待草」、本居長世「十五夜お月さん」、山田耕筰「母の声」、平井康三郎「月の光は」、小林秀雄「落葉松」、チレア『アドリアーナ・ルクヴルール』より「私は神の卑しい下僕です」、グノー『ファウスト』より「宝石の歌」、レハール『メリー・ウイドウ』より「ヴィリアの歌」、レハール『ジュディッタ』より「口づけより熱く」、カールマン『チャールダーシュ侯爵夫人』より「ハイヤ、山は我がふるさとよ」</p>

3 New Year Concert	共	令和2年1月	杜のホスピタル 杜のホール	独唱 疋田弘子、田山博子、薄井智子、松村あずさ ピアノ独奏：ショパン「幻想即興曲」「前奏曲 雨だれ」 ピアノ伴奏：越谷達之助「初恋」、高田三郎「くちなし」、山田耕筰「待ちぼうけ」「松島音頭」、弘田龍太郎「浜千鳥」、ベッリーニ「優雅な月よ」、トスティ「マーレキアーレ」、クルティス「帰れソレントへ」 独唱 熊谷公博
4 Summer Concert	共	令和3年8月	ギャラリー花杏豆	声楽、ヴィオラ、ピアノの三重奏：シューベルト「岩の上の羊飼い」 声楽、ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノの四重奏：シューベルト「鱒」 ピアノ伴奏：シューマン「アダージョとアレグロ」Op.70、スカルラッティ「堇」、別宮貞雄「さくら横丁」、成田為三「浜辺の歌」、大中寅二「椰子の実」、山田耕作「あわて床屋」 ヴァイオリン 猪子奈津子 ヴィオラ 市川沙紀 ソプラノ 釘宮冴月
5 四国二期会 オータムコンサート2021	共	令和3年9月	徳島市さくらホール	ピアノ伴奏：武満徹「小さな空」「翼」、カッチーニ「アヴェ・マリア」、ヘンデル「私を泣かせてください」、スカルラッティ「陽はすでにガンジス川から」、ストラデッラ「もし幸せの中に」、トスティ「夢」「そうなってほしい!」、ロッシーニ「アヴェ・マリア」、グノー『ファウスト』より「宝石のうた」 独唱 疋田弘子、市川千恵
6 ソプラノリサイタル	共	令和3年12月	名古屋市メニコン ANNEX / HITO MI ホール	ピアノ伴奏：ヘンデル「私を泣かせてください」、ドナウディ「どうか吹いておくれ」、ロッシーニ「フィレンツェの花売り娘」、J.S.バッハ「あなたがそばにいてくだされば」、シュトラウス「セレナーデ」Op.17-2、ニュートン「アメージング・グレイス」、ヘッド「私を外へと誘った甘美な偶然」、キルター「愛の哲学」、グノー『ファウスト』より「宝石の歌」 独唱 釘宮冴月
7 歌とピアノの	共	令和4年2月	認定こども園	ピアノ演奏：チャイコフスキー「く

コンサート			「さら」	<p>るみ割り人形」 ピアノ伴奏：本居長世「七つの子」、山田耕筰「赤とんぼ」、岡野貞一「故郷」、弘田龍太郎「靴が鳴る」、芥川也寸志「小鳥のうた」、團伊玖磨「おつかい蟻さん」「ぞうさん」、中田喜直「めだかの学校」、梁田貞「どんぐりころころ」、大中恩「犬のおまわりさん」、納所弁次郎「兎と亀」、越部信義「おもちゃのチャチャチャ」、飯沼信義編曲「夕やけこやけ」、デンツァ「フニクリフニクラ」 歌 井上ゆかり</p>
8 ソプラノリサイタル	共	令和4年3月	徳島市アスティとくしま ときわホール	<p>ピアノ伴奏：ヘンデル「私を泣かせてください」、ロッシェニ「約束」「誘い」「アルプスの羊飼いの娘」「フィレンツェの花売り娘」、ヘッド「私を外へと誘った甘美な偶然」、キルター「愛の哲学」「今、深紅の花びらは眠り」、シューマン『ミルテの花』より「献呈」「くるみの木」「ズライカの歌」、ベリーニ『カプレーティ家とモンテッキ家』より「ああ、幾たびか」、ベリーニ『イル・トロヴァトーレ』より「穏やかな夜」 独唱 釘宮冴月</p>
9 サウンドハウスホールコンサート	共	令和4年7月	小松島市サウンドハウスホール	<p>ピアノ連弾：スメタナ「モルダウ」、ビゼー「カルメン」 ピアノ伴奏：カッチーニ「アヴェ・マリア」、ドヴォルジャーク「我が母の教え給いし歌」、小林秀雄「落葉松」、滝廉太郎「花」、中田喜直「夏の思い出」 独唱 井上ゆかり、戸邊祐子 ピアノ 栗田美佐 サックス 新田恭子</p>
10 ことのはロビーコンサート	共	令和5年7月	徳島県立文学書道館	<p>ピアノ伴奏：トスティ「夢」、ドナウディ「ああ愛する人の」、モーツァルト『フィガロの結婚』より「恋とはどんなものかしら」、ロッシェニ「誘い」「踊り」「フィレンツェの花売り娘」、成田為三「浜辺の歌」、中田喜直「夏の思い出」、大中寅二「椰子の実」、キルター「愛の哲学」「今、深紅の花びらは眠り」、ガーシュウィン『ポーギーとベス』より「サマータイム」、グノー『ロミオとジュリエット』より「私は夢にいきたい」</p>

11 ミュージアムコンサート	共	令和5年5月	相生森林美術館	独唱 釘宮冴月 チェロとピアノの二重奏：ショパン「序奏と華麗なポロネーズ」Op.3、カッチーニ「アヴェ・マリア」、ラフマニノフ「ヴォカリーズ」他 チェロ 田上和子
12 サウンドハウスコンサート	共	令和5年9月	小松島市サウンドハウスホール	ピアノ三重奏：ショパン「ピアノ三重奏曲 Op.8 第1楽章」、エルガー「愛の挨拶」、サン＝サーンス「白鳥」、ピアソラ「ブエノスアイレスの四季」「リベルタンゴ」 ヴァイオリン 綾野幸恵 チェロ 田上和子
13 こまつしま市民人権のつどいコンサート	共	令和5年12月	小松島市サウンドハウスホール	声楽とクラリネットとピアノの三重奏：カリヴォダ「故郷の歌」Op.117、シューベルト「岩の上の羊飼い」、ガーシュウイン『ポーギーとベス』より「サマータイム」、ロジャーズ『サウンド・オブ・ミュージック』より「サウンド・オブ・ミュージック」「ドレミの歌」「ひとりぼっちの羊飼い」「エーデルワイス」 ソプラノ 山本綾子 クラリネット 相原志保
③解説記事、雑誌記事 1 ドイツ・オーストリアの音楽のジャポニスム	単	令和5年10月	公益財団法人ドイツ語学文学振興会『ひろの』63号	ドイツの音楽家ゲオルク・カペレンが編曲した「君が代」(1904)、ドイツの音楽家グスタフ・グルーベの歌曲「春の予感」(1904)、オーストリアの指揮者・作曲家フェリックス・ワインガルトナーの歌舞伎を題材にしたオペラ「村の学校」(1919)について解説した。
2 アルフレッド・ローラーによるオペラ《蝶々夫人》の舞台セットデザイン	単	令和6年3月	『ジャポニスム研究』第43号	1907年10月のオペラ《蝶々夫人》ウィーン公演のために準備されたアルフレッド・ローラーの舞台デザインについて解説した。
科研費採択状況 (過去2年間)	JSPS科研費若手研究21K12871 (2021~2023年度) 「1890年代から1930年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム」			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	公益財団法人徳島県文化振興財団 文化事業振興補助金			

<p>学外活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャポニスム学会国際シンポジウム2023企画委員 <p>④公開講座、講演会、研修会の講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度徳島県立城南高等学校 高大並びに専門機関連携講座 徳島の研究者からの声を聴く（於：城南高等学校、令和6年1月18日） 「明治時代の音楽近代化—日本の音楽ってどのように発展したの?—」 ・ 保育魅力アップセミナー（於：徳島文理大学、令和6年2月17日） 「ピアノが苦手な保育士さんのために～子どもと一緒に音楽を楽しみましょう～」 <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校と大学の教育内容接続のための情報交換会（オンライン、令和5年12月15日） 協議Ⅰ：探究的な学びにおけるよりよい課題設定とは —現状と課題、成果や外部人材の活用例等— 協議Ⅱ：将来につながる探究的な学びのために意識していること —取組事例と今後の方向性について—
<p>学内活動</p>	<p>①広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育科学生の出身高校に送付するフライヤー作成 ・ 子育て支援イベント第8回ペンギンクラブのフライヤー作成 ・ 保育科紹介パンフレット作成 <p>②学内の委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短期大学部ホームページ委員 ・ 徳島音楽コンクール ピアノ部門審査員 <p>③学内行事の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパスにおける学科体験授業 <p>④クラブ、サークル、県人会の顧問</p> <p>⑤学内でのコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペンギンクラブクリスマスコンサート（ピアノ演奏） ・ 徳島文理大学生涯学習講座（コーラス講座）修了演奏会（ピアノ伴奏） ・ 音楽学部卒業演奏会（ピアノ伴奏）

氏 名	島 田 俊 朗 (し ま だ と し ろ う)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 准教授			
最終学歴	広島大学大学院教育学研究科博士課程後期 単位取得後退学 (教育学修士)			
着任の年月	平成5年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	広島大学教育学部教育学科事務補佐員			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
徳島文理大学短期大学部におけるボランティアパスポートの取り組みについて —遠隔授業によるボランティア活動推進の試み—	共著	2023年3月	徳島文理大学研究紀要 第105号	本学ではボランティアパスポート制度を利用し「総合科目A (ボランティア活動)」として単位認定を行ってきた。2021年度はコロナの影響で一部授業を遠隔講義として行った。アンケート調査によってその成果を検討し、意義と課題を検討した。 共著者：児嶋輝美、島田俊朗、松下純子、藤本和賀代、則包光徳、堀口誠信
保育者養成課程における栽培活動の実践報告 —「障害児保育」の授業における試み—	共著	2024年3月	徳島文理大学研究紀要 第107号	保育科2年の授業「障害児教育」の中で行った栽培活動の実践報告である。栽培活動を行う課程で学生の気付きや感想をとして、保育者養成課程における栽培活動の教育的効果や意義を検討した。 共著者：山越明、島田俊朗、勢井香菜子
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	令和3(2021)年度徳島文理大学「特色ある教育・研究」 「Web会議システムを活用したボランティア活動推進の試み」 共同研究者：児嶋輝美、島田俊朗、松下純子、藤本和賀代、則包光徳、堀口誠信			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	[短大関係] ①前期担当授業科目名 「教育原理」(保育1年19名 月曜日5講時) 「保育教育課程論」(保育2年 18名 火曜日3講時) 「児童文化」(保育1年 15名 木曜日1講時) 「総合科目A (ボランティア)」(短期大学部1年 水曜日5講時) ②後期担当授業科目名 「児童文化」(保育1年 14名 木曜日1・2講時)			

氏名	疋田 弘子 (ひきた ひろこ)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 准教授			
最終学歴	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科 (芸術学修士)			
着任の年月	平成30年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学音楽学部非常勤講師 (声楽)			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
(演奏活動) 1. 四国二期会徳島支部主催サマーコンサート	共	令和元年7月	徳島市あわぎんホール	オペレッタ「こうもり」より 乾杯の歌(ヨハン・シュトラウス)重唱。オペレッタ「メリーウイドウ」より ヴィリアの歌(レハール作曲)独唱。唇は語らずとも重唱(レハール作曲)重唱。オペレッタ「チャールダシュの女王」より ハイヤ!山はわがふるさと(カールマン作曲)独唱。共演 釘宮貴子(Pf.)板東久美(flu.)綾野幸恵(Vn.)若井健司(Vo.)
2. 親子のためのコンサート～お月見コンサート～	単	令和元年9月	徳島市ふれあい健康館	童謡、歌曲、オペラアリア等10曲独唱。田中佳子(Pf.)
3. ミリカホールコンサート	共	令和元年9月	小松島市ミリカホール	日本歌曲「落葉松」(小林秀雄作曲)「月の光は」(平井康三郎作曲)オペレッタ「チャールダシュの女王」よりハイヤ!山はわがふるさと(カールマン作曲)オペレッタ「メリーウイドウ」よりヴィリアの歌(レハール作曲)独唱。「ふるさとの四季」より「もみじ」(文部省唱歌)重唱。共演 田山博子、薄井智子、松村あずさ、釘宮貴子(Pf.)
4. クリスマスコンサート	共	令和元年12月	さくら保育所	さくら保育所園児、保育士、保育所近隣の方々対象のコンサート。童謡など全10曲を独唱。田中佳子(Pf.)
5. 親子のためのコンサート～お月見コンサート～	単	令和2年9月	徳島市ふれあい健康館	童謡、歌曲等10曲独唱。田中佳子(Pf.)

6. 四国二期会徳島支部主催オータムコンサート2021 VOL.1	共	令和3年9月	シビックセンター (さくらホール)	金子みすず「ほしとたんぽぽ」より「つゆ」「たいりょう」「こだまでしょうか」「ほしとたんぽぽ」「わたしとことりとすずと」(中田喜直作曲)独唱。レクイエムより「ピエ・イエズ」(フォーレ作曲)独唱。釘宮貴子 (Pf.)
7. 四国二期会徳島支部主催オータムコンサート2021 VOL.2	共	令和3年11月	シビックセンター (さくらホール)	「小さな空」「翼」(武満徹作曲)「いのちの歌」(村松崇継作曲)「アヴェ・マリア」(カッチーニ作曲)独唱。オペラ「リナルド」より私を泣かせてください(ヘンデル作曲)独唱。オペラ「ファウスト」より 宝石の歌(グノー作曲)独唱。ミュージカル「レ・ミゼラブル」より 民衆の歌(クロード=ミシェル・シェーンベルク)重唱。釘宮貴子 (Pf.)
8. 親子のためのコンサート～お月見コンサート～	単	令和3年11月	徳島市ふれあい健康館	秋のメドレー 10曲独唱。「いのちの歌」(村松崇継作曲)独唱。「はらぺこあおむし」大型絵本と独唱。田中佳子 (Pf.)
9. 親子のためのコンサート～お月見コンサート～	単	令和4年9月	徳島市ふれあい健康館	秋のメドレー 10曲独唱。「パンのマーチ」、等童謡5曲独唱。田中佳子 (Pf.)
10. クリスマスコンサート	単	令和4年12月	ぼかぼか保育園	クリスマスソングメドレー 10曲独唱。田中佳子 (Pf.)
11. 四国二期会徳島支部主催ニューイヤーコンサート	共	令和5年1月	シビックセンター (さくらホール)	「おお、春よ」(ティリンドゥリ作曲)、「アヴェ・マリア」(マスカーニ作曲)、オペラ「ジュリアスシーザー」より このように、ただ1日のうちに この胸に息のある限り(ヘンデル作曲)独唱。オペラ「椿姫」より 乾杯の歌 重唱。平賀理絵 (Pf.) 小賀野祐子 (Vc.)
12. 四国二期会徳島支部主催オータムコンサート	共	令和5年9月	シビックセンター (さくらホール)	「悲しくなったときは」(中田喜直作曲)独唱。オペラ「魔笛」より 愛を知る男たちは(モーツァルト作曲)重唱。井元孝弥 (Br.)。オペラ「ラ・ボエーム」より 私の名はミミ(プッチーニ作曲)独唱。愛しい乙女よ 重唱。高柳 圭 (Ten.東京二期会) 佐藤由美子 (Pf.)

13. 協立病院50周年記念コンサート	単	令和5年11月	グランヴィリオホテル	オペレッタ「チャールダッシュの女王」より ハイヤ!山はわがふるさと(カールマン作曲)、落葉松(野上彰作曲)、「ウィーンわが夢の街」(ジーツィンスキー作曲)、オペラ「ジャンニスキッキ」より 愛しのお父様(プッチーニ作曲)「いのちの歌」(村松崇継作曲)独唱。田中佳子(Pf.)。共演 寺内詩織(Vn.) 浅井久視子(Pf.)
14. クリスマスコンサート	単	令和5年12月	ぼかぼか保育園	クリスマスソング5曲独唱。田中佳子(Pf.)
〈論文〉 「保育者をめざす学生の歌唱指導について-教材の認知度に関するアンケート調査に基づく授業の見直し-」	単	令和5年3月	徳島文理大学研究紀要第105号	本研究は筆者が担当する「音楽Ⅲ①」の授業内容や方法について見直し、改善を試みることを目的とした。見直しの手がかりとして、授業で取り上げる80曲についての認知度のアンケートを行った。その結果を踏まえて、授業では学生の認知度に合わせて時間配分や説明内容を変えるなどの工夫をした。また、授業毎に学習内容の振り返りの時間を設けた。認知度を把握することによって、毎授業の目標が明らかになったことが授業の改善につながったと考えられる。
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>〔短大関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名</p> <p>「音楽Ⅰ①」 (保育科1年6名。月曜日1講時)</p> <p>「音楽Ⅱ②」 (保育科2年5名。火曜日2講時)</p> <p>「音楽Ⅲ①」 (保育科2年12名。木曜日3講時)</p> <p>「児童文化①」 (保育科1年19名。木曜日1講時)</p> <p>「音楽(基礎)」(保育科1年19名。金曜日3講時)</p> <p>②後期担当授業科目名</p> <p>「音楽Ⅰ②」 (保育科1年7名。火曜日1講時)</p>			

氏名	山越 明 (やまこし あきら)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 准教授			
最終学歴	徳島大学教育学部養護学校教員養成課程 (教育学士)			
着任の年月	令和2年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	平成30年度 美馬市立岩倉小学校長 令和2年度 徳島文理大学非常勤講師			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔論文〕 1. 保育者養成課程における栽培活動の実践報告―「障害児保育」の授業における試み―	共著	令和6年3月	徳島文理大学研究紀要第107号	保育科2年次履修科目「障害児保育」の授業の一環として取り組んだ栽培活動について、学生の気付きや感想をとおして栽培活動の教育的効果や意義を考察すると共に、保育との繋がりについて言及し報告としてまとめたものである。 共同研究者：島田俊朗、勢井香菜子
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>〔学部関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名 「障害児保育①」(児童3年41名。4年1名。計42名月曜4講時) 「特別支援教育論」(人生活、総政、食物、メディア、建築、保健福祉2年。計38名。 +総政4年1名、建築4年3名、保健福祉4年1名。計43名。 木曜日5講時) 「特別支援教育論」(児童2年45名、3年3名、4年1名+音器専1名。計50名。金曜日1講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「障害者福祉論」(音楽4年。2名。金曜日3講時) 「障害児保育②」(児童3年33名。4年2名。計45名。火曜日2講時) 「特別支援教育論」(日本2年6名。文化財2年8名。英語2年2名。電情2年4名。計20名。月曜日5講時) 「特別支援教育論」(心理2年31名、音楽2年6名、計37名。+心理3年2名、心理4年2名、児童2年2名。計43名。金曜日1講時)</p> <p>〔短大関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名 「障害児保育Ⅰ」(保育2年14名、言語2年1名。計15名。月曜日1講時) 「特別支援教育論」(保育1年。19名。火曜日1講時) 「児童文化①」(保育1年。19名。木曜日1講時)</p>			

<p>授 業</p>	<p>②後期担当授業科目名 「障害児保育Ⅱ」(保育2年12名。言語1名。計15名。月曜日2講時) 「特別支援教育論」(短生食1年2名、短言1年1名。計3名。金曜日1講時) 「児童文化②」(保育1年。19名。木曜日1講時) 「保育教職実践演習(幼)」(保育2年。12名。金曜日4講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">前期 (6) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">計 (13) コマ</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">後期 (7) コマ</td> <td style="border: none;">}</td> <td></td> </tr> </table> <p>〔その他の指導状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護等体験実習に係る指導(小学校・中学校・養護教諭免許取得希望者42名)の特別支援学校実習指導及び引率。社会福祉施設はオンライン。実習日誌検閲。 ・香川キャンパスにおける介護等体験実習に係る事前指導及び事後指導・評価(実習日誌検閲)。24名。 ・教員採用試験に係る講座(特別支援教育)及び面接指導。 ・音楽科音楽療法コースの学生の卒業研究への支援として、障害のある児童への関わりや自閉症児の行動に関して理解の仕方や関わり方について助言を行った。 ・児童学科学生の卒業研究の支援として、「グッドイナフ人物画知能検査」「津守式乳幼児発達検査」に関しての解釈の仕方等の助言を定期的に行った。 	{	前期 (6) コマ	}	計 (13) コマ	{	後期 (7) コマ	}	
{	前期 (6) コマ	}	計 (13) コマ						
{	後期 (7) コマ	}							
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>								
<p>学生指導</p>	<p>【保育科教員として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育科学生の各種悩み事に対して相談を行った。保育科2年1名の児童発達支援事業所への就職の橋渡しを行った。 <p>【特別支援教育担当として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部生、短大生併せて約10名の学生に対して、実習やバイト先等における特性のある人に対する理解や支援の仕方について、個別相談を行った(計20回程度)。 ・学部生2名、短大生1名の発達障がいのある学生の悩み事相談に関して、心理的不安の軽減に係るサポート活動を継続的に行った(計30回程度)。 ・その他、特性があると思われる友人に対しての関わりについての相談を適宜行った。 								
<p>活 動</p>									
<p>学外活動</p>	<p>〔学会活動関係〕 日本保育学会</p> <p>〔公的機関の活動〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ①徳島市障害児保育指導委員会委員(徳島市子ども保育課): 2回 ②鳴門教育大学附属幼稚園関係者評価委員(鳴門教育大学): 4回 ③美馬市民生委員児童委員(美馬市生活福祉課): 8回 ④「子供の力・育み・プロジェクト」保育所等巡回相談員(県社協主催): 3回 ⑤愛育会評議員(社会福祉法人愛育会): 2回 ⑥特別支援教育の体制整備にかかる専門家チーム員(徳島県教育委員会): 0回 ⑦徳島市医療的ケア運営協議会委員(徳島市子ども保育課): 2回 ⑧社会福祉法人アンドーラ関係者(第三者)評価委員: 2回 ⑨徳島県発達障がい者地域支援マネージャー(徳島県発達障がい者総合支援センター): 11回 ⑩「職」の魅力向上人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業協議会委員(鳴門教育大学): 2回 <p>〔非常勤〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ①徳島大学総合科学部非常勤講師。担当科目「特別支援教育概論」(集中講義として夏休み期間に遠隔授業で実施。全15回) 								

<p>学外活動</p>	<p style="text-align: center;">〔全出講回数〕</p> <p style="text-align: center;"> { 前期 (15) 回 後期 (0) 回 } 計 (15) 回 </p> <p>〔機関紙への寄稿〕 『私保連とくしま』第41号</p> <p>〔公開講座〕 徳島県リカレント教育推進事業「幼児の感覚統合を促す遊具の作成・活用講座」 1月20日、2月3日、2月10日、各日2講座、計6講座実施</p> <p>〔講演・研修会講師〕</p> <p>① 4月26日「特別支援学級の教育課程」(生比奈小学校) ② 4月30日「就学後の学校における支援」(美馬市手をつなぐ育成会) ③ 5月20日「幼児期の子どもの発達と気になる子の支援」 (三好地区保育所事業協議会) ④ 7月7日「幼児期の子どもの発達」(なかよし保育園) ⑤ 7月22日「気になる子どもへの支援～自閉症～」(さくら保育園) ⑥ 8月29日「子どもの発達を見る支援」(徳島県発達障がい者総合支援センター) ⑦ 9月6日「発達障害とよく似た症状の子ども増加」(三好ブロック保育部) ⑧ 9月12日「子どもの発達と保育園で求められていること」(彩保育園) ⑨ 9月13日「自己理解の大切さ」(徳島県発達障がい者総合支援センター) ⑩ 9月14日「発達障害とよく似た子ども増加～睡眠と覚醒水準～」(平島小) ⑪ 9月16日「幼児期の子どもの発達と気になる子どもへの支援」(大泉保育所) ⑫ 9月19日「自己理解の大切さ」(徳島県発達障がい者総合支援センター) ⑬ 10月17日「幼児期の子どもの発達」(脇町保育所) ⑭ 11月1日「幼児期の子どもの発達」(岩倉保育所) ⑮ 11月8日「幼児期の子どもにとって大切にしたいこと」 (美馬市就学前人権教育研究会) ⑯ 11月9日「幼児期の子どもの発達と人権」(三好地区就学前人権教育研究会) ⑰ 11月9日「気になる子どもへの支援と保護者支援」(三好郡市主任保育士部会) ⑱ 12月6日「強度行動障害について」(阿波市・吉野川市子ども部会) ⑲ 12月13日「発達のある子の自己理解」(徳島県発達障がい者総合支援センター) ⑳ 2月17日「子どもの個性を伸ばしながら発達を促す保育」(県社会福祉協議会) ㉑ 2月29日「感覚遊び～ビジョントレーニングを中心に」(江原北小学校)</p> <p>〔指導助言〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月15日「第65回全国私立保育園研究大会」第8分科会指導助言 第8分科会テーマ「保護者に対する支援を考える～福祉・養護の視点から」 ・ 10月20日「第62回全日本特別支援教育研究連盟全国大会徳島大会」分科会助言 第9分科会テーマ「交流及び共同学習」 ・ 11月8日「美馬市就学前人権教育研究大会」 ・ 11月9日「三好地区就学前人権教育研究大会」 <p>〔気になる子の訪問相談〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所・認定こども園6園計16回、児童発達支援事業所3事業所計6回 ・ 小学校3校計5回
<p>学内活動</p>	<p>① 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月2日「高校生のための公開セミナー 2023」 高校生3名参加 ・ オープンキャンパス 保育科の一員として、本年度開催されたすべての短期大学部オープンキャンパスに参加した。模擬授業、補助的役割を行った。 <p>② 人権教育推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月11日 (委員会)

氏名	船本孝子 (ふなもと たかこ)			
所属・職の種類	短期大学部 保育科 准教授			
最終学歴	鳴門教育大学大学院学校教育研究科学校教育専攻 (修士)			
着任の年月	令和4年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島市立保育所 (内町保育所長)			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 「資質・能力を育む保育内容 領域 人間関係—子どもにとっての人間関係とは—」	共	令和5年3月	教育情報出版	「資質・能力を育む保育内容 領域 人間関係—子どもにとっての人間関係とは—」 保育内容 領域「人間関係」について保育の初学者を対象とした教科書。 <執筆担当部分> 11章 巻頭 保育者が大切にしたい領域「人間関係」での援助とは 11章 2 子どもの育ちと保育者の役割 13章 巻頭 多文化保育から人間関係をとらえよう 13章 3 異文化に触れる保育の実際 編著：斎藤崇 (淑徳大学) 著：福澤惇也 (中国短期大学)、友澤加代 (東京福祉大学) 他13名
〔論文〕 「保育内容領域に求められる授業内容について —卒業生へのアンケート調査に基づく課題と改善—」	共	令和5年9月	徳島文理大学研究紀要 第106号	新課程導入 (令和5年度入学生より) を期に保育科におけるこれまでの保育内容領域に関する授業内容を見直すことを目的に、保育科卒業生を対象とし領域に関する授業内容についてアンケート調査を行った。保育者の立場での必要度として、領域「人間関係」においては、保護者との関係構築や子ども同士の葛藤場面での関りについて高い必要度を示した。授業内容や学生の体験や活動の検討・充実につなげることができた。 本人担当部分：(2)保育内容「人間関係」(pp.44-45) 共著者：児嶋輝美、石井信子、下内新吾、森万里子、金子紗枝子、古本奈奈代

<p>〔発表〕 「保育内容領域に求められる授業内容について ―卒業生へのアンケート調査から―」</p>	共	令和5年5月	日本保育学会 第76回大会	<p>保育内容領域に求められる授業内容について、卒業生によるアンケート調査により保育者の立場での必要度を明らかにするため授業担当者で共同研究を実施した。</p> <p>領域「人間関係」においては、保護者との関係構築や子ども同士の葛藤場面での関りについて高い必要度を示し、授業内容や学生の体験や活動の検討・充実につなげることができた。</p> <p>共著者：児嶋輝美、石井信子、下内新吾、森万里子、金子紗枝子、古本奈奈代</p>
<p>科研費採択状況 (過去2年間)</p>	該当なし			
<p>研究助成金の交付等 (過去2年間)</p>	該当なし			
<p>特許申請状況 (過去2年間)</p>	該当なし			
<p>その他の研究活動</p>	該当なし			
教 育				
授 業	<p>〔学部関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名等</p> <p>②後期担当授業科目名等 「保育学」(人間生活3年 29名・人間生活4年 1名 食物栄養4年 2名 月曜日2講時)</p> <p>〔短大関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名 「保育の心理学Ⅰ」 (保育2年 13名 火曜日1講時) 「保育実習指導Ⅰ①」 (保育1年 19名 水曜日3講時) 「子育て支援」 (保育2年 13名 水曜日3講時) 「事前・事後指導」 (保育2年 13名 水曜日4講時) 「文理学」 (保育1年 19名 木曜日4講時) 「児童文化①」 (保育1年 19名 木曜日1講時) 「総合科目Aボランティア」 (保育1年 19名 水曜日5講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「保育実習指導Ⅰ②」 (保育1年 19名 月曜日4講時) 「保育内容(人間関係)A」 (保育2年 12名 水曜日3講時) 「幼児と人間関係」 (保育1年 19名 水曜日4講時) 「児童文化②」 (保育1年 19名 木曜日1・2講時) 「保育教育実践演習」 (保育2年 12名 金曜日4講時) 「文理学」 (保育1年 17名 金曜日5講時)</p> <p style="text-align: right;">〔全コマ数〕</p> <p style="text-align: right;"> { } 前期 (7) コマ 後期 (8) コマ 計 (15) コマ </p>			

<p>学生指導</p>	<p>[その他の指導状況] ○令和5年度全学共通教育センター 学習支援アドバイザー 直前面接講座（集団面接）6月19日5講時、6月23日5講時、6月30日5講時 幼保採用試験レベルアップ講座2月8日3講時</p>
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>
<p>学生指導</p>	<p>①実習関係 ○実習前の準備の確認…保育所実習（保育所・福祉施設）や幼稚園教育実習にあたり、抗体検査や細菌検査・PCR検査の結果を提出する必要がある。授業で検査方法や検査場所を知らせ、受けるように指導を行っているが、確実に受検し実習初日に実習先に提出できるよう、結果の写しの提出やメール転送での確認を行っている。また、担任と協力し、学生が見た目の印象で不利益を受けないよう身だしなみのチェックや実習期間中の生活態度について実習直前に指導を行っている。 ○実習中の訪問指導・コロナ感染症対応…実習中には実習先を訪問し、施設長や指導担当者から実習の様子を聞き取り、学生と面談し労いや必要事項の指導を行った。コロナ感染症は5類となったが、実習先では集団生活の場であることから慎重な対応がとられていることもあり、学生や学生の家族の状況と実習先関係者と連携し、実習の継続や中止について対応を行った。実習が中断した学生に対しては、実習再開時の対応（体調確認・検査要不要）・学生の実習に対するモチベーションの維持など配慮を行った。 ○指導計画の作成への助言指導…保育実習Ⅱ及び幼稚園教育実習での責任実習（指導案を作成し実践する）への対応に苦慮している学生に対して、助言指導を行った。 ○実習後の対応…実習終了後、実習日誌の提出や受け取り・お礼状の送付等について、時機を見てメールやClass roomで連絡するとともに、学生からの質問に対応した。また、担任と協力し実習日誌を受け取り、必要に応じて加筆・修正等の指導を行った。</p> <p>②子育て支援イベント「ペンギンクラブ」 今年度8回実施。イベントに参加した親子への配慮や関わり方、イベントでの製作物（おもちゃ・クリスマスオーナメント等）の準備や作り方について学生が主体となって担当できるよう指導を行い、学生の実践力の向上を図った。</p> <p>③おとぎのくに ブラックシアターでは、少人数の学生による活動であったため学生の心身の負担感を軽減するため、製作や当日の上演の補助を行った。全体に対しては、準備中の学生を労い、自信をもって上演できるよう承認の声掛け等を行った。</p> <p>④就職活動 エントリーシートや履歴書での適切な文章表現等の助言指導、面接での想定質問や回答例、模擬面接等を希望する学生に行った。</p>
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>[学会活動関係] 日本保育学会会員</p> <p>[公的機関の活動] ①社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 徳島県保育士・保育所支援センター 保育アドバイザー委託 実施日：7月4日（火） 実施場所：もとしろ認定こども園</p> <p>②佐那河内村 不適切な保育に係る調査 調査員委託 委託期間：7月1日～10月31日 委託内容：聴取による調査・不適切な保育の認定・原因と防止策及び報告書の作成 保護者説明会：2回（11月）</p>

<p>学外活動</p>	<p>[各種講演]</p> <p>①徳島県保育士等キャリアアップ研修（新任保育士研修分野） 主催：徳島県・（公財）徳島県勤労者ネットワーク 日時：12月5日（火）</p> <p>②徳島県リカレント教育推進事業 「保育活動をもっと楽しくする保育教材の政策と活用」講座 主催：徳島県・徳島文理大学短期大学部 日時：3月2日（土）、3月9日（土）</p> <p>③研修会「不適切保育の未然防止に向けた組織づくりについて」 主催：徳島市こども未来部子ども政策課 日時：3月26日（火）13：30～14：30</p> <p>[その他の活動]</p> <p>①徳島市立丈六保育所在宅育児家庭相談室ボランティアスタッフ派遣 日時：10月18日（水）、25日（水） 保育科2年生</p> <p>②名西高等学校 職業理解説明会 日時：12月15日（金）11：00～13：00 1年生対象 保育の仕事について説明と実技を2回実施</p>
<p>学内活動</p>	<p>①ハラスメント防止委員会 短期大学部のハラスメント防止委員会の相談員 「ハラスメント防止委員・相談員合同研修会」（8月4日開催）</p> <p>②オープンキャンパス 模擬授業担当：7/29 夏祭りごっこ（子育て支援） 9/24 自己紹介を楽しくしよう（保育実習指導） 学科説明担当：8/20</p> <p>③入試関係 ・ミライのわたし 面接 10月1日 ・公募制推薦入試Ⅱ期入試監督 12月10日（日）（該当者なし）</p> <p>④入学前ガイダンス 2月10日（土）</p> <p>⑤短期大学部 新任教員研究報告会参加 9月12日（火）14：00～</p> <p>⑥研究授業への参加 ・教育原理 5月29日（月）5講時 ・図画工作① 6月27日（火）3講時 ・音楽Ⅱ 12月18日（月）3講時 ・保育内容（健康）A 1月10日（水）1講時</p>

氏 名	下 内 新 吾 (し も う ち し ん ご)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 講師			
最終学歴	徳島大学教育学部中学校教員養成課程(美術) (教育学士)			
着任の年月	平成31年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島市大松小学校教諭			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[論文] 1. 保育内容「領域」に求められる授業内容の検討—卒業生へのアンケート調査に基づく課題と改善—	共	令和5年9月	徳島文理大学研究紀要第106号	領域に関する授業内容を見直し改善を図ることを目的として、卒業生に対するアンケート調査を行ったものである。結果をもとに、造形表現に関する授業の改善点について述べた。 <共同研究者> 児嶋輝美、石井信子、下内新吾、船本孝子、森万里子(徳島文理大学短期大学部)、金子紗枝子、古本奈奈代(徳島文理大学)
[発表] 1. 保育内容「領域」に求められる授業内容の検討—卒業生へのアンケートから—	共	令和5年5月	日本保育学会第76回大会	領域に関する授業内容を見直し改善を図ることを目的として、卒業生に対するアンケート調査の結果、保育者としての経験年数や担当クラスの年齢によって必要と感じる技術や知識が異なることが明らかになった。 <共同研究者> 児嶋輝美、石井信子、下内新吾、船本孝子、森万里子(徳島文理大学短期大学部)、金子紗枝子、古本奈奈代(徳島文理大学人間生活学部)
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	[学部関係] ①前期担当授業科目名 「美術A」(保福1年13名、口腔1年4名。月曜日4講時) 「美術A」(建築1年34名、4年1名。火曜日2講時)			

<p>授 業</p>	<p>「美術A」(看護1年2名。金曜日1講時) 「美術A」(生活1年7名、2年4名、3年3名、栄養1年18名、4年1名、 児童3年4名。金曜日2講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「美術A」(児童1年16名、3年1名。火曜日1講時) 「美術A」(児童1年20名。火曜日2講時) 「美術A」(理学1年54名。金曜日2講時)</p> <p>[短大関係] ①前期担当授業科目名 「保育内容(表現)C」(保育2年14名。月曜日3講時) 「図画工作1」(保育1年19名。火曜日3講時) 「児童文化1」(保育1年8名。木曜日1講時) 「文理学」(保育1年17名。木曜日4・5講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「図画工作2」(保育1年19名。月曜日2講時) 「保育内容(表現)D」(保育2年12名。月曜日3講時) 「児童文化2」(保育1年9名。木曜日1講時) 「保育・教職実践演習(幼)」(保育2年12名。金曜日4講時)</p> <p style="text-align: center;">[全コマ数] $\left. \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (7) コマ} \end{array} \right\} \text{計 (15) コマ}$</p>
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>
<p>学生指導</p>	<p>①副担任としての面接 保育科1年5名(4月)、5名(10月)</p> <p>②教育・保育実習先での訪問指導 保育科1年3名(8月)、4名(2月)</p> <p>③個人相談への特別指導</p>
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>①徳島文理小学校「預かり教室 夏休み特別教室」での講師(8月29日)</p> <p>②徳島文理大学附属幼稚園「特設保育」での講師(4月19日～3月7日 計30回)</p> <p style="text-align: center;">[全出講回数] $\left. \begin{array}{l} \text{前期 (15) 回} \\ \text{後期 (15) 回} \end{array} \right\} \text{計 (30) 回}$</p>
<p>学内活動</p>	<p>学生指導・支援協議会委員 短期大学部総合型選抜入試運営委員 防火・防災委員会委員</p>

氏名	森 万里子 (もり まりこ)			
所属・職の種類	短期大学部保育科 講師			
最終学歴	徳島文理大学 短期大学 保育科			
着任の年月	令和2年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	阿南市立 認定こども園 今津こどもセンター 所長 花しんぱり子ども園 保育教諭			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔論文〕 1. 保育者養成校が行う子育て支援の取り組みについて—本学のペンギンクラブ子育て支援イベントの成果と課題—	共著	令和4年3月	徳島文理大学研究紀要 第103号	全国の大学が行う子育て支援の取り組みの運営形態や実施状況を明らかにするとともに、本学保育科が実施してきた子育て支援イベント等を振り返り成果と課題を検証する。調査校の約半分が、自治体やNPOとの連携、委託により実施していること。そして、授業や実習指導と関連付けていることが明らかになった。また、本学が実施しているペンギンクラブの取り組みについての利用者へのアンケートや学生の感想などから、保護者から高評価を得ており、一定の教育効果をあげていることが確認できた。今後の課題は、継続可能な仕組みを整えること、ICTの活用、活動の評価方法の検討である。 共著者：児嶋輝美、森万里子、勢井香菜子
2. 保育内容「領域」に求められる授業内容の検討—卒業生へのアンケート調査に基づく課題と改善—	共著	令和5年9月	徳島文理大学研究紀要 第106号	本研究の目的は、本学での新課程導入（令和5年度入学生より）を機に保育科におけるこれまでの保育内容領域に関する授業内容を見直すことである。その第一段階として、今回は本学、保育科卒業生を対象とし、領域に関する授業内容についてアンケート調査を行い、保育者の立場での必要度を明らかにした。今後の授業を改善するための手だてとする。 本人担当部分：(3) 保育内容「環境」(pp.45) 共著者：児嶋輝美、石井信子、下内新吾、船本孝子、金子紗枝子、古本奈奈代
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			

授 業	後期 教員養成対策講座 「幼保専門講座」 (児童学科 10名 水曜日 5 講時) (保育科 2名 水曜日 5 講時) 教員・幼保採用試験レベルアップ講座 「幼保専門講座」 (児童学科 8名 2/9 2 講時)
論文等指導	なし
学生指導	①保育実習（保育科1年・2年、児童学科2年） ・実習科目担当、保育実習指導者として保育士資格取得のため、保育実習の目的や心構え、手続き、必要書類の書き方、スキル等について指導。 ・保育実習前の準備や確認 （実習先への提出必要書類や準備物、実習日誌の記述、身だしなみ等） （児童学科は、長期休み途中の実習開始であるためオンラインで最終確認を行う） ・感染症による学生や実習先への対応 （双方への連絡、報告、実習生のケア、実習日程の調節等） ・保育実習訪問指導 （保育所、施設の実習先に訪問し、施設長、担当者から話を聞いたり学生と話をしたり必要に応じアドバイスを行う） ・実習後の対応 （実習日誌の仕上げ、実習先への提出、お礼状送付、日誌の受け取り、大学への提出等について折々にクラスルームやメールで連絡する） ②子育て支援 ・「ペンギンクラブ」未就園の子どもと保護者が参加するイベント（年間8回実施）活動の準備を行い、子ども・保護者への接し方、対応の仕方等の実践力が身につくよう指導する。 ③第40回おとぎのくに ・保育科の1・2年生が、保育所・幼稚園の幼児を招待してミュージカルやブラックシアター、合唱等を上演する行事。主に学生からの相談（舞台の小道具作り等）に応じてアドバイスする。 ④授業に関する相談 （課題・実習日誌の書き方、指導案作成、模擬保育、保育スキルに関すること等） ⑤就職相談 ・保育所見学 ・就職試験 ・履歴書の書き方 ・面接指導
活 動	
学外活動	・徳島県保育士養成施設連絡協議会 （県内保育士養成校教員12/26 オンライン開催） ・第19回保育セミナー （保育科1・2年・児童学科2・3年・県内外保育士7/25オンライン開催） [その他の活動] ・徳島県南部ブロック家庭科教員研修会 家庭科技術検定の保育士検定 言語表現に関する技術（絵本の読み聞かせ、紙芝居の実演）の習得。

<p>学外活動</p>	<p>「絵本・紙芝居と保育」講演・実技 参加者 20名（8/16 小松島西高等学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島県未来創生文化部こどもまんなか政策課主催 認可外保育施設職員対象研修会 「子どもの心もちに寄り添う保育」 —保育施設における不適切な保育の未然防止について— 講演・グループワーク 参加者 45名（1/21 徳島県立総合教育センター） ・地域社会活動（水田、河川、海岸周辺美化、伝承文化、地域おこし等に参加）
<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士・教員養成対策講座（年間を通じ実施） ・ペンギンクラブ（子育て支援活動）年間 8 回実施 参加者 132組 279人 ・オープンキャンパスにおける学科体験授業（4/29） ・公募制推薦入試 I 期 監督・面接 阿南会場（11/18） ・クラブ顧問（手話部）

氏名	堀口 誠信 (ほりぐち まさのぶ)			
所属・職の種類	短期大学部言語コミュニケーション学科 教授			
最終学歴	同志社大学大学院文学研究科英文学専攻博士前期課程修了 (修士・文学)			
着任の年月	平成10年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	和歌山信愛女子短期大学英語学科 (新設) 専任講師 (平成10年3月まで)			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] 1 『英語でニッポン再発見』 ISBN 978-4-87571-173-5	共	令和4年3月	開文社出版	英語で読む・聴く・話す・書くの四技能とビジュアルから異文化を理解する基礎総合英語の教科書。割り箸や蚊取り線香を英語でどう紹介したら良いか、などの日本文化の簡単な説明などの指針となり、異文化理解の根底にあるものを考えることにつながる。 (共同執筆者：Lance Kita)
[発表] 1 「免許更新講習・小学校英語教育SOS支援！への取り組み」	単	令和元年8月	日本ビジネス実務学会第36回中国・四国ブロック研究会 於：広島女学院大学	地域の小学校・中学校・高等学校教員で英語に携わる方々への免許更新講習において、最近では小学校外国語活動などの導入の影響以外に、認定こども園の保育教諭・幼稚園教諭の方々からのニーズが多く、受講生が増えている。そのような中、講座を提供している側としては、英語語法・英語学の専門家として、世間に流布する英語教育に関する俗説を排除してゆく活動を地道に続けてゆくことになり、その具体例を解説した。
2 「本学会の研究発表と論文のタイトルの英訳を考える」	単	令和2年6月	日本ビジネス実務学会第39回全国大会 於：北海商科大学・札幌国際大学共同開催・遠隔Zoom方式	専門用語を並び立てて専門家以外の人たちと距離を置くような論文が、時代遅れであると同様、論文の英文タイトルや英文アブストラクトが判りにくく、一般の英語話者から距離を置かれるようではいけない。英文タイトルから、多くの人たちに興味をもってもらう論文や研究発表にするにはどうしたらよいかについて、いくつかの提言を行った。
3 「より良い英文タイトルのつけ	単	令和3年6月	日本ビジネス実務学会第40回全国大会	論文や研究発表は日本語であるが、そのタイトルだけは英文にしないで

<p>かたを考える」</p> <p>4 「英文タイトルの落とし穴：『提案』と『影響』には気をつける」</p> <p>5 「関係代名詞の和訳ナニナニする「トコロの」ダレソレはヘンテコに非ず：「トコロ+の」のとらえ方と教授法的応用」</p>	<p>単</p> <p>令和4年6月</p> <p>単</p> <p>令和6年2月</p>	<p>於：北九州市立大学・遠隔Zoom方式</p> <p>日本ビジネス実務学会第41回全国大会 於：愛知東邦大学・Zoom遠隔方式</p> <p>同志社ことばの会・2023年度年次大会 於：同志社大学今出川キャンパス・寒梅館6F大会議室（対面・遠隔ハイブリッド方式）・Zoom遠隔方式による発表参加</p>	<p>はいけない、という場合、最初から全ての内容とタイトルを英語で考え、表現している場合と較べ誤訳や意味不明の英文が生成される場合が多い。その原因の一つは、コンパクトにまとめなくてはいけないタイトル作成にとって、日本語は省略表現や複合語表現といった便利な武器を持っており、これにより日本語の枠内では充分意味が通っても、英語をはじめ外国語に翻訳する際に「元の日本語タイトルに隠れている暗黙の前提」をわざわざ引っ張り出して訳出しなくては意味が通らなくなる状況が生じるからである。</p> <p>英語では、主語を定めなければ、そもそも文は作成できず、主語＋述語という構造になっている。一方、日本語で主語とされているもののほとんどは「主題」であり、述語とされているものは「説明」という、主題卓越文という構造になっており、主語を抜きにして、細部にわたる説明が可能で、詳細な説明を得意としている。ここに「提案」あるいは「影響」という言葉が含まれる場合、誰が何をする提案か、誰が何に及ぼす影響か、という方向性を、あらかじめ日本語の段階で考えていないと、奇妙な英文が生成される。これをもとに、論文や研究発表の英文タイトルを改善できる例を示した。</p> <p>日本語では「彼が忠告を与えたのを弟は無視した」のような文構造が可能だが、英語では「彼」を無視したのか、「忠告」を無視したのか、という具合に、関係詞を使って節内部の主要部を先行詞として取り出し、「～する彼」や「～のような忠告」と、説明を後回しにする形が好まれる。逆に、関係代名詞を含む英文を日本語に翻訳する際、漢文訓読法を応用して関係代名詞部分を「～するところの～」と訳す古風な表現が存在するが、この表現の本質は何であるかを説明し、現代的には奇妙なこの表現を使うことにより、英語初級者が英語の関係代名詞を理解する際、役に立つ場合があることを解説したもの。</p>
<p>その他の研究活動</p>	<p>令和3年度以降について述べる 一般雑誌記事・解説記事・招待講演など</p>		

1 『日本ビジネス実務学会会報 No. 75』	共	令和3年9月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-16.	日本ビジネス実務学会・広報委員長として全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「会長あいさつ」、「全国大会プログラム」、「ポスター発表報告」、「口頭発表概要」、「役員体制」。
2 『日本ビジネス実務学会会報 No. 76』	共	令和4年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・広報委員長として全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「会長あいさつ」、「委員会活動報告」、「ブロック研究会活動報告」。
3 『日本ビジネス実務学会会報中国四国ブロック会報 No. 35』	共	令和4年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・中国四国ブロックリーダーとして全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「ブロックリーダーあいさつ」、「総会概要」。
4 『日本ビジネス実務学会会報 No. 77』	共	令和4年9月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-16.	日本ビジネス実務学会・広報委員長として全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「会長あいさつ」、「全国大会プログラム」、「ポスター発表報告」、「口頭発表概要」、「役員体制」。
5 『日本ビジネス実務学会会報 No. 78』	共	令和5年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・広報委員長として全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「会長あいさつ」、「次期役員への申し送り事項」、「委員会活動報告」、「ブロック研究会活動報告」、「新体制への引継ぎ事項」。
6 『日本ビジネス実務学会会報中国四国ブロック会報 No. 36』	共	令和5年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・中国四国ブロックリーダーとして全てのページを担当・編集。個人的に執筆担当となっている箇所は「ブロックリーダーあいさつ」、「総会概要」。
7 『日本ビジネス実務学会会報 No. 79』	共	令和5年9月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-16.	日本ビジネス実務学会・広報委員として「口頭発表概要」部分を担当。
8 『日本ビジネス実務学会会報 No. 80』	共	令和6年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・広報委員として「ブロック研究会活動報告」部分を担当。
9 『日本ビジネス実務学会会報中国四国ブロック会報 No. 37』	共	令和6年3月	日本ビジネス実務学会, pp. 1-7.	日本ビジネス実務学会・中国四国ブロックの前リーダーとして全てのページのフォーマットを整理。

教 育

授 業

〔短大関係〕 令和5年度

①前期担当授業科目名

- 「英語学概論」：言語コミュニケーション2年11人。児童学科2年6人。
火曜日3講時。
- 「英米文化論」：言語コミュニケーション1年3人。児童学科2年4人。
月曜日1講時。
- 「英語A①」：保育科2年。13名
木曜日4講時。
- 「文理学」：言語コミュニケーション1年3人。
木曜日5限目

②後期担当授業科目名

- 「異文化間コミュニケーション」
：言語コミュニケーション2年9人、児童2年6人
火曜日1講時。
- 「英語A①」：保育科2年12人。
木曜日1講時。
- 「文理学」：言語コミュニケーション1年3人。
金曜日5限目

〔学部関係〕 令和5年度

①前期担当授業科目名

- 「英語A①」：総合政策1年後半。42名。
月曜日4講時。
- 「英語A①」：総合政策1年前半。40名。
月曜日3講時。
- 「英語A①」：看護1年前半。43名。
火曜日2講時。
- 「英語A①」：看護1年後半。39名。
水曜日2講時。
- 「英語A①」：保健福祉1年+音楽1年+口腔保健。37名。
水曜日4講時。
- 「英語A①」：建築1年。38名。
水曜日2講時。
- 「語学センター・英語ステップアップ講座」・1回 2人。

②後期担当授業科目名

- 「英語A①」：総合政策1年後半。45名。
月曜日1講時。
- 「英語A①」：看護1年後半。37名。
月曜日2講時。
- 「英語A①」：看護1年前半。40名。
水曜日2講時。
- 「英語A①」：保健福祉1年+音楽1年+口腔保健。37名。
水曜日4講時。
- 「英語A①」：総合政策1年前半。37名。
木曜日2講時。
- 「英語A①」：建築1年。34名。
水曜日1講時。
- 「語学センター・英語ステップアップ講座」・1回 3人。

〔全コマ数〕 前期 10コマ + 後期 9コマ = 合計 19コマ

<p>授業以外での指導状況</p>	<p>就職面接の指導、履歴書の書き方アドバイス、面接で英語が必要になる際の、短いやり取りの発音チェック。 本学大学院入学試験（英語）のための個人指導（在學生や卒業生）。 英語プレゼンテーションコンテスト参加学生（言語コミュニケーション学科2年生）の英語ならびにスライド作成の指導。</p>
<p>論文等指導</p>	<p>教員採用試験の英語試験に関して、児童学科学生を個人指導。</p>
<p>学生指導</p>	<p>単位不足の学生のための特別指導：英語関連科目に関して。 また、英語に限らず、ひろく文章表現に関しての指導。</p> <p>英語検定試験（面接試験）・TOEICなどの直前特別指導。</p> <p>オープンキャンパスでの学生による本学短期大学部言語コミュニケーション学科案内の企画：スライド作成・発表の指導・模擬授業実演・学生指導 特に、言語コミュニケーション学科学生による、大学全体の紹介に関するプレゼンにおいて、スライドの内容検討と学生のトレーニングを行う。</p> <p>1年生に関し、就職ガイダンスでの指導や講演に対する協力。</p>
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>〔学会活動〕 日本ビジネス実務学会・常任理事（令和5年6月まで。） 日本ビジネス実務学会・理事（令和5年6月から。）</p> <p>毎年6月の全国大会での理事会（全国大会開催地・今回は大手前学園）、 12月の理事会（主に東京・大妻女子大学を会場とするが今回はZoom遠隔）、 3月の理事会（主に東京・大妻女子大学を会場とするが今回はZoom遠隔）に出席。</p> <p>日本ビジネス実務学会・広報委員長（令和5年6月まで。） 日本ビジネス実務学会・広報委員（令和5年6月から。）</p> <p>日本ビジネス実務学会・中国四国ブロックリーダー（令和5年6月まで。） 日本ビジネス実務学会・中国四国ブロック委員（令和5年6月から。）</p> <p>第40回日本ビジネス実務学会・中国四国ブロック研究会 （令和5年8月26日〔土〕・27日〔日〕於：四国大学・対面式）において、中国四国ブロック前リーダーとして企画・運営・総会・会計報告とりまとめ・司会を担当する。 また、それに関するリハーサル。事前Zoom会議招集・参加。 併設する第18回学生プレゼンテーションコンテストに本学学生（言語コミュニケーション学科2年生1名）を出場させ、そのための事前練習を行う。</p> <p>日本ビジネス実務学会・第43回全国大会〔於・安田女子大学〕・大会実行委員（総合コーディネーター）として令和5年に5回ほどZoom会議参加。令和6年2月から3月にかけて5回ほどZoom会議参加。3月17日〔日〕に安田女子大学での対面会議に出席。</p> <p>〔審査委員関連〕 審査委員候補者 独立行政法人・日本学術振興会・審査委員候補者（令和6年3月に継続更新）</p> <p>日本ビジネス実務学会の編集委員会からの要請で、論集『ビジネス実務論集』の英語タイトルの校正。今年は11件。</p>

<p>学外活動</p>	<p>日本比較文化学会の編集委員会からの要請で、論集『比較文化研究』の論文審査。今年は2件。</p> <p>[外部団体からの要請] 第40回全国商業高等学校・英語スピーチコンテスト徳島県予選・審査員ならびに指導助言（英語スピーチ）</p> <p>TOEIC（TOEIC協会による）学内開催における監督・準備 令和5年8月5日〔土〕 令和6年2月13日〔火〕</p> <p>徳島県生涯学習情報システム 指導員（指導者番号1919） （徳島県立総合教育センター・生涯学習課） フィンランドの教育・ジョン万次郎の英語など （平成22年より継続）</p> <p>[高等学校への出張講義] 令和5年6月26日〔月〕に徳島商業高等学校に出張 授業時間は2コマ。タイトルは「No. 140 英語の発音クリニック」</p> <p>[企業への英語研修の講師] 令和6年1月31日〔水〕に徳島県立あすたむらんどに出張 授業時間は90分。タイトルは「館内案内英語の短いフレーズと発音の練習」</p>
<p>学内活動</p>	<p>[学内委員会・短大] 短期大学部言語コミュニケーション学科・学科長</p> <p>短大教務委員、短大総合型選抜入試運営委員、短大認証評価ワーキンググループ</p> <p>[学内委員会・全学に関わるもの] 入試出題者。四年生大学ならびに短期大学部。</p> <p>語学センター雑務</p> <p>[行事企画・広報] 面接：指定校推薦・総合選抜入試など。</p> <p>大学訪問での高校生へのミニ講義（徳島キャンパスにおいて）。数回ほど。 オープンキャンパスでのライブ配信。数回ほど。</p> <p>オープンキャンパスでの学科紹介・模擬授業 短大キャンパスライフ体験会（入学が決定している高校生に授業）</p> <p>短大フェスタ（令和5年10月21日〔土〕）学科の企画と参加。</p> <p>不登校の状態にある学生と、その両親との相談について、学科長として担任をサポート。</p> <p>海外語学研修が困難な学生に対する、SDGs オンライン海外研修の紹介。</p> <p>合理的配慮の必要な学生に対するケアならびに各担当教員への連絡と学生・保護者への連絡。令和5年度は学科内で1年生と2年生各1名ずつ。</p>

氏 名	早 雲 洋 一 (はやくも よういち)			
所属・職の種類	短期大学部 言語コミュニケーション学科 教授			
最終学歴	鳴門教育大学大学院学校教育研究科学校教育専攻修士課程修了 (教育学修士)			
着任の年月	平成21年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立城東高等学校長			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] [発表]				
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	[短大関係] ①前期担当授業科目名等 「英語A①」(短大1・2年 16名 水曜日1講時) ②後期担当授業科目名等 「英語A②」(短大1・2年 17名 水曜日1講時) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> [全コマ数] $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (1) コマ} \\ \text{後期 (1) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (2) コマ </div>			
論文等指導	なし			
学生指導	英語学力不足の学生への特別指導			
活 動				
学外活動	[公的機関の活動] ・徳島県租税教育推進協議会 委員 (租税教育の推進及び充実のための環境整備を行う)			

<p>学外活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県安全で安心なまちづくり推進協議会 委員 （「徳島県安全で安心なまちづくり条例」に基づき関係団体等が連携協力） ・徳島県交通安全対策協議会 委員 （本県交通安全対策推進に理解・協力を得るための行動計画の策定） ・徳島県自転車安全利用促進協議会 （県内における自転車ヘルメット着用促進運動の展開） ・徳島県公私協議会 幹事 （徳島県内高校教育の充実及び振興について協議） ・徳島県私立中学高等学校連合会 事務局長 （年間活動計画作成等、私学振興全国大会等への参加） ・徳島県私立中学高等学校保護者会 事務局長 （保護者会の振興を図ると共に四国、全国の保護者会に参加）
<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動・高校訪問 （広報担当者会議、徳島県・香川県進学説明会、ブロック別進学説明会参加） ・全学入試委員会 委員（本学の入試全般について協議） ・SD委員会 委員（教育研究活動等の適切かつ効果的な運営・実施） ・定例部局長会、合同教授会、短大教授会 ・教員養成対策委員会 委員（教職希望学生の採用試験対策の実施） ・保護者会・後援会 ・理事会・評議員会 ・教員選考委員会 委員 ・130周年特待生選考委員会 委員 ・アカンサス会 監査（同窓会の監査業務） ・アカンサス会奨学金審査委員会 委員（アカンサス会による奨学金授与の審査）

論文等指導	なし
学生指導	随 時
活 動	
学外活動	<p>〔学会活動関係〕 高知県人会顧問</p> <p>〔公的機関の活動〕 県ジビエ処理加工施設配置・整備計画検討会委員</p> <p>〔その他の活動〕 徳島県内高校巡回 海部高校 ほぼ月1回 県内ブロック進学説明会 1カ所 県内進学説明会 1カ所 保護者会役員会・各地支部会の実施 1カ所</p>
学内活動	<p>○総務部長として次の3課業務の総括。 総務課、施設用度課、学部事務課。</p> <p>○部局長会議主催 毎月 ○合同教授会主催 毎月 ○短大教授会 毎月 ○全学入試委員会委員 3回 ○広報担当者会議 3回 ○倫理審査委員会事務局・委員 提出論文を随時審査 ○危機管理対策本部 本部員 新型コロナ感染防止対策 ○災害対策防止委員会委員長・自衛消防隊隊長 ○ハラスメント防止対策委員会事務局 研修会、ハラスメント事案に対応 ○教員養成対策委員会委員 ○高知県人会顧問 ○アカンサス会参与 ○奨学生審査委員会委員 ○教員選考委員会委員 1回 ○自己点検評価委員会委員 4回 ○国際交流委員会委員 2回 ○SD委員会委員（事務局） 研修会の実施 ○衛生委員会委員 毎月 ○入試本部業務 全ての入試について ○定員確保のための学科別ヒアリング会議 ○部局長懇談会 数回</p>

授 業	<p>〔その他の指導状況〕</p> <p>「公務員試験対策講座A」(「文章理解」担当)</p> <p>「公務員試験対策講座B」(「文学史」担当)</p> <p>「教員養成対策講座」(「文章理解」担当)</p> <p>「全学共通教育センターオフィスアワー」(「文章理解」等担当)</p>
論文等指導	なし
学生指導	<ul style="list-style-type: none"> ・言語コミュニケーション学科2年生担任 面接、履修指導、個人相談への特別指導。 ・言語コミュニケーション学科1年生チューター 就職指導。 ・ホテル研修引率(6月21日 ホテルサンルート徳島) ・空港研修引率(7月19日 徳島阿波おどり空港 日本航空) (12月9日 関西国際空港 CKTS)
活 動	
学外活動	該当なし
学内活動	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト委員 ・クラブ顧問 空手道同好会 活動に関わる事務処理。及び、学外ボランティアの際の指導。 ・オープンキャンパス オープンキャンパス実施に際しての、短大全体会の準備等。 模擬・体験授業の担当。

<p>学生指導</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別進路相談………担当する学科（人間生活学科、児童学科、食物栄養学科、音楽学科、保育科、言語コミュニケーション学科、食物専攻、音楽科）の学生から就職に関する相談を随時受け付け、年間で延べ約1000回の相談回数となった。さらに、採用面接対策としては、模擬面接の形での練習も含め、個別指導を繰り返し実施した。 2. 学科別説明会………年間に各学科5回にわたって、時期に応じた就職活動のポイントについて説明会を行った。 3. インターンシップ……公的機関（法務省・徳島県庁・徳島県警・徳島市役所・阿南市役所など）のインターンシップについて実施の取りまとめを担当した。 4. 教職セミナー………全学共通教育センターで実施する、教職セミナーの講師を担当した。（面接講座・論作文指導など） 5. 学生ボランティア……小松島市内の小中学校で行われている、学生ボランティア活動の取りまとめを担当した。
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>〔公的機関の活動〕</p> <p>①令和5年度小松島市教育委員会点検・評価委員 （令和4年度対象の教育委員会点検・評価報告書作成の助言など、年間2回）</p> <p>〔各種講演〕</p> <p>①8月8日 県シルバー大学校「ことばと生活」（於・美馬市地域交流センター） ②8月28日 〃 〃 （於・上板町老人福祉センター） ③9月6日 〃 〃 （於・阿南ひまわり会館） ④1月23日 〃 〃 （於・小松島市総合福祉センター） ⑤2月16日 〃 〃 （於・徳島県青少年センター）</p> <p>〔その他の活動〕</p> <p>①小松島市教育委員会・小松島市内の小中学校を訪問し、学生ボランティアについての打ち合わせ等を適宜実施。</p>
<p>学内活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①令和5年度 ハラスメント防止委員（ハラ防止等に関する規定に基づき、本委員会を組織し、目的達成のために活動している。） ②令和5年度 全学共通教育センターの学習支援アドバイザー（種々の講座において論作文指導・面接指導などを担当し、学生の支援をした。） ③インターンシップ推進委員会の事務局担当（今年度は、徳島キャンパスで開催予定だったため、実施計画・運営等の変更に伴う対応に取り組んだ。） ④就職セミナーでの運営（年間を通して開催される、就職セミナーの進行・司会を担当した。） ⑤令和5年度入試問題点検委員を担当した。

氏 名	金澤 朋紀 (かなざわ ともり)			
所属・職の種類	短期大学部言語コミュニケーション学科 講 師			
最終学歴	同志社大学大学院文学研究科英文学・英語学専攻博士課程(前期課程)修了 (修士(英文学))			
着任の年月	令和4年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	なし			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 〔論文〕 1. John Keats and Apollo's Lyre	単	令和2年1月	同志社大学	本論文は、John Keatsの詩作品に見られる詩神アポロと詩の象徴でもある豎琴の表象の分析を通じて、詩人の詩想の成熟過程を考察し、その詩作品の本質を論じることを試みた。Keatsが最終的に、人間が経験する受難あるいは死という点に、人間性の本質的な価値を見出していることを指摘し、その際、不死なる存在であるアポロとその豎琴とを、人間の有限な肉体に置き換えることにより、Keatsが独自の詩論を展開しようとしたことを明らかにした。
2. 「意識の黄昏の領域」—コウルリッジの会話詩の黎明	単	令和3年3月	同志社大学英文学会 core49号	本論文はSamuel Taylor Coleridge (1772-1834) の「ナイチンゲール—会話詩」を、会話詩という彼独特のジャンル規範の枠組みから検討し、その革新性を指摘した。詩的言語の起源としての音楽性と共同体における社会性に着目することで、当時権威的であった言語神授説へのColeridgeの反応とその文学史的意義を考察した。さらに命名の問題と、意識と無意識の境界の問題という、Coleridgeの詩論の核心にある言語哲学観の一端が、作品の中で展開されていることを明らかにした。
〔発表〕 1. S. T. コウルリッジの『クリスタベル』における境界		令和3年10月	同志社大学英文学会 2021年度年次大会	本発表はSamuel Taylor Coleridge (1772-1834) の『クリスタベル』について、“threshold”という語を起点として、作品における境界という

2. 老水夫に架かる虹—コウルリッジの「老水夫行」における海蛇		令和4年10月	日本英文学会中国四国支部 第74回大会	<p>概念に注目し、詩的表現と心理学的洞察の観点からその意義を論じた。同時代の文学作品における城が、人間の精神のアレゴリーとして機能する伝統を踏まえつつ、城門の敷居を越えた先にある城の内部が、人間の深層心理を描出していることを明らかにした。さらに作品中に現れるフクロウの鳴き声に注目し、その詩的表現のうちに、形而上学的意味を読み込むことができる可能性を指摘し、作品の重層的な構造とその新たな解釈を提示した。</p> <p>Samuel Taylor Coleridgeのバラッド「老水夫行」(“The Rime of the Ancyent Marinere”)において、アホウドリ殺しによって呪われた老水夫は、海蛇を祝福することにより、その呪いから解放される。救済の契機となった海蛇は、本作品における中心的なシンボルである。この海蛇について、コウルリッジが渉獵した文献との関連がこれまでに研究されてきた。本発表は、旧約聖書の創世記における虹に着目し、「老水夫行」の海蛇の新たな解釈を指摘することで、作品における虹の聖書的表象を検討することにある。</p>
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>〔学部関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名等</p> <p>「実践英語Ⅰ」(総合政策3年他 24名 木曜日1講時)</p> <p>「英語A①」(心理1年Aクラス 39名 月曜日2講時)</p> <p>「英語A①」(心理1年Bクラス 35名 月曜日1講時)</p> <p>「英語A①」(理学療法1年Aクラス 40名 木曜日3講時)</p> <p>「英語A①」(理学療法1年Bクラス 37名 月曜日3講時)</p> <p>「英語A①」(人間生活1年、メディア1年他 56名 水曜日1講時)</p>			

氏 名	リチャード ジャスティン デッカー			
所属・職の種類	短期大学部 言語コミュニケーション学科 講師			
最終学歴	文学士 言語学			
着任の年月	2022年 9 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立小松島高等学校			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] [発表]				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>前期</p> 「英語 B①」 (建築 2 年。38 名。 火曜日 2 講時) 「英語 A①」 (食物 1 年。23 名 水曜日 1 講時) 「英語 A①」 (食物 1 年。24 名 木曜日 1 講時) 「英語 B①」 (児童 2 年。26 名 木曜日 2 講時) 「英語 B①」 (児童 2 年。24 名 木曜日 3 講時) 「英語 B①」 (メディア 2 年。 金曜日 2 講時) 「英会話 (OC) I」 (言語、児童 1 年。 金曜日 4 講時) <p>後期</p> 「英会話 (OC) II」 (言語 1 年。3 名。 火曜日 1 講時) 「英語 B②」 (建築 2 年。24 名。 水曜日 1 講時) 「英語 A②」 (食物 1 年。20 名。 水曜日 3 講時) 「英語 A②」 (食物 1 年。21 名。 水曜日 4 講時) 「英語 B②」 (人メディア 2 年。21 名。 木曜日 2 講時) 「英語 B②」 (児童 2 年。23 名。 金曜日 3 講時) 「英語 B②」 (児童 2 年。23 名。 金曜日 4 講時)			
論文等指導	なし			
学生指導	随時指導			

活 動	
学外活動	徳島文理大学附属幼稚園 (前期・月曜日1講時。週1回) (後期・月曜日1講時。週1回)
学内活動	オープンキャンパス 模擬授業担当

氏名	熊谷 公博 (くまたに きみひろ)			
所属・職の種類	短期大学部音楽科 教授 (音楽学部声楽主任)			
最終学歴	イタリア国立ブレーシャ音楽大学オペラ科 (学位)			
着任の年月	平成4年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学音楽学部非常勤講師			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
		令和元年8月	高知市	アカンサス会高知支部主催による熊谷公博バリトンコンサート出演。
		同年11月、12月	村崎サイメモリアルホール・むらさきホール	第62回徳島文理大学定期演奏会における合唱指導。
		令和2年1月	杜のホスピタル 倉敷市公民館	熊谷公博バリトンコンサート出演。 Ami des Beaux-artsにおいて、バリトン独唱で出演。
		同年10月	志度音楽ホール	熊谷公博バリトン演奏会
		同年11月	文理小学校	徳島文理小学校徳島文理大学音楽学部連携教授陣招聘特別コンサートに出演。 G・マリオッティ学部長と共演。
		令和3年12月	志度、テアトロン野外ホール	さぬき市役所Uターン政策課と、ニューマーク社(さぬき市)による、さぬき市UターンPRMv「帰っておいでよさぬき市へ!」を演奏。 YouTubeに登録。
		令和4年12月	香川・聖母幼稚園	クリスマスコンサート出演
		令和5年2月	むらさきホール	声楽コースによるオペラ「フィガロの結婚」抜粋の指導、出演
		同年3月	ボストンホール	生涯学習講座ミニコンサート指導、出演
		同年3月	愛媛県	楠野麻衣ソプラノコンサートにおいて、ピアノ伴奏で出演。

論文等指導	短大2年・学部4年・専攻科の声楽卒業試験（卒業演奏）にむけての指導。
学生指導	4年生、チューターとしての面接。 単位不足や個人相談への特別指導、就職に対する助言・指導や個別面接の訓練。
活 動	
学外活動	(公財)さぬき市文化振興財団 評議員 香川音楽コンクール審査員 香川ジュニア音楽コンクール審査員 高松ピアノコンクール音楽委員 KAWAIコンクール声楽部門審査員
学内活動	広報委員として、沖縄・福岡・香川・徳島の学校訪問を担当。沖縄・香川・徳島の保護者会に参加。 *2020~2023年度、沖縄関係は無し。 音楽学部カリキュラム委員 徳島音楽コンクール審査員 (声楽部門)

氏 名	原 井 俊 典 (はらい としのり)			
所属・職の種類	短期大学部 音楽科 教授			
最終学歴	兵庫教育大学大学院 (教育学修士)			
着任の年月	平成7年6月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学音楽学部非常勤講師			
研 究 (業績：過去5年間)				
その他の研究活動	形態	発表の年月	発表会場	概 要
[音楽制作・演奏] 「クリスマスPops コンサート」編曲 およびプログラミング	単	2023年12月18日	徳島文理大学2号館 1階アクティブラウ ンジ	ポップス曲の編曲、およびパソコン のプログラミングによる演奏。
「クリスマスPops コンサート」編曲 およびプログラミング	単	2022年12月12日	徳島文理大学2号館 1階アクティブラウ ンジ	ポップス曲の編曲、およびパソコン のプログラミングによる演奏。
コンサート「Power of Music 2022」 編曲およびプログ ラミング	単	2022年2月9日	徳島文理大学ボスト ンホール	ポップス曲の編曲、およびパソコン のプログラミングを行い、学生が演 奏。
ポップスとイルミ ネーションの楽し い夜を。「クリ スマス・ミニコン サート」	合奏	2020年12月17日	徳島文理大学2号館 1階アクティブラウ ンジ	クリスマスソング2曲の編曲、演 奏。
教 育				
授 業	[短大関係] ①前期担当授業科目名 ・「事前・事後指導」※クォーター科目・1部集中講義 (短大音楽科2年2名。火曜日3講時・金曜日3講時および集中講義。) ・「実技A レッスン」 (短大音楽科2年1名。木曜日3講時。) ②後期担当授業科目名 ・「実技A レッスン」 (短大音楽科2年1名、合計3名。火曜日5講時、水曜日4・5講時)			

<p>授 業</p>	<p>〔学部関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽通論」 (音楽学部1年7名。木曜日2講時。) ・「コンピュータ音楽概論A」 (音楽学部1年1名、3年2名、4年1名。合計4名。集中講義。) ・「実技A レッスン」 (音楽学部1年1名、2年3名、3年3名、4年3名。合計10名。火曜日5講時、水曜日2～5講時、木曜日5講時。) ・「実技B レッスン」 (音楽学部3年1名。火曜日5講時。) ・「実技C レッスン」 (音楽学部3年1名。水曜日5講時。) ・「合奏」 (音楽学部1年～4年。7名。木曜日4講時・金曜日4講時。) ・「事前事後指導」※クォーター科目・1部集中講義 (音楽学部4年7名。火曜日3講時・金曜日3講時および集中講義) <p>②後期担当授業科目名等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コンピュータ音楽概論B」 (音楽学部1年1名、3年1名。合計2名。集中講義。) ・「合奏」 (音楽学部1年～4年。8名。木曜日4講時・金曜日4講時。) ・「実技A レッスン」 (音楽学部1年1名、2年3名、3年3名、4年3名。合計10名。月曜日4講時、火曜日5講時、水曜日2～5講時、木曜日5講時。) ・「実技B レッスン」 (音楽学部2年1名、3年1名。合計2名。月曜日3講時、火曜日5講時。) ・「実技C レッスン」 (音楽学部3年1名。月曜日4講時。) <p>〔専攻科・研究生関係〕</p> <p>なし。</p> $\left[\text{全コマ数} \right] \left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (11) コマ} \\ \text{後期 (10) コマ} \end{array} \right\} \text{計 (21) コマ}$ <p>〔その他の指導状況〕</p> <p>*特別レッスン コンクールやコンサートに出場する学生に対し、本番前の2ヶ月間、週2～3コマの割合で授業以外の特別レッスンを実施。</p>
<p>卒業研究指導</p>	<p>令和5年度卒業生について、以下4名の卒業研究指導を行った。</p> <p>〔音楽学部音楽学科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル「Ready to」(音楽制作) ・タイトル「光」(音楽制作) ・タイトル「颯風～シンセサイザーと打楽器のための～」(音楽制作) <p>〔短期大学部音楽科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル「バスストップ」(音楽制作)

<p>学生指導</p>	<p>*チューターとしての指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就職に関する指導」 就職活動の心構えや取り組み方についてコースのホームルームを実施。またエントリーシートや履歴書の書き方指導、面接指導等を個別に実施した。 ・「個人相談」 悩みを抱えている学生について、個別に面談実施した。 ・「教育実習についての指導」 心構えや実習時の注意点などを個別に指導した。 <p>*教務委員としての指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「単位不足の学生に対する履修指導」
<p>活 動</p>	
<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 第15回徳島音楽コンクール／実行委員会事務局長 * 第15回徳島音楽コンクール／電子楽器部門審査委員長 * 音楽学部ホームページ委員・短期大学部ホームページ委員 * 全学研究倫理委員会 * 全学教務委員会委員 * 徳島文理大学附設音楽教室講師（電子オルガン） 小学生指導。

氏 名	石 井 恭 二 (い し い き ょ う じ)			
所属・職の種類	短期大学部音楽科 准教授			
最終学歴	武蔵野音楽大学器楽学科管楽器 (ホルン) 専攻 (芸術学士)			
着任の年月	平成24年 4 月 1 日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立城東高等学校教諭			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] [発表]				な し
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>[学部関係]</p> <p>①前期担当授業科目名等</p> <p>「音楽科教育法Ⅰ」 (音楽 2・3 年。9 名。火曜日 2 講時)</p> <p>「音楽科教育法Ⅲ」 (音楽 3 年。4 名。木曜日 2 講時)</p> <p>「指揮法」 (音楽 2・3・4 年。12 名。集中講義)</p> <p>「合奏 A・C・E・G」 (音楽 1～4 年・専攻科。22 名。木曜日 4 講時)</p> <p>「合奏 A・C・E・G」 (音楽 1～4 年・専攻科。22 名。金曜日 4・5 講時)</p> <p>「ソルフェージュ 1」 (音楽 1～3 年。21 名。月曜日 2 講時)</p> <p>「音楽 A」 (人間生活・食物・建築・メディア・口腔 1・4 年。55 名。木曜日 3 講時)</p> <p>②後期担当授業科目名等</p> <p>「音楽科教育法Ⅱ」 (音楽 2・3 年。7 名。水曜日 4 講時)</p> <p>「音楽科教育法Ⅳ」 (音楽 3 年。4 名。集中講義)</p> <p>「合奏 B・D・F・H」 (音楽 1～4 年・専攻科。22 名。木曜日 4・5 講時)</p> <p>「合奏 B・D・F・H」 (音楽 1～4 年・専攻科。22 名。金曜日 4 講時)</p> <p>「ソルフェージュ 2」 (音楽 1～3 年。27 名。月曜日 2 講時)</p> <p>「音楽 A」 (看護・薬学・総政 1～4 年。33 名。水曜日 1 講時)</p> <p>[短大関係]</p> <p>①前期担当授業科目名</p> <p>「指揮法」 (短音 2 年。3 名。集中講義)</p> <p>「合奏 A・C」 (短音 2 年。3 名。木曜日 4 講時)</p> <p>「合奏 A・C」 (短音 2 年。3 名。金曜日 4・5 講時)</p>			

授 業	<p>「ソルフェージュ 1」 (短音 2 年。 1 名。 月曜日 2 講時) 「ホルン実技レッスン」 (短音 2 年。 1 名。 火曜日 3 講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「合奏 B・D」 (短音 2 年。 3 名。 木曜日 4・5 講時) 「合奏 B・D」 (短音 2 年。 3 名。 金曜日 4 講時) 「ソルフェージュ 2」 (短音 2 年。 1 名。 月曜日 2 講時) 「ホルン実技レッスン」 (短音 2 年。 1 名。 水曜日 2 講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (8) コマ} \\ \text{後期 (8) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (16) コマ</p>
論文等指導	な し
学生指導	<ul style="list-style-type: none"> ・チューターとしての面接 オフィスアワーや空き時間を使って、音楽学部・短大音楽科の管弦打楽器専攻生の面接を実施。(学習・実技練習・進路等について) ・教育実習生評価授業見学及び指導 北島中学校：6月15日(木) 土成中学校：6月20日(火) ・管楽器クリスマスコンサート出演学生指導：12月14日(木) ・定期演奏会出演学生指導：2月10日(土)
活 動	
学外活動	<p>〔その他の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回徳島音楽コンクール金管楽器部門・打楽器部門審査員 徳島文理大学：10月7日(土) ・第15回徳島音楽フェスティバル金賞受賞コンサート審査員 徳島文理大学：11月4日(土)
学内活動	<ul style="list-style-type: none"> ・文理大学ウィンドオーケストラでの演奏 定期演奏会：10月22日(日) 文理幼稚園・小学校コンサート：2月22日(木) ・文理大学定期演奏会での演奏 徳島キャンパス：2月11日(日) ・文理大学OBオーケストラでの演奏：3月10日(日) ・音楽教室ホルン社会人レッスン：4月7日(金)、4月20日(木)、5月12日(金)、 5月26日(金)、6月9日(金)、6月20日(火)、7月11日(火)、7月25日(火)、 8月23日(水)、8月29日(火)、9月15日(金)、9月20日(水)、11月15日(水)、 11月30日(木)、12月7日(水)、12月20日(水)、1月11日(木)、1月26日(金)、 2月19日(月)、2月28日(水)

氏 名	井 村 幸 子 (いむら さちこ)
所属・職の種類	短期大学部 音楽科 准教授
最終学歴	アメリカ シェナンドー大学音楽院 音楽療法修士課程 (Master of Music Therapy) 修了
着任の年月	2004 (平成16) 年 4 月 1 日
直前の職歴 (学校・企業等)	なし
教 育	
授 業	<p>[学部]</p> <p>①前期担当授業科目名</p> <p>「音楽療法実習ⅡA」月曜日 4、5 講時 音楽学部 3 年生 2 名 「音楽療法総合演習ⅡA」火曜日 2 講時 音楽学部 4 年生 1 名 「音楽療法概論Ⅰ」火曜日 5 講時 音楽学部 1 年生 2 名、3 年生 1 名 「音楽療法論臨床Ⅲ」水曜日 2 講時 音楽学部 3 年生 2 名 「音楽療法実習Ⅲ」木曜日 1、2 講時 音楽学部 4 年生 1 名 「文理学」木曜日 4 講時 音楽学部 1 年生 7 名 「音楽療法実習指導」金曜日 3 講時 音楽学部 3 年生 2 名 「(療法) 実技AⅠギター」金曜日 4 講時 音楽学部 1 年生 2 名 「音楽療法論臨床Ⅱ」集中講義 音楽学部13名</p> <p>②後期担当授業科目名</p> <p>「音楽療法総合演習ⅡB」月曜日 2 講時 音楽学部 4 年生 1 名 「音楽療法実習ⅡB」月曜日 4、5 講時 音楽学部 3 年生 2 名 「音楽療法論臨床Ⅳ」火曜日 2 講時 音楽学部 3 年生 2 名 「音楽療法実習指導」水曜日 2 講時 音楽学部 3 年生 2 名 「音楽療法実習Ⅲ」木曜日 1、2 講時 音楽学部 4 年生 1 名 「(療法) 実技AⅡギター」金曜日 4 講時 音楽学部 1 年生 2 名、2 年生 2 名 「文理学」金曜日 5 講時 音楽学部 1 年生 7 名</p> <p>[専攻科]</p> <p>①前期担当授業科目名</p> <p>「音楽療法インターンシップ」水曜日 3、4 講時、金曜日 2 講時</p> <p>②後期担当授業科目名</p> <p>「音楽療法インターンシップ」水曜日 3、4 講時 「修了プレゼンテーション」金曜日 2 講時</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (14) コマ} \\ \text{後期 (12) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (26) コマ</p>
論文等指導	修了プレゼンテーション 1 名、卒業プレゼンテーション 1 名
学生指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学部および短大、専攻科音楽療法コース10名をチューターとして支援。 ・音楽学部 1 年生の担任。 ・音楽療法コース学生コミュニティ TBUMTC Call & Responseを支援。 ・入学前教育 1 名。 ・外国人編入生のサポート。

活 動	
学外活動	<p>講演会（演奏会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度とくしま共生アートプロジェクト推進事業「障がい者アート活動支援のためのワークショップ：集まれ！みんなで音楽を楽しもう！！」徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターと共催（7月29日） ・上板町 STOP フレイル with 徳島文理大学「STOP フレイル！ START ミュージック！ in 上板」（9月17日） ・阿波市社会福祉協議会主催、阿波市老人クラブ連合会役員研修会「音楽を活用したフレイル・介護予防」（12月17日） ・四国中央医療福祉総合学院言語聴覚学科対象のオンライン講演会「音声障害における音楽療法の可能性」（1月6日） ・令和5年度とくしま共生アートプロジェクト推進事業「第2回みんなのはっぴょうかい」（2月22日） <p>アカンサス会同窓会本部幹事、創立130周年ホームカミング実行委員</p> <p>アカンサス会徳島県支部副支部長</p>
学内活動	<p>入試・広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽学部入試委員長 ・オープンキャンパスにおいて、入試説明会、音楽学部・短大音楽科音楽療法入門講座（全回）を実施 ・ライブ配信模擬授業担当（5月20日） ・大学案内撮影、執筆 ・那賀高校大学訪問ミニ講座（11月17日） ・入試広報部 TikTok 出演 ・SNS（Instagramとfacebook）とYouTubeでのコースの広報 <p>音楽専攻科器楽専攻音楽療法コース修了プレゼンテーション（1月25日）</p> <p>音楽学部および短期大学部音楽科音楽療法コース卒業プレゼンテーション（2月9、13日）</p> <p>音楽療法士就職フォーラム 卒業生鈴木芽衣氏（医療法人恕泉会 介護老人保健施設ピアハウス高知 リハビリテーション科音楽療法士）を招き、音楽療法コース学生を対象としたフォーラムを開催（1月20日）</p> <p>ローバッカー博士による「音楽療法論臨床Ⅱ」集中講義 在学生、卒業生、高校生を対象に集中講義を実施（8月1～4日）</p> <p>全国音楽療法士養成協議会 令和5年度全国音楽療法士養成協議会総会（7月3日） 第2種特例作業部会（10月4日、11月10日、2月26日）</p> <p>音楽療法士資格申請 全国音楽療法士養成協議会への資格申請点検。学生が資格申請をおこなうための書類の「個人実習表」作成を指導し、施設を訪問、押印を要請（2月）</p> <p>各種委員会委員など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽学部広報委員（学生募集対策室）、人権教育推進委員、インターンシップ推進委員、「徳島音楽コンクール」実行委員会事務局、各種演奏会受付

氏 名	則 包 光 徳 (のりかね みつのり)			
所属・職の種類	短期大学部 商科 教 授 (学科長)			
最終学歴	中央大学法学部法律学科 (法学士)			
着任の年月	平成24年 4 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	株式会社百十四銀行より 財団法人香川経済研究所へ出向			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] [発表]				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>[大学院関係]</p> <p>[専攻科関係]</p> <p>[学部関係]</p> <p>①前期担当授業科目名等 「総合政策特別演習Ⅱ」 (総合政策 3 年 42名 金曜日 4 講時)</p> <p>②後期担当授業科目名等 「情報処理」 (音楽学部 1 年 9 名 水曜日 3 講時)</p> <p>[短大関係]</p> <p>①前期担当授業科目名 「総合科目D (FP技能士養成講座)」 (商科 1 年 3 名、商科 2 年 16名 月曜日 1 講時)</p> <p>「マーケティング」 (商科 2 年生 23名 月曜日 3 講時)</p> <p>「情報リテラシー」 (保育 2 年生 14名 木曜日 1 講時)</p> <p>「商品学」 (商科 2 年生 21名 木曜日 3 講時)</p> <p>「情報リテラシー」 (生活科学科食物専攻 1 年生 7 名、商科 1 年生 21名 言語コミュニケーション学科 1 年生 3 名、2 年生 2 名 生活科学科生活科学専攻 2 年生 1 名 金曜日 2 講時)</p> <p>②後期担当授業科目名 「経営学Ⅱ」 (商科 2 年 10名 月曜日 1 講時)</p>			

授 業	<p>「経営学Ⅰ」 (商科1年 20名、2年 1名 月曜日4講時)</p> <p>「情報機器演習」 (言語コミュニケーション学科1年 3名、商科2年 12名 火曜日2講時)</p> <p>「中小企業経営論」 (商科1年 16名 水曜日2講時)</p> <p>「情報リテラシー」 (生活科学科生活科学専攻1年 15名 金曜日2講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">{ 前期 (5) コマ }</div> <div style="margin-bottom: 5px;">{ 後期 (5) コマ }</div> </div> <div style="margin: 0 10px;">} 計 (10) コマ</div> </div>
論文等指導	なし
学生指導	<p>オフィスアワーの曜日・時間をできるだけ制約せず、学生に対応した。</p> <p>商科1年生と2年生のチューターとして、学習指導、就活指導など個人面談を日常的に実施した。</p> <p>また、前期に総合政策学部3年生の就職活動に関連する講義（総合政策特別演習Ⅱ）を担当しているため、総合政策学部の学生から就職活動の指導を要請されることがあり、前期・後期を通じて授業外で履歴書やエントリーシートの書き方、面接対応などの指導を実施した。</p>
活 動	
学外活動	<p>〔学会活動関係〕 日本ビジネス実務学会会員</p> <p>〔公的機関の活動〕 徳島市入札監視委員会委員</p> <p>〔その他の活動〕 徳島進学説明会（5/10） 在学生および直近卒業生の近況と写真を添えた学科チラシに織り込み、県内高校の教員に配布。 徳島ブロック進学説明会（6/27） 商科のチラシを作成。在学生の状況や卒業生の進路先などを写真入りで紹介した資料を配布。 美馬ブロック進学説明会（6/28） 穴吹高校、つるぎ高校とも在学生や卒業生がいるため、学生の氏名や卒業後の進路などを紹介しながら、商科をアピールできた。 三好ブロック進学説明会（6/30） 参加高校が少ないため、池田高校、辻校、三好校の先生方とじっくり話すことができた。 城西高校神山校進路説明会（7/11） 事務、営業、販売などの仕事について、1年生5人に40分の授業を実施。チラシを配布して10分で商科を紹介。</p>
学内活動	<p>①広報活動 学科紹介のパンフレットを作成し、県内、県外（香川、高知、愛媛、和歌山、沖縄）の高校に配布。</p> <p>②学内の委員会 全学教務委員会委員 SD推進委員会委員 自己点検・評価委員会委員 大学入学共通テスト担当者</p>

氏 名	森 本 卓 治 (も り も と た く じ)			
所属・職の種類	短期大学部商科 教 授			
最終学歴	岡山大学法学部 (法 学 士)			
着任の年月	令和 4 年 4 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	株式会社百十四銀行より百十四ビジネスサービス株式会社へ出向			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発 行 所 、 発 表 雑 誌 等 又 は 発 表 学 会 等 の 名 称	概 要
[著書] [論文] [発表]				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>[短大関係]</p> <p>① 前期担当授業科目名 「くらしと法 (日本国憲法を含む)」 (生活科学科食物専攻 1 年 3 名、保育科 2 年 14 名、 商科 2 年 1 名、月曜日 4 講時) 「秘書学概論」 (商科 1 年 20 名、水曜日 4 講時) 「現代社会と法」 (商科 2 年 23 名、木曜日 1 講時) 「文理科学」 (商科 1 年 20 名、木曜日 4 講時) 「ビジネス実務総論」 (商科 2 年 14 名、金曜日 3 講時) 「総合科目 D (FP 技能士養成講座)」 (商科 1 年 3 名、商科 2 年 16 名、 月曜日 1 講時)</p> <p>② 後期担当授業科目名 「経済学 I」 (商科 1 年 21 名、2 年 3 名、 言語コミュニケーション学科 2 年 1 名、月曜日 2 講時) 「くらしと法 (日本国憲法を含む)」 「生活関連法」 (生活科学科生活科学専攻 1 年 14 名、 言語コミュニケーション学科 1 年 3 名、 商科 1 年 21 名、2 年 1 名、 人間生活学部 3 名、木曜日 3 講時) 「経済学 II」 (商科 2 年 22 名、 言語コミュニケーション学科 2 年 1 名、木曜日 3 講時)</p>			

授 業	<p>「金融論」 (商科1年 13名、商科2年 1名、金曜日1講時) 「財政学」 (商科2年 14名、金曜日4講時)</p> <p>[全コマ数] $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (6) コマ} \\ \text{後期 (5) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (11) コマ</p>
論文等指導	なし
学生指導	<p>[学生指導の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から学生との距離を近く保ち、学生とコミュニケーションを積極的に取ることを目指している。それによって学生の性格や嗜好、価値観等を知り、それを踏まえた上で、学生個々にあった指導を行うことを心掛けている。 ・オフィスアワーについては、できるだけ時間を限定せず、常に入りやすい研究室であることを心掛ける。 <p>[個人面談の実施]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年入学の商科2年生担任として、学習指導・就職活動指導・生活指導等を実施。 ・担任の学生については前後期複数回の個人面談を実施するとともに、個別に面談の希望申出のあった学生、及び都度指導が必要であると感じた学生に対しては随時面談を実施。 ・担任以外の学生についても、面談の希望がある学生については随時面談を実施。内容は担当科目についての指導、日常生活の悩みの相談、就職活動についてのアドバイスなど様々な内容。 <p>[保護者との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率低下・成績不振など、特に必要と考えられる学生については、保護者に対しても連絡を取り、連携して指導を行う。 ・保護者との連携は、問題が発生した初期の段階で行うよう心掛ける。 ・保護者会で面談した保護者に対しては、普段の学生生活について忌憚のない話を行い、また保護者の質問等にもきめ細かく対応することにより、指導方針などの理解を得るよう心掛ける。 <p>[就職指導]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己分析、業界分析、履歴書の書き方や面接練習等を実施。学生が面接を受ける際に、出来るだけ自分の言葉で話せるように心掛けて指導を行う。 ・出来る限り、企業面談時に学生個々が長所を発揮しやすいように指導する方針。
活 動	
学外活動	<p>[学会活動関係]</p> <p>日本ビジネス実務学会会員</p>
学内活動	<p>[学内の委員会、研究部会の委員]</p> <p>①短期大学部総合選抜入試運営委員</p> <p>②短大就職委員会</p> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパス 商科において学科紹介・体験授業等を実施

<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短大紹介冊子 冊子での商科のページを作成 ・チラシ作成 短大商科紹介用チラシを作成 ・PC検定開催 学内で実施したPC検定（5回分）について開催手続を実施 ・出張講座 高校で出張講座の講義を実施 令和5年度実績：2023年12月18日 「18才の法律知識」 （於・ノートルダム清心学園、清心女子高等学校）
-------------	--

氏 名	田 尾 公 生 (た お き み お)			
所属・職の種類	情報センター長 短期大学部商科 准教授			
最終学歴	専修大学経営学部経営学科 (経営学士)			
着任の年月	2017年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立小松島西高等学校 校長			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[論文]	共	2019年9月	徳島文理大学	【研究報告】高校生対象エシカル消費活動および活動実施が短期大学生に及ぼす教育的効果 坂井真奈美・松下純子・長尾久美子・田尾公生 共著
	共	2023年9月	徳島文理大学	【実践報告】短期大学部商科における簿記指導のあり方について—検定指導から会計学の学びへの考察— 田尾公生、川道映里、長濱太造 共著
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	[学部関係] ①前期担当授業科目名等 66名 (金曜日4講時) 「簿記Ⅰ」(総政53名：1年35名、2年2名、3年4名、4年12名。) 「ビジネス情報処理」(メディア13名：3年13名) ②後期担当授業科目名等 35名 (月曜日3講時) 「簿記Ⅱ」(総政35名：1年20名、2年4名、3年4名、4年7名。) [短大関係] ①前期担当授業科目名 第1クォーター「会計学」(商科2年14名。月曜日2講時、金曜日2講時) 第2クォーター「会計学演習」(商科2年13名。月曜日2講時、金曜日2講時)			

授 業	<p>②後期担当授業科目名 第3クォーター「原価計算」(商科2年13名。火曜日3講時、金曜日2講時) 第4クォーター「原価計算演習」(商科2年12名。火曜日3講時、金曜日2講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (3) コマ} \\ \text{後期 (3) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (6) コマ</p> <p>〔その他の指導状況〕 ①学力充実対策講座「日商簿記検定試験2・3級受験指導」 総合政策科6名毎金曜日4限目 総合政策科1名及び心理学科1名、毎月曜日4限目 ②教員採用審査を受講する学生を対象に模擬面接を行っている。</p>
論文等指導	なし
学生指導	就職未決定者に指導助言、県外企業に斡旋し合格、決定した。
活 動	
学外活動	<p>〔学会活動関係〕 ・日本商業教育学会会員 令和5年5月13日 日本商業教育学会四国部会並びに愛媛支部総会(徳島県支部長)</p> <p>〔その他の活動〕 I 高校訪問等の広報活動 ①ブロック別進学説明会 令和5年6月27日 徳島ブロック 各校校長及び進学課長、3年担任等と面談、本学の概要等を説明するとともに各校からの質問を受ける。 ②大学保護者会 令和5年8月19日 本学徳島キャンパス：情報センター長として参加 令和5年9月2日 北九州保護者会(担当)：司会進行 ③担当地区高校訪問(県内) 令和5年5月29日 徳島商業高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年5月31日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年6月11日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年6月11日 徳島商業高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年9月6日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年9月7日 徳島商業高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年9月14日 徳島商業高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年9月20日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年11月1日 徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年11月2日 徳島商業高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和5年11月29日 徳島商業/徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和6年1月25日 徳島商業/徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 令和6年2月22日 徳島商業/徳島中央高校：オープンキャンパス案内、奨学金説明 ※その都度、各出身校へ在学中生徒の状況報告を行う。</p>
学内活動	①部局長会 毎月1回、計12回 ②合同教授会 毎月1回、計12回 ③短期大学部教授会 毎月1回、計12回 ④自己点検・評価委員会 2回

<p>学内活動</p>	<p>⑤情報センター業務</p> <p>○徳島校</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 新任教員クラスルーム指導広報 (2) 情報システム更新 (3) 情報教育に係る文部科学省補助金事業申請・導入 (4) 情報センター利用案内（外部来校者） (5) 学生ポータルサイト新規導入計画・準備（徳島校・香川校） (6) Windows11への移行処理案内（徳島校・香川校） <p>○高松校</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高松校共用実験室協議会 1回 (2) 備品設置検討 (3) BYOD検討 (4) 志度・高松校、SINET切替時期等（費用を含め）検討
-------------	--

氏 名	生 駒 恵 子 (いこま けいこ)			
所属・職の種類	短期大学部商科 准教授			
最終学歴	近畿大学 法学部 (法学学士)			
着任の年月	2020年 4 月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学短期大学 非常勤講師			
研 究 (業績：過去 5 年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] 介護保険制度22年 財政逼迫と制度改 正に関する考察	単著	2023年 3 月	徳島文理大学研究紀 要第105号	介護保険制度施行後22年が過ぎた。 高齢者の増加で必要な制度として社 会に認知されてきたが、今や財政逼迫 が大きな課題である。国はこの間改 正を重ねて対応してきたが、理念と 目的から少しずつずれてきているの が否めない。今後どうあるべきか介 護費用の負担に重きを置いて考察し た。
[発表]				
科研費採択状況 (過去 2 年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去 2 年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去 2 年間)	該当なし			
その他の研究活動	補助教材テキスト著作「医療事務概論 保険診療のしくみと診療報酬請求業務」 2021 年 8 月発行			
教 育				
授 業	〔短大関係〕 ①前期担当授業科目名 商科 1 年 「医療事務概論」 (18名。第 1 Q 水曜日 2 講時、木曜日 1 講時) 「医療事務各論 1」 (18名。第 2 Q 水曜日 2 講時、木曜日 1 講時) 商科 2 年 「医事コンピューター実務」 (11名。第 1 Q 水曜日 4 講時、木曜日 2 講時) 「医学一般」 (11名。第 2 Q 水曜日 4 講時、木曜日 2 講時)			

<p>授 業</p>	<p>②後期担当授業科目名 商科1年 「医療事務各論2」 (20名。第3Q 水曜日3講時、木曜日1講時) 「医療秘書概論」 (21名。第4Q 水曜日3講時、木曜日1講時) 商科2年 「電子カルテ実務」 (11名。第3Q 水曜日2講時、木曜日2講時) 「介護保険事務概論」 (7名。第4Q 水曜日2講時、木曜日2講時)</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (4) コマ} \\ \text{後期 (4) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (8) コマ</p> <p>〔その他の指導状況〕 ①集中講義 (8月～9月 計3コマ) 「医療事務概論」 (25名。1コマ) 「医療事務各論」 (23名。1コマ) 「医療秘書概論」 (25名。1コマ)</p>
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>
<p>学生指導</p>	<p>商科1年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事務関連授業の基礎講座と位置付ける。 2. 1年間を第1Q～第4Qに分け、積み重ね方式で授業を進めることで学生の絶え間ない学習意欲を引き出すよう工夫する。 3. 小テストを頻回に行い理解度を把握し、個別指導につなげる。 4. グループワーク学習も取り入れ、コミュニケーションを図り活発な授業にしたい。 5. 実際の病院現場の状況、情報なども適宜紹介し、職業観を養いたい。 <p>商科2年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次の基礎講義を基に、病院の情報化システムの流れについて講義。医事コンピューター、電子カルテシステムの操作、入力実技を習得し、病院現場の医療事務の実際を理解する。 2. 積極的に各種検定の受験を奨励し、自分の実力を知りさらなる向上意欲を持たせる機会にしたい。 3. 就職活動においては、絶えず情報提供し、個別的にも助言していく。 4. 社会人として医療保障に限らず、社会保障の大枠で国内外を問わず関心を持ち、思考する力を養うためにタイムリーな情報提供に努めたい。
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>①非常勤 神戸女子短期大学総合生活学科へ出講。 担当科目「医療事務概論」 (後期・火曜日3講時。週1回)</p> <p style="text-align: center;">〔全出講回数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 () 回} \\ \text{後期 (15) 回} \end{array} \right\}$ 計 (15) 回</p> <p>②講師 徳島県歯科医師会歯科助手講習会で講義 担当講義「事務と会計 (文書管理、物品管理)」 2023年10月22日13時～14時</p>
<p>学内活動</p>	<p>①オープンキャンパス 模擬授業担当</p>

氏名	川道映里 (かわみち えり)			
所属・職の種類	短期大学部 商科 講師			
最終学歴	和歌山大学 経済学部 (学士 (経済学))			
着任の年月	平成30年 4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	(株)阿波銀行退職後、全国でマナー講師・マナーコンサルタントとして活動			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
〔著書〕 「感じがいいと思 われる敬語の話 方」	単	令和4年2月	ナツメ社	どのようなシチュエーションでもスマートに、楽に、簡単に対応できるよう実際のビジネスシーンを中心とした、さまざまなフレーズを紹介。同じことを伝える場面でも、相手との関係性や状況に応じて表現を変え、伝わる言葉を選ぶ工夫をしていく。これが本書の目的である。
「10歳までに身につけたい一生困らない子どものマナー」	共	令和4年4月	青春出版社 (中国にて出版)	小学生が自分で読める、わかりやすい言葉遣いで語りかけるように書いたマナー本。楽しくマナーを伝えられるように、動物のイラストを用いて、家の中でのマナー、テーブルマナー、公共のマナーなどを紹介。項目ごとに、保護者の方へのメッセージを掲載し、子どもの思いやりの心を育むヒントとなるよう伝える。 <共著者：西出ひろ子>
〔論文〕 短期大学部商科における簿記指導のあり方について—検定指導から会計学の学びへの考察—	共	令和4年9月	徳島文理大学研究紀要第104号	日商簿記検定取得に向けた講義を行う中で、簿記の基礎をいかに教えるか、会計理論学習は必要ないのか、会計リテラシーはどのように習得するのか等の課題がある。今後の学習方針を検討するため、企業と卒業生へアンケートを実施し考察した。その結果、簿記検定の資格取得だけではなく、理論の学習も必要であると分析された。今後は、コンピュータ会計を導入しそれぞれの財務諸表による理論を学習することにより、企業の財務分析や経営戦略の考察などを取り入れていく。 <共同研究者>田尾公生(徳島文理大学)、長濱太造(徳島文理大学)

<p>〔発表〕 日本精神科医学会 講演</p>		<p>令和元年11月</p>	<p>日本精神科医学会・ 日本精神科病院協会</p>	<p>日本精神科医学会 令和元年度学術 教育研修会「事務部門」にて講演 「精神科病院におけるおもてなしの 心・接遇について」</p>
<p>科研費採択状況 (過去2年間)</p>	<p>該当なし</p>			
<p>研究助成金の交付等 (過去2年間)</p>	<p>該当なし</p>			
<p>特許申請状況 (過去2年間)</p>	<p>該当なし</p>			
<p>その他の研究活動</p>	<p>〔協力監修〕 「新・ビジネスの基本とマナー」西出ひろ子著 令和3年 学研プラス</p> <p>〔解説記事〕 「家族葬でも喪主の挨拶は必要？挨拶のタイミングや例文、ポイントを紹介」 令和4年12月、ミツモアメディア 家族葬でも喪主の挨拶は必要？挨拶のタイミングや例文、ポイントを紹介 (meetsmore.com)</p> <p>〔その他〕 「著者が語る。感じがいいと思われる敬語の話し方」令和4年1月 日本人材ニュース 【著者が語る】感じがいいと思われる敬語の話し方 — 日本人材ニュースONLINE (jinzainews.net)</p>			
<p>教 育</p>				
<p>授 業</p>	<p>〔学部関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「簿記論Ⅰ」(人間生活学科2年1名、3年1名 月曜日2講時、火曜日3講時) ・「簿記論Ⅱ」(人間生活学科2年1名、3年1名 月曜日2講時、火曜日3講時) ・「社会生活とマナー」(心理学科4年1名 月曜日4講時) <p>②後期担当授業科目名等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「簿記演習Ⅰ」(人間生活学科3年1名 月曜日3講時、火曜日3講時) ・「簿記演習Ⅱ」(人間生活学科3年1名 月曜日3講時、火曜日3講時) ・「コミュニケーション論」(保健福祉1年77名 水曜日2講時) <p>〔短大関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合科目D (FP技能士養成講座)」(商科1年2名、2年16名 月曜日1講時) ・「簿記論Ⅰ」(商科1年21名、2年3名 月曜日2講時、火曜日3講時) ・「簿記論Ⅱ」(商科1年21名、2年3名 月曜日2講時、火曜日3講時) ・「社会生活とマナー」 (生活科学専攻1年15名、食物専攻1年4名、言語コミュニケーション学科1年 3名、商科2年3名 月曜日4講時) ・「ビジネス実務演習」(商科2年22名 金曜日1講時) ・「キャリアプランニングⅠ」 			

<p>授 業</p>	<p>(商科1年21名、言語コミュニケーション学科1年3名、生活科学科生活科学専攻1年1名 金曜日3講時)</p> <p>② 後期担当授業科目名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「簿記演習Ⅰ」(商科1年21名 月曜日3講時、火曜日3講時) ・「簿記演習Ⅱ」(商科1年21名 月曜日3講時、火曜日3講時) ・「ホスピタリティ入門」(生活科学科生活科学専攻1年1名、商科2年3名 木曜日4講時) ・「秘書実務」(商科1年21名、言語コミュニケーション学科2年2名 金曜日3、4講時) <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕 $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期 (6) コマ} \\ \text{後期 (6) コマ} \end{array} \right\}$ 計 (12) コマ</p> <p>〔その他の指導状況〕 日商簿記検定試験前の補講：15時間</p>
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>
<p>学生指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商科1年生担任として、クラスの雰囲気づくりや多数の個人面談の実施、学生生活全般の指導を行った。理解度に合わせた個別の補講や、検定前対策講座を行いサポートした。 また、オープンキャンパスにおいて司会や短大の紹介などを1年生が担当し、パワーポイントの原稿作成や事前練習を徹底した。短大フェスタでは、水引ストラップ作りの準備や役割分担決定、当日のサポートなど多岐にわたる。 ・商科2年生のチューターとして、就職活動の指導やサポートに注力した。 履歴書やエントリーシートの添削、面接練習など。 ・出席率低下の学生については、初期の段階で保護者と連携しサポートを行った。 <p>〔学外実習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海外大学等とのオンライン交流事業」における学生指導、複数回の打ち合わせを実施 「デジタル社会における消費行動の在り方～私たちからの提言～」をテーマに、デジタル社会の消費者が直面する「問題の提起」及び「よりよい消費者となるための提言」をショートムービーで作成。(商科2年4名参加) ・徳島県事業の「ミラトク」において、複数回の打ち合わせを実施、動画撮影のため企業訪問や現場の視察を行い、成果物として動画を2本制作。 徳島県のホームページやSNSにて発信。 ・ホテルの見学、テーブルマナー講習会引率(ホテルアナガ) ・病院の見学、先輩職員との座談会(田岡病院) ・とくしま農山漁村応援し隊事業「那賀川こまち間伐作業体験」に参加
<p>活 動</p>	
<p>学外活動</p>	<p>〔学会活動関係〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ビジネス実務学会会員 ・日本商業教育学会会員 <p>〔公的機関の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林漁家民宿向け動画作成及びスキルアップ研修会実施委員長 ・とくしま農山漁村応援し隊事業協働活動調整・活性化業務委託業者選定委員 ・とくしま農山漁村応援し隊事業において知事より感謝状贈呈 ・徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議委員 ・徳島市男女共同参画プラン推進評価委員

<p>学外活動</p>	<p>〔各種講演〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月20日 「再就職のためのビジネスマナー」 自衛隊徳島地方協力本部 ・ 10月2日 「内定者のためのビジネスマナー」 徳島空港サービス ・ 3月7日 「接遇の重要性とビジネスへの影響」 鳴門シーガル病院 ・ 3月28日 「内定者のためのビジネスマナー」 徳島新聞社グループ <p>〔出張講座〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月13日 「面接対策マナー講座」 池田高等学校辻校3年生 ・ 11月29日 「敬語の基本」 池田高等学校辻校2年生 ・ 3月13日 「経理・事務の職業説明会」 那賀高等学校1・2年生 <p>(進学説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月25日 阿南光高等学校 ・ 6月23日 小松島ブロック進学説明会 ・ 6月29日 阿南・那賀ブロック進学説明会 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生の転職に伴う再就職のための指導（履歴書の添削など）
<p>学内活動</p>	<p>〔学内の委員会、研究部会の委員〕</p> <p>広報担当者</p> <p>〔短期大学の委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型選抜入試運営委員 ・ 入学前ガイダンス、教育担当 ・ 短大ホームページ委員 ・ 短大インターンシップ委員 ・ 短大オープンキャンパス運営委員 ・ 短大認証評価ワーキンググループ委員 <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブログとインスタグラムの更新担当 ・ ホームページの更新 ・ 短大スタイルブックの制作 ・ オープンキャンパスとライブ配信の企画・模擬授業を担当 ・ 短大フェスタ企画・準備・学生指導 ・ 「総合型選抜入試・ミライのわたし」面接担当 ・ 「大学入学共通テスト」監督 ・ 「一般入試Ⅰ期」監督 ・ 秘書技能検定監督

授 業	〔その他の指導状況〕 学力充実対策講座「化学」（4年生2名2年生1名 前後期とも月曜日5講時） 公務員試験対策講座「化学」
論文等指導	なし
学生指導	・年間7回のオープンキャンパスで、オープンキャンパス学生スタッフに対する事前指導 ・教員採用試験の直前面接指導（6月）
活 動	
学外活動	①広報担当者とし高校巡回広報活動 ・城西高等学校、城西高等学校神山校、小松島高等学校、富岡西高等学校の4校を担当している。年間6回程度不定期に訪問して本学の広報を行う。 ②徳島県立富岡西高等学校 学校運営協議会委員 学校運営協議会委員として年間3回富岡西高校での協議会に出席し同校の課題について提言している。
学内活動	①入試広報部業務 【イベント】・オープンキャンパスやWebによるオープンキャンパスの企画・運営、学科説明会・施設見学会の企画運営 【インターネット関係広報】大学ホームページの各種サイトの管理・運営、進学サイト等への登録 【冊子等の作成】・大学案内等受験生向け発行物の作成、入試ガイドブックの作成、入試問題集（赤本）の編集、大学通信アカンサスの作成 【学生募集活動】・高等学校巡回広報活動、進学説明会、ブロック別進学説明会、進学個別相談会、留学生募集、受験生問い合わせ窓口対応、受験生等訪問者対応 【外部への情報発信】・受験情報誌等に学部学科紹介を掲載、動画やSNSによる情報配信、報道機関への資料提供、外部からの各種アンケートへの回答 ②大学運営 定例部局長会（11回）、定例合同教授会（11回）、徳島キャンパス部局長懇談会（8回、学長の指示により各種検討会の作業部会を立ち上げて立案する。）香川キャンパス部局長等懇談会（11回、香川キャンパスの各事務部より行事の連絡調整） ③委員会活動 ・全学入試委員会委員・広報担当者会、自己点検・評価委員会委員、人権教育推進委員会委員、就職支援委員会委員、国際交流委員会委員、教員・保育士養成対策委員会委員、公務員試験対策講座実行委員会委員、沖縄支部保護者会事務局、本学ブランディング事業内部評価委員

氏 名	青山 佳裕 (あおやま よしひろ)			
所属・職の種類	短期大学部一般総合科目 准教授 企画部 副部長			
最終学歴	広島大学教育学部教科教育学科数学教育学専修卒業 (教育学士)			
着任の年月	令和3年4月1日			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島県立城東高等学校 校長			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] [発表]				該当なし 該当なし 該当なし
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	[学部関係] ①前期担当授業科目名等 「数学A」(心理1年。60名。水曜日4講時・金曜日4講時) ②後期担当授業科目名等 「数学A」(人間生活1年。7名。金曜日2講時) 「生徒指導(進路指導を含む)」(心理2年。29名。水曜日2講時) [短大関係] ②後期担当授業科目名等 「生徒指導(進路指導を含む)」(食物専攻2年、音楽2年、他。27名。月曜日5講時) <div style="text-align: center;"> [全コマ数] { 前期 (2) コマ } { 後期 (3) コマ } 計 (5) コマ </div>			
論文等指導	なし			
学生指導	全学共通教育センター学習支援アドバイザー 教員採用審査直前講座面接指導3回(各回85分) 令和5年6月14日・21日・23日			

活 動	
学外活動	<p>〔公的機関の活動〕 徳島市教育委員会 令和4年度教育委員会事務事業の点検・評価報告書評価員</p> <p>〔その他の活動〕 広報活動・高校訪問 ・城東高校、脇町高校 年間各校6回程度訪問 ・進学説明会・ブロック別進学説明会 5月10日、6月27日・28日</p>
学内活動	<p>①企画部業務 ・研究科・大学・短期大学人事関係業務、学部学科収容定員の掌握 ・中期目標・中期計画の進捗管理（令和2～6年度担当部署別行動計画の進捗管理、令和6年度事業計画書・令和5年度事業報告書取りまとめ補助など） ・申請業務（大学等における修学の支援に関する申請書作成、医療系学科の実習施設変更承認、各学科のカリキュラム変更手続き、学則変更の届出など）</p> <p>②委員会活動等 合同教授会（11回）、短期大学部教授会（11回）、人権教育推進委員会（1回） 自己点検・評価実施委員会（大学）（2回）、 自己点検・評価実施委員会（短期大学部）（2回）</p> <p>③入試関係業務 試験監督（東京地区） I期A・B及びII期</p>

論文等指導	なし
学生指導	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生の学習指導及び生活などの指導 ・短期留学参加者の指導 ・中国語HSK検定試験の受験生の学習指導
活 動	
学外活動	<p>〔学会活動関係〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語教育学会会員 ・日本中国語学会会員 ・日本語教育学会会員 ・日本計画行政学会会員 <p>〔公的機関の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員美波町担当 ・徳島県日本語教育事業運営委員会委員 <p>〔その他の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾高大連携校への訪問及び学生間交流 ・台湾新民高級中学、樹徳家事商業職業学校 進学説明会 2024. 3 ・台湾中山医学大学、義守大学 進学説明会 2024. 3 ・中国語HSK検定試験 試験監督 2023. 11
学内活動	<p>〔国際交流課〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾・中国高大提携校との調整業務 ・外国人留学生の募集・入学後学習支援及び生活支援 ・海外学生の受入： <ul style="list-style-type: none"> 日本語・日本文化研修（大学生コース）プログラムの計画・実施・全体の運営 ・海外留学の派遣： <ul style="list-style-type: none"> 台湾短期留学プログラムの計画・実施・全体の運営 オンライン台湾留学の計画・実施・全体の運営 ・外国人留学生対象新入学生オリエンテーションの計画・実施・全体の運営 ・外国人留学生対象日本語能力試験対策講座の計画・実施・全体の運営 ・外国人留学生対象史跡研修の計画・実施・全体の運営 ・国際交流委員会 <p>〔大学運営〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパス <ul style="list-style-type: none"> 国際交流課において留学プログラムの紹介など ・広報担当者会議 ・短期大学部教授会 ・推薦入試Ⅰ期 監督

氏 名	金 徑 希 (きむ ぎょんひ)			
所属・職の種類	短期大学部一般総合科目 助教			
最終学歴	仁済大学校 (INJE UNIVERSITY) 人文社会科学学部日語日文学科卒業 (文学学士)			
着任の年月	令和4年4月			
直前の職歴 (学校・企業等)	徳島文理大学国際部国際交流課チーフアドバイザー (併任) 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部非常勤講師			
研 究 (業績：過去5年間)				
著書・学術論文 等の名称	単著 共著 の別	発 行 又 は 発 表 の 年 月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
[著書] [論文] [発表]				
科研費採択状況 (過去2年間)	該当なし			
研究助成金の交付等 (過去2年間)	該当なし			
特許申請状況 (過去2年間)	該当なし			
その他の研究活動	該当なし			
教 育				
授 業	<p>[大学院関係] 該当なし</p> <p>[専攻科関係] 該当なし</p> <p>[学部関係]</p> <p>①前期担当授業科目名等 「外国語総合科目A① (韓国語)」 (食物1年。6名。水曜日5講時) 「外国語総合科目A① (韓国語)」 (生活、薬、総政、心理各1年。43名。木曜日1講時)</p> <p>②後期担当授業科目名等 「外国語総合科目A② (韓国語)」 (食物、薬、各1年。建築4年。5名。木曜日1講時) 「外国語総合科目A② (韓国語)」 (生活、総政、心理各1年。24名。木曜日4講時)</p>			

<p>授 業</p>	<p>〔短大関係〕</p> <p>①前期担当授業科目名 「外国語総合科目A①（韓国語）」 （短生活、短商科各1年。5名。水曜日5講時）</p> <p>②後期担当授業科目名 「外国語総合科目A②（韓国語）」 （短商科各1年。3名。木曜日4講時）</p> <p style="text-align: center;">〔全コマ数〕</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">前期（ 2 ）コマ</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; padding: 0 10px;">}</td> <td rowspan="2" style="padding: 0 10px;">計（ 4 ）コマ</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">後期（ 2 ）コマ</td> </tr> </table> <p>〔その他の指導状況〕</p> <p>語学センター企画講座 「韓国語チャットタイム」における語学指導 （前期：令和5年5月10日～6月28日までの毎週水曜日12：20～12：50、 後期：令和5年10月18日～12月20日までの毎週水曜日12：20～12：50） 「韓国語能力試験（TOPIK）受験対策講座」 後期：令和5年10月10日、17日、24日の計3回。TOPOK I（初級）対策</p>	前期（ 2 ）コマ	}	計（ 4 ）コマ	後期（ 2 ）コマ
前期（ 2 ）コマ	}	計（ 4 ）コマ			
後期（ 2 ）コマ					
<p>論文等指導</p>	<p>なし</p>				
<p>学生指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期、短期留学参加に関する個別相談 ・検定試験（TOPIK韓国語能力試験）対策指導 ・その他語学学習全般に関する個別相談 ・韓国夏期短期留学参加学生に対する事前オリエンテーション ・韓国春期短期留学参加学生に対する事前オリエンテーション 				
<p>活 動</p>					
<p>学外活動</p>	<p>〔学会活動関係〕</p> <p>〔公的機関の活動〕 徳島地域留学生交流推進協議会会報「かずらばし」編集委員会委員</p> <p>〔その他の活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和5年9月24日（日）～27日（水）、韓国水原大学校・徳島文理大学音楽学部交流演奏のため訪韓。演奏団28名の引率、演奏会企画運営、通訳支援等を行う。 ●令和5年12月9日（土）、韓国ソウル市にて韓国SKY語学院（本学指定校）主催「日本大学薬学部合同進学説明会」における薬学部・香川薬学部広報活動に参加、受験生面談、通訳支援等を行う。 				
<p>学内活動</p>	<p>①徳島文理大学ハラスメント防止委員 令和5年度徳島文理大学ハラスメント防止委員・相談員合同研修会に参加し、「ハラスメントを考える」について理解を深めるとともに規程・ハラスメント防止対策ガイドライン・相談の流れについて情報交換を行った。（令和5年8月4日）</p> <p>②国際交流委員会事務局 第一回委員会：令和5年9月7日（木） 第二回委員会：令和6年3月4日（月）に、事務局員として出席</p> <p>③国際部国際交流課業務 ●外国人留学生の受け入れ及び学習・生活支援</p>				

<p>学内活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●夏期韓国短期留学派遣プログラム企画運営及び引率 ●春期韓国短期留学派遣プログラム企画運営及び引率 ●長期交換留学生派遣プログラム企画運営及び帰国した学生の単位置換認定支援業務 ●夏期日本語・日本文化研修受入れ（大学生コース：令和5年7月3日～12日） ●海外学術交流協定大学（韓国）との連絡業務 ●学術交流協定校からの来賓対応 ●海外の指定校、業務提携エージェント企業との留学生募集に関する連絡業務 ●外国人留学生募集・入試業務支援
-------------	--

参 考 資 料

- 全学授業アンケート
- 在学生対象・学修状況アンケート
- 卒業予定者対象・大学生活満足度アンケート

授業アンケート集計結果					徳島文理大学		
実施年度	2023年度 前期	対象	短期大学部 (全体)				
対象数	1,842	回答数	1,380	回答率(%)	74.9	有効回答数	1,358
1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか							
設問	回答数	比率	加重平均				
全体的に読んだ(4点)	585	0.43	3.07				
部分的に読んだ(3点)	504	0.37					
ほとんど読まなかった(2点)	104	0.08					
まったく読まなかった(1点)	103	0.08					
2. 受講する前 (学期はじめ) 、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか							
設問	回答数	比率	加重平均				
とても興味があった(4点)	508	0.37	3.19				
どちらかというに興味があった(3点)	646	0.48					
どちらかというに興味がなかった(2点)	154	0.11					
まったく興味がなかった(1点)	50	0.04					
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか							
設問	回答数	比率	加重平均				
わかりやすい内容であった(4点)	826	0.61	3.54				
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	448	0.33					
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	70	0.05					
わかりにくい内容であった(1点)	14	0.01					
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください							
設問	回答数	選択率(%)					
専門的な知識・技能	1,203	88.59					
自立性	466	34.32					
協同性	376	27.69					
考え抜く力	495	36.45					
交渉力	230	16.94					
発信力	212	15.61					
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください							
設問	回答数	選択率(%)					
説明内容	1,046	77.03					
授業の進め方	768	56.55					
教科書・パワーポイントなどの資料	571	42.05					
課題や宿題の内容 (量も含む)	386	28.42					
教室の設備	492	36.23					
7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか							
設問	回答数	比率	加重平均				
優(4点)	495	0.36	3.23				
良(3点)	688	0.51					
可(2点)	169	0.12					
不可(1点)	6	0.00					
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか							
設問	回答数	比率	加重平均				
満足(4点)	837	0.62	3.58				
どちらかという満足(3点)	482	0.35					
どちらかという不満足(2点)	29	0.02					
不満足(1点)	10	0.01					

授業アンケート集計結果					徳島文理大学		
実施年度	2023年度 後期	対象	短期大学部 (全体)				
対象数	1,617	回答数	1,171	回答率(%)	72.4	有効回答数	1,165
1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)				486	0.42	3.05	
部分的に読んだ(3点)				471	0.40		
ほとんど読まなかった(2点)				66	0.06		
まったく読まなかった(1点)				65	0.06		
2. 受講する前 (学期はじめ) 、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)				440	0.38	3.23	
どちらかというに興味があった(3点)				589	0.51		
どちらかというに興味がなかった(2点)				102	0.09		
まったく興味なかった(1点)				34	0.03		
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか							
設問				回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)				718	0.62	3.56	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)				392	0.34		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)				44	0.04		
わかりにくい内容であった(1点)				11	0.01		
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
専門的な知識・技能				1,071	91.93		
自立性				444	38.11		
協同性				318	27.30		
考え抜く力				431	37.00		
交渉力				211	18.11		
発信力				211	18.11		
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください							
設問				回答数	選択率(%)		
説明内容				908	77.94		
授業の進め方				695	59.66		
教科書・パワーポイントなどの資料				515	44.21		
課題や宿題の内容 (量も含む)				336	28.84		
教室の設備				406	34.85		
7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
優(4点)				466	0.40	3.26	
良(3点)				543	0.47		
可(2点)				150	0.13		
不可(1点)				6	0.01		
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか							
設問				回答数	比率	加重平均	
満足(4点)				723	0.62	3.60	
どちらかという満足(3点)				421	0.36		
どちらかという不満足(2点)				19	0.02		
不満足(1点)				2	0.00		

授業アンケート集計結果

徳島文理大学

実施年度	2023年度 前期	対象	大学全体
------	-----------	----	------

対象数	43,181	回答数	27,895	回答率(%)	64.6	有効回答数	27,651
-----	--------	-----	--------	--------	------	-------	--------

1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか

設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	10,753	0.39	2.99
部分的に読んだ(3点)	11,600	0.42	
ほとんど読まなかった(2点)	1,615	0.06	
まったく読まなかった(1点)	1,614	0.06	

2. 受講する前（学期はじめ）、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか

設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	10,345	0.37	3.22
どちらかというに興味があった(3点)	13,806	0.50	
どちらかというに興味がなかった(2点)	2,866	0.10	
まったく興味がなかった(1点)	634	0.02	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか

設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	15,466	0.56	3.47
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	10,132	0.37	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	1,672	0.06	
わかりにくい内容であった(1点)	381	0.01	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください

設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	24,424	88.33
自立性	10,382	37.55
協同性	7,874	28.48
考え抜く力	11,142	40.30
交渉力	5,464	19.76
発信力	4,388	15.87

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください

設問	回答数	選択率(%)
説明内容	20,318	73.48
授業の進め方	16,688	60.35
教科書・パワーポイントなどの資料	13,250	47.92
課題や宿題の内容（量も含む）	9,571	34.61
教室の設備	9,471	34.25

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか

設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	11,673	0.42	3.25
良(3点)	11,364	0.41	
可(2点)	4,454	0.16	
不可(1点)	160	0.01	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか

設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	16,090	0.58	3.54
どちらかという満足(3点)	10,508	0.38	
どちらかという不満足(2点)	883	0.03	
不満足(1点)	170	0.01	

授業アンケート集計結果

徳島文理大学

実施年度	2023年度 後期	対象	大学全体				
対象数	40,537	回答数	26,356	回答率(%)	65.0	有効回答数	26,120

1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	10,248	0.39	3.03
部分的に読んだ(3点)	11,286	0.43	
ほとんど読まなかった(2点)	1,466	0.06	
まったく読まなかった(1点)	1,465	0.06	

2. 受講する前（学期はじめ）、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	9,921	0.38	3.24
どちらかというに興味があった(3点)	13,212	0.51	
どちらかというに興味がなかった(2点)	2,428	0.09	
まったく興味がなかった(1点)	559	0.02	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	14,507	0.56	3.48
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	9,815	0.38	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	1,496	0.06	
わかりにくい内容であった(1点)	302	0.01	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	23,384	89.53
自立性	9,999	38.28
協同性	7,392	28.30
考え抜く力	10,114	38.72
交渉力	5,128	19.63
発信力	4,244	16.25

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	19,371	74.16
授業の進め方	15,480	59.26
教科書・パワーポイントなどの資料	12,164	46.57
課題や宿題の内容（量も含む）	8,971	34.35
教室の設備	8,634	33.06

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	11,202	0.43	3.25
良(3点)	10,445	0.40	
可(2点)	4,349	0.17	
不可(1点)	124	0.00	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	15,130	0.58	3.54
どちらかという満足(3点)	10,021	0.38	
どちらかという不満足(2点)	839	0.03	
不満足(1点)	130	0.00	

実施年度	2023年度後期	対象	短期大学部（全体）		
------	----------	----	-----------	--	--

対象者数	140	回答数	102	回答率(%)	72.9
------	-----	-----	-----	--------	------

1) いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください [複数選択可]

設問	回答数	選択率
専門的な勉強	82	0.80
基礎的な勉強（語学やプレゼンスキルなど）	47	0.46
最先端の研究	4	0.04
資格や免許の取得	70	0.69
社会貢献（ボランティアなど）	16	0.16
自由な時間を楽しむ（旅行や読書、芸術活動など）	50	0.49
学友との交流（サークル活動を含む）	27	0.26
起業などのビジネス	0	0.00
スポーツやトレーニング	7	0.07
その他	0	0.00

2) この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
30分未満(0点)	39	0.38	1.07
30分～1時間(1点)	30	0.29	
1時間～2時間(2点)	25	0.25	
2時間～3時間(3点)	3	0.03	
3時間以上(4点)	5	0.05	

3) 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
増加した(1点)	29	0.28	0.13
変わらない(0点)	57	0.56	
減少した(-1点)	16	0.16	

4) いま、あなたの卒業後の具体的な目標（夢）が言えますか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
言える(1点)	66	0.65	0.65
言えない(0点)	36	0.35	

5) この一年間、学修に対するモチベーション（学修意欲）はありましたか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
あった(3点)	34	0.33	2.20
どちらかといえばあった(2点)	56	0.55	
どちらかといえばあつたいばなかつた(1点)	10	0.10	
なかつた(0点)	2	0.02	

6) 学内に気軽に相談できる友人や教職員がいますか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
いる(1点)	94	0.92	0.92
いない(0点)	8	0.08	

7) この一年間、大学で授業を受けたくないと思ったことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
あった(1点)	54	0.53	0.53
なかった(0点)	48	0.47	

8) この一年間、将来のあなたに役立ちそうな何か新しい挑戦をしましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
新しい挑戦をした(1点)	75	0.74	0.74
新しい挑戦をしていない(0点)	27	0.26	

9) あなたはストレスに強いですか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	11	0.11	2.84
ややそう思う(4点)	28	0.27	
どちらでもない(3点)	16	0.16	
あまりそう思わない(2点)	28	0.27	
そう思わない(1点)	19	0.19	

《授業・教育課程について》

10) この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	34	0.33	3.75
ややそう思う(4点)	29	0.28	
どちらでもない(3点)	23	0.23	
あまりそう思わない(2点)	12	0.12	
そう思わない(1点)	4	0.04	

11) この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	31	0.30	3.82
ややそう思う(4点)	36	0.35	
どちらでもない(3点)	23	0.23	
あまりそう思わない(2点)	10	0.10	
そう思わない(1点)	2	0.02	

12) この一年間に受講した授業は興味深い(有益と感じられた)ものでしたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	38	0.37	4.17
ややそう思う(4点)	47	0.46	
どちらでもない(3点)	13	0.13	
あまりそう思わない(2点)	4	0.04	
そう思わない(1点)	0	0.00	

13) あなたは授業でわからないことや宿題などをひとりで学修することができますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	29	0.28	3.84
ややそう思う(4点)	44	0.43	
どちらでもない(3点)	16	0.16	
あまりそう思わない(2点)	10	0.10	
そう思わない(1点)	3	0.03	

14) この一年間、授業以外の学修活動（学外実習、見学、講演会、補習など）に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	70	0.69	0.69
参加していない(0点)	32	0.31	

《大学の設備および支援体制について》			
15) この一年間、（授業の）課題のために図書館を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	72	0.71	0.71
利用したことがない(0点)	30	0.29	

16) この一年間、定期的に学内のサークル活動に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	23	0.23	0.23
参加していない(0点)	79	0.77	

17) この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
したことがある(1点)	93	0.91	0.91
したことがない(0点)	9	0.09	

《総合評価》			
18) この一年間に本学で体験したこと（学修や課外活動など）に満足しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	46	0.45	4.25
ややそう思う(4点)	43	0.42	
どちらでもない(3点)	7	0.07	
あまりそう思わない(2点)	4	0.04	
そう思わない(1点)	2	0.02	

19) この一年間であなたは自分自身の成長を感じていますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	46	0.45	4.25
ややそう思う(4点)	41	0.40	
どちらでもない(3点)	10	0.10	
あまりそう思わない(2点)	5	0.05	
そう思わない(1点)	0	0.00	

【備考】

(1) 2023年12月時点で学務システムに登録されているデータを利用して算出しています。

実施年度	2023年度後期	対象	大学全体		
------	----------	----	------	--	--

対象者数	4134	回答数	2522	回答率(%)	61.0
------	------	-----	------	--------	------

1) いま、あなたが大学でやりたいことをすべて選択してください [複数選択可]

設問	回答数	選択率
専門的な勉強	2176	0.86
基礎的な勉強 (語学やプレゼンスキルなど)	1248	0.49
最先端の研究	361	0.14
資格や免許の取得	1556	0.62
社会貢献 (ボランティアなど)	401	0.16
自由な時間を楽しむ (旅行や読書、芸術活動など)	1376	0.55
学友との交流 (サークル活動を含む)	924	0.37
起業などのビジネス	95	0.04
スポーツやトレーニング	329	0.13
その他	7	0.00

2) この一年間、授業時間を除いた一日あたりの平均的な学修時間を選択してください [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
30分未満(0点)	528	0.21	1.47
30分～1時間(1点)	856	0.34	
1時間～2時間(2点)	745	0.30	
2時間～3時間(3点)	206	0.08	
3時間以上(4点)	187	0.07	

3) 先ほどの平均的な学修時間は昨年と比較してどうですか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
増加した(1点)	939	0.37	0.24
変わらない(0点)	1253	0.50	
減少した(-1点)	330	0.13	

4) いま、あなたの卒業後の具体的な目標 (夢) が言えますか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
言える(1点)	1568	0.62	0.62
言えない(0点)	954	0.38	

5) この一年間、学修に対するモチベーション (学修意欲) はありましたか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
あった(3点)	741	0.29	2.05
どちらかといえばあった(2点)	1269	0.50	
どちらかといえばあったいばなかった(1点)	401	0.16	
なかった(0点)	111	0.04	

6) 学内に気軽に相談できる友人や教職員がいますか [必須]

設問	回答数	比率	加重平均
いる(1点)	2243	0.89	0.89
いない(0点)	279	0.11	

7) この一年間、大学で授業を受けたくないと思ったことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
あった(1点)	1458	0.58	0.58
なかった(0点)	1064	0.42	

8) この一年間、将来のあなたに役立ちそうな何か新しい挑戦をしましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
新しい挑戦をした(1点)	1555	0.62	0.62
新しい挑戦をしていない(0点)	967	0.38	

9) あなたはストレスに強いですか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	297	0.12	2.85
ややそう思う(4点)	586	0.23	
どちらでもない(3点)	547	0.22	
あまりそう思わない(2点)	625	0.25	
そう思わない(1点)	467	0.19	

《授業・教育課程について》

10) この一年間に受講した授業科目数は多いと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	562	0.22	3.39
ややそう思う(4点)	678	0.27	
どちらでもない(3点)	653	0.26	
あまりそう思わない(2点)	428	0.17	
そう思わない(1点)	201	0.08	

11) この一年間に受講した授業内容はむずかしいと感じましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	820	0.33	3.89
ややそう思う(4点)	964	0.38	
どちらでもない(3点)	448	0.18	
あまりそう思わない(2点)	214	0.08	
そう思わない(1点)	76	0.03	

12) この一年間に受講した授業は興味深い(有益と感じられた)ものでしたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	980	0.39	4.16
ややそう思う(4点)	1108	0.44	
どちらでもない(3点)	334	0.13	
あまりそう思わない(2点)	70	0.03	
そう思わない(1点)	30	0.01	

13) あなたは授業でわからないことや宿題などをひとりで学修することができますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	735	0.29	3.82
ややそう思う(4点)	1029	0.41	
どちらでもない(3点)	408	0.16	
あまりそう思わない(2点)	276	0.11	
そう思わない(1点)	74	0.03	

14) この一年間、授業以外の学修活動（学外実習、見学、講演会、補習など）に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	1279	0.51	0.51
参加していない(0点)	1243	0.49	

《大学の設備および支援体制について》			
15) この一年間、（授業の）課題のために図書館を利用したことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
利用したことがある(1点)	2074	0.82	0.82
利用したことがない(0点)	448	0.18	

16) この一年間、定期的に学内のサークル活動に参加しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
参加した(1点)	700	0.28	0.28
参加していない(0点)	1822	0.72	

17) この一年間、教員または職員と個人的な面談をしたことがありますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
したことがある(1点)	1833	0.73	0.73
したことがない(0点)	689	0.27	

《総合評価》			
18) この一年間に本学で体験したこと（学修や課外活動など）に満足しましたか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	735	0.29	3.98
ややそう思う(4点)	1207	0.48	
どちらでもない(3点)	419	0.17	
あまりそう思わない(2点)	116	0.05	
そう思わない(1点)	45	0.02	

19) この一年間であなたは自分自身の成長を感じていますか [必須]			
設問	回答数	比率	加重平均
そう思う(5点)	813	0.32	3.93
ややそう思う(4点)	1046	0.41	
どちらでもない(3点)	411	0.16	
あまりそう思わない(2点)	183	0.07	
そう思わない(1点)	69	0.03	

【備考】
 (1) 2023年12月時点で学務システムに登録されているデータを利用して算出しています。

2023年度 卒業予定者対象大学生生活満足度アンケート集計結果	短期大学部（全体）
--	-----------

性別	男性	女性		在籍年数	1,2	3,4	5,6	7,8	9以上		対象者数	69
	7	57			67	0	0	0	0	0	回答数	67
卒業後の進路	就職	進学	未定	あなたの成績について 一番多かったのは			優	良	可		回答率(%)	97.1
	60	3	4				37	27	3			

II. 授業・教育課程について（全体として）

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	授業科目は充実していましたか	35	29	2	1	0	4.46
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	31	32	3	1	0	4.39
3	専門的な知識や技能（免許・資格を含む）を修得できましたか	38	23	2	2	2	4.39
4	教育に対する熱意は感じられましたか	37	22	6	2	0	4.40
5	授業以外の指導（学外実習、見学、補習など）は充実していましたか	35	22	6	4	0	4.31
6	課題（宿題やレポートなど）の量は適切でしたか	30	22	10	4	1	4.13

III. 大学の設備および支援体制についてお尋ねします（全体として）

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	29	26	6	5	1	4.15
2	図書館は利用しやすかったですか	35	19	8	5	0	4.25
3	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	29	23	10	4	1	4.12
4	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	37	24	4	2	0	4.43
5	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	38	21	6	2	0	4.42
6	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	32	22	11	2	0	4.25

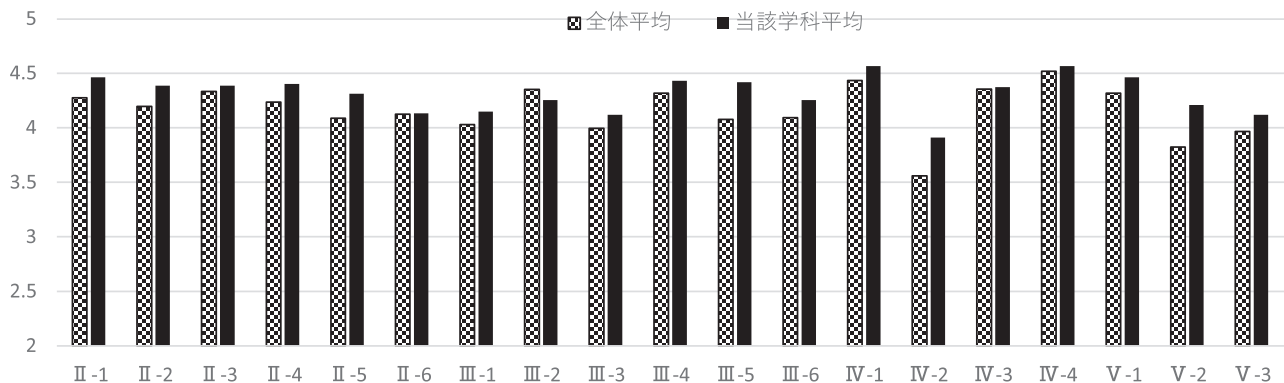
IV. キャンパスライフについてお尋ねします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	キャンパスは清潔でしたか	42	21	4	0	0	4.57
2	課外活動（部活やイベントなど）に満足しましたか	25	18	18	5	1	3.91
3	頼りになる教員に出会えましたか	39	16	10	2	0	4.37
4	よき友と出会えましたか	45	15	7	0	0	4.57

V. 総合評価をお願いします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	入学時の夢をかなえることができましたか	45	13	5	3	1	4.46
2	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	34	18	10	5	0	4.21
3	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	32	18	13	1	3	4.12

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらでもない 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)



2023年度 卒業予定者対象大学生生活満足度アンケート集計結果

大学全体

性別	男性	女性	在籍年数	1,2	3,4	5,6	7,8	9以上	対象者数	1009	
	371	460		89	681	88	7	0	回答数	865	
卒業後の進路	就職	進学	未定	あなたの成績について一番多かったのは			優	良	可	回答率(%)	85.7
	748	43	74			406	358	101			

II. 授業・教育課程について (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	授業科目は充実していましたか	372	386	83	21	3	4.28
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	333	403	97	29	3	4.20
3	専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか	447	315	64	23	16	4.33
4	教育に対する熱意は感じられましたか	382	347	106	18	12	4.24
5	授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は充実していましたか	361	311	124	46	23	4.09
6	課題(宿題やレポートなど)の量は適切でしたか	350	342	119	39	15	4.12

III. 大学の設備および支援体制についてお尋ねします (全体として)

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	357	290	131	60	27	4.03
2	図書館は利用しやすかったですか	495	230	103	25	12	4.35
3	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	377	256	116	82	34	3.99
4	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	431	319	83	24	8	4.32
5	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	387	277	106	70	25	4.08
6	困ったことがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	363	304	134	43	21	4.09

IV. キャンパスライフについてお尋ねします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	キャンパスは清潔でしたか	504	267	67	20	7	4.43
2	課外活動(部活やイベントなど)に満足しましたか	249	210	251	85	70	3.56
3	頼りになる教員に出会えましたか	489	248	91	20	17	4.35
4	よき友と出会えましたか	590	187	50	23	15	4.52

V. 総合評価をお願いします

No.	設問文	回答数					平均
		5	4	3	2	1	
1	入学時の夢をかなえることができましたか	435	311	88	21	10	4.32
2	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	293	259	220	54	39	3.82
3	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	340	284	157	39	45	3.97

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらでもない 2:あまりそう思わない 1:そう思わない)

